はじめに

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

- 本書の「安全上のご注意」には、安全確保に必要な重要事項が記載されていますので、必ずお読みください。
- 使いはじめるときは、クイックスタートガイドに記載の「セットアップ」、「パソコンとの接続」、「通信設定」を行ってください。
- お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
- オプション（別売品）や携帯電話、市販品のケーブルなどをご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。

■著作権

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本商品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■商標

- Microsoft、ActiveSync、Outlook、Pocket Outlook、Windows、Windows NT、Windowsロゴ、MSNロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- インテルは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- コンパクトフラッシュは、米国SanDisk Corporationの登録商標です。
- Microdriveは、IBM Corporationの登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- Macromedia、 Flash及びMacromedia Flashは、Macromedia, Inc.の米国及び全世界における商標または登録商標です。
- ClearVueは、WESTTEK,L.L.C.の登録商標です。
- WESTTEKとWTロゴは、WESTTEK,L.L.C.の登録商標です。
- Java及びJava Powerdロゴは、米国及びその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の登録商標または商標です。
- Jeodeは、米国及びその他の国における米国Insignia Solutions,Inc.の登録商標または商標です。
- i-navigatorおよびi-enablerは、株式会社イーバレーの商標です。
- 「FOMA/フォーマ」「i-モード/アイモード」「iアプリ/アイアプリ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- 本取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

安全上のご注意

・ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた商品を安全にお使いいただくために、重要な事項を記載しています。
・次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(＊1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(＊2)を負うことが想定されるか、または物的損害(＊3)の発生が想定されること”を示します。

＊ 1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。
＊ 2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊ 3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
⊘ 禁　止	“⊘”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

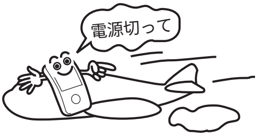
● 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 本商品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、逸失利益、事業の中断、通信機会の消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 記憶装置（内部メモリ、メモリカードなど）に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。

本体（内蔵電池を含む）の取扱いについて

⚠警告

航空機内や病院内などの使用を禁止された場所では電源を切り、使用しない

使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。



禁 止

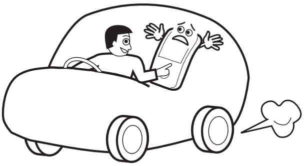
Bluetooth™ SD カード（別売品）や携帯電話を接続してご使用になるときは、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している人から 22cm 以上離す

近すぎるとペースメーカに影響を与え、事故につながるおそれがあります。

指 示

自動車などの運転中、および歩行中は使用しない

交通事故や、けがの原因となります。



禁 止

ステープルやクリップなどの金属類を内部に入れない
端子（金属部分）を金属で接続しない

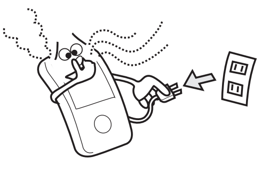
発熱、発火する原因となります。



禁 止

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、バッテリスイッチを停止側にする

そのまま使用すると、火災の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店へご依頼ください。



指 示

次の場所では使用、充電、保管しない

- **浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所**
- **雨、霧などが直接入り込むような場所**
- **火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所**
- **直射日光が当たる場所**
- **炎天下の閉めきった車内**

内蔵電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁 止

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

内蔵の電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。



禁　止

火の中へ投げ入れたり、加熱したりしない

内蔵の電池が液もれ、発火、破裂する原因となります。

禁　止

内蔵電池から液もれしたり、異臭がするときは、直ちに火気より遠ざける

もれた液に引火し、破裂する原因となります。

指　示

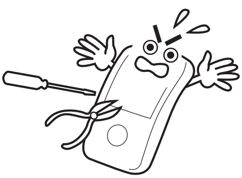
内蔵電池から液もれしたときは、液には触れない

液が目に入ったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目に入ったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

禁　止

分解・改造・修理をしない

けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。



分解禁止

本体（内蔵電池を含む）の取扱いについて　つづき

⚠注意

ヘッドホン（別売品）を接続してご使用になるときは、音量を上げすぎない

聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

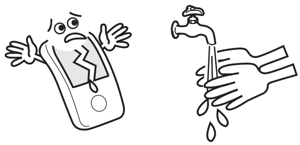
禁　止



画面が破損し、液晶（液体）がもれたときは、液晶にふれない

皮膚がかぶれるおそれがあります。もし、皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

禁　止



幼児の手の届く場所には置かない

スタイラスなど、先が尖ったもので、思わぬけがなどの原因となります。

禁　止



皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談する

この商品に使用している材料、表面処理により、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

指　示

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて

⚠警告

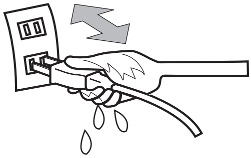
付属のACアダプタや電源コードを使用する

付属以外のものを使用すると、発煙、発火の原因となります。

指　示

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

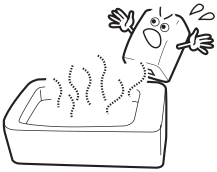
感電の原因となります。



禁　止

浴室など、水がかかる場所で使用しない

濡れると発火、感電の原因となります。



禁　止

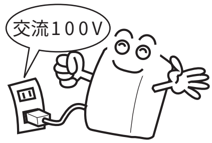
充電時のACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない

内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。

禁　止

電源プラグは、家庭用交流100Vコンセントに接続する

それ以外のコンセントに接続すると、火災、故障の原因となります。



指　示

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因となります。

指　示

ACアダプタの近くに、コップなどの液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、発火、感電の原因となります。



禁　止

電源プラグの差刃や差刃付近にほこりがついているときは、電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりを拭き取る

電源プラグにほこりがたまると絶縁低下により、火災の原因となります。

指　示

ACアダプタ・電源コード・クレードルの取扱いについて つづき

⚠警告

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損し、発火、感電の原因となります。



分解・改造・修理をしない

火災、感電、けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。



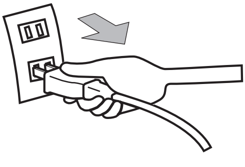


⚠注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く

コードを引っ張って抜くと、コードが破損し、発火、感電の原因となります。





電源コードを取り扱うときは、次の内容を守る

- **傷つけない**
- **加工しない**
- **ねじらない**
- **無理に曲げない**
- **引っ張らない**
- **物を載せない**
- **加熱しない**
- **熱器具に近づけない**

守らないと、火災、感電の原因となります。
もし、電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電源コードを購入してください。

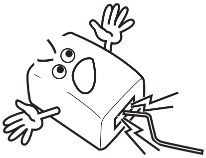




端子（金属部分）を針金などの金属類で接続しない

発熱し、やけどの原因となります。





幼児の手の届く場所には置かない

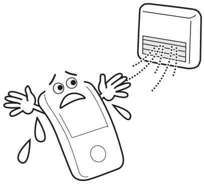
けがなどの原因となります。



ご使用上のお願い

- **次の周囲環境条件の場所でご使用ください。**
  温度０～４０℃、湿度３０～８０％ＲＨ

- **次の場所では使用、保管しないでください。**
  ・極端な高温、低温の場所
  ・ほこりの多い場所
  ・振動の強い場所
  ・電気的ノイズが発生しやすい場所
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



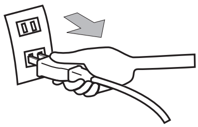
- **本体とパソコンなどの外部機器を接続して作業する場合は、静電気が発生しやすい環境で行わないでください。乾燥した季節やカーペットの上などでは静電気を帯びやすくなっていますので、手近にある金属製のものに軽く指を触れて、静電気を逃がしてからご使用ください。**

- **雷が鳴っているときは、使用したり、充電したりしないでください。**
  故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

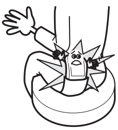
- **急激な温度変化を与えないでください。**
  結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。
  結露が生じたときは、自然乾燥させてからご使用ください。

- **充電中、ＡＣアダプタのケースが温かくなることがありますが異常ではありません。**

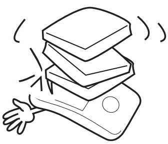
- **ＡＣアダプタを、長期間ご使用にならないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントからはずしてください。**



- **ズボンのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。**
  破損、故障の原因となります。



- **上に物を載せたり、物を落としたりしないでください。**
  荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないようにしてください。
  破損、故障の原因となります。



ご使用上のお願い　つづき

- **端子（金属部分）をときどき乾いた綿棒などで清掃してください。**
  汚れていると接続不良、充電不良の原因となります。

- **目の健康のため、長時間表示画面を見続けないでください。**

- **お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。**
  色や形が変わる原因となります。
  汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。



- **濡れた布で画面を拭かないでください。濡れた手で触れないでください。**
  故障、誤動作の原因となります。
  画面の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。

- **オプション（別売品）や携帯電話、市販品のケーブルなどをご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。**
  ・本体に取り付けているカードに強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。
  ・本体にカードを取り付けたまま持ち運びしないでください。カードが本体からはずれて紛失するおそれがあります。



- **メモリカードへ書き込み・読み出し中は、電源を切ったり、メモリカードを取り出したりしないでください。メモリカードや記憶データが、破壊されるおそれがあります。**

- **重要な本体内の記憶データは、定期的にメモを取ったり、メモリカード（オプション・別売品）やパソコン（ActiveSyncでデータ転送する）に保存して、控えを取っておくこと**

をお勧めします。

次のようなときに記憶データが消えるおそれがあります。

・内蔵電池の充電残量がなくなった（放電しきった）とき
・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障したり、修理に出したとき

- **内蔵電池は、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきる場合があります。たえず内蔵電池の充電残量をチェックして、充電を行ってください。**
- **本体の故障や修理において、または内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。**
- **本体の内蔵電池は、アドバンストリチウムイオン充電池を使用しています。**
  内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または東芝 GENIO eカスタマセンタへご依頼ください。お客様が交換することはできません。
- **使用済みのアドバンストリチウムイオン充電池は貴重な資源です。法律に基づいてリサイクルしますので廃棄しないでください。不要になった本体の回収に関しては、下記のGENIO eホームページでご覧いただくか、東芝GENIO eカスタマセンタにご連絡ください。**

Li-ion

GENIO eホームページ

URL http://genio-e.com/

東芝GENIO eカスタマセンタ

電話番号　043-279-2631
営業日　　月曜日〜日曜日（年末年始、弊社特別休日を除く）
受付時間　午前9時〜午後5時

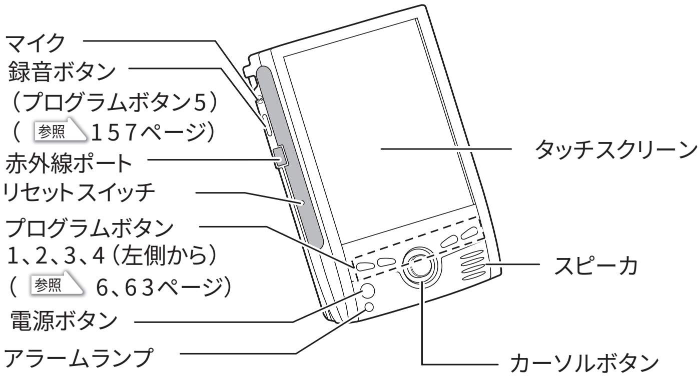
もくじ

第1章
ご利用いただく前に

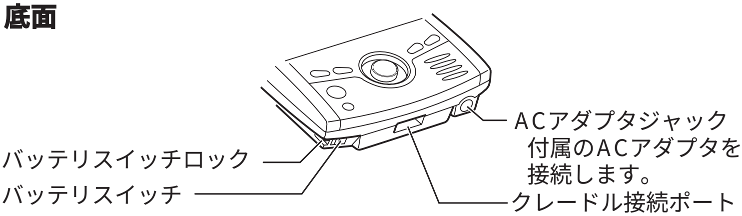
1. 各部のなまえと機能

本　体

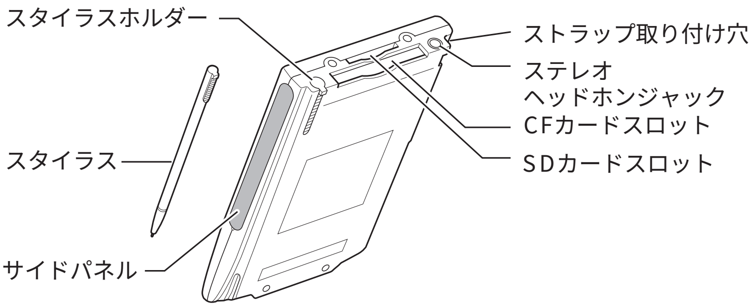
■前面・左側面



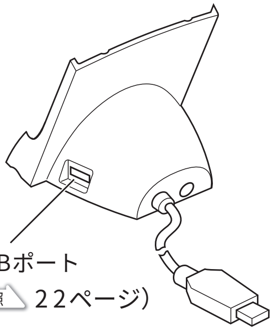
■底面



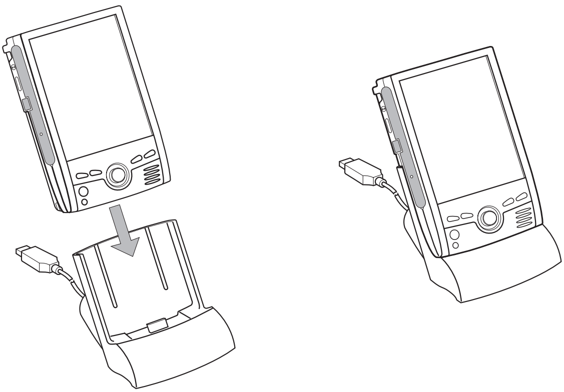
■背面



USBクレードル



■本体とクレードルの接続のしかた



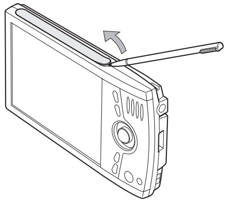
●奥までしっかり差し込んでください。

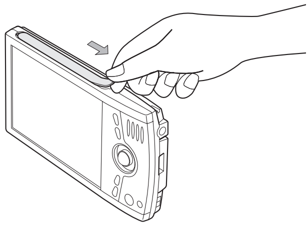
サイドパネル

サイドパネルを交換するには、下図の手順で行ってください。

■ 取り外しかた

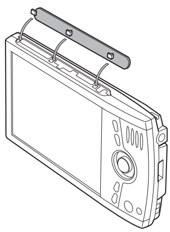
1 **サイドパネルの下端をスタイラスで持ち上げながら下側に引き抜く**



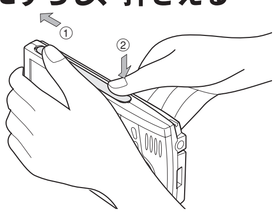


■ 取り付けかた

1 **サイドパネルを穴に合わせてはめる**



2 **はめた後、上にずらし、押さえる**

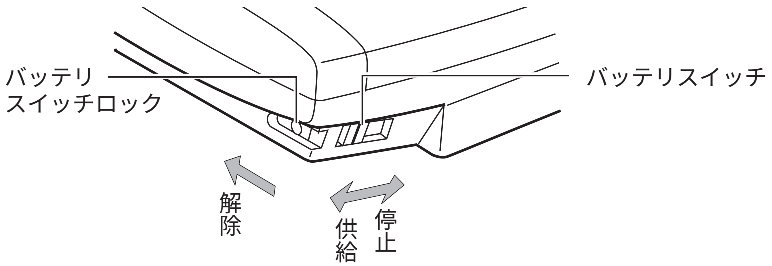


お知らせ

● サイドパネル(別売品)があります。必要に応じてお買い求めください。

バッテリスイッチ、バッテリスイッチロック

内蔵電池からの電源を供給／停止します。
バッテリスイッチは、工場出荷時は「停止」になっています。お買い上げ後、初めてお使いになるとき、ボールペンのペン先などで「供給」側に移動してください。通常は「供給」にしておきます。
バッテリスイッチを「供給」から「停止」側に移動するときは、バッテリスイッチロックをスタイラスで「解除」側に押しながら行います。
バッテリスイッチを「停止」にすると、本体が初期化され、あとから保存したデータが消え、工場出荷時状態に戻ります。



電源ボタン

電源のON/OFFとフロントライトのON/OFFを行います。

電源ボタン	電源OFFのとき	電源ONのとき
長く押す	電源がONする	フロントライトがON/OFFする
短く押す	電源がONする	電源がOFFする

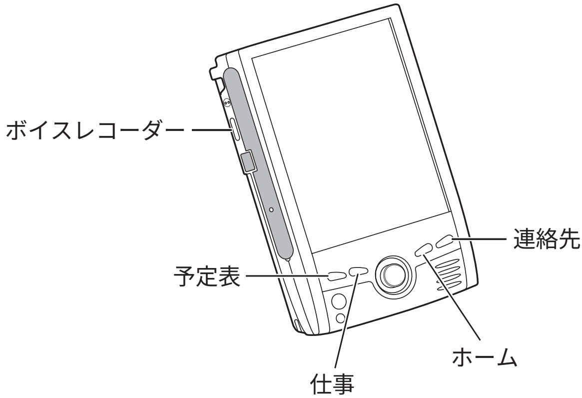
アラームランプ

本体の状態をお知らせします。

- オレンジ色の点滅‥‥「予定表」や「仕事」で設定したアラーム時刻になると点滅します。（「仕事」のアラーム時刻は、期日の午前8時です。）
- オレンジ色の点灯‥‥内蔵電池の充電中です。（この状態では、内蔵電池だけで本体を動作させることができます。）
- 黄色の点灯‥‥‥‥‥内蔵電池の充電中です。（この状態では、内蔵電池だけでは本体を動作させることはできません。）
- 黄色の点滅‥‥‥‥‥周囲温度が低すぎる、または高すぎるため、内蔵電池の充電を一時停止しました。周囲温度が約5～35℃の環境で充電を行ってください。
- 緑色の点灯‥‥‥‥‥内蔵電池の充電が完了しました。

プログラムボタン

電源がOFFのときでも、プログラムボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているプログラムが起動します。
初期状態では、次のプログラムに設定されています。

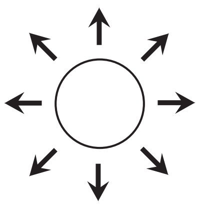


お知らせ

- プログラムボタンを押しても、プログラムが起動しない(電源が入らない)ように設定できます。(参照 67ページ)
- プログラムボタンの割り当てを設定できます。(参照 63ページ)

カーソルボタン

カーソルボタンの各方向部(8方向)を押すことによって、画面上のカーソル(選択表示)を移動できます。
カーソルボタンの中央を押すことによって、選択したプログラムなどを起動できます。

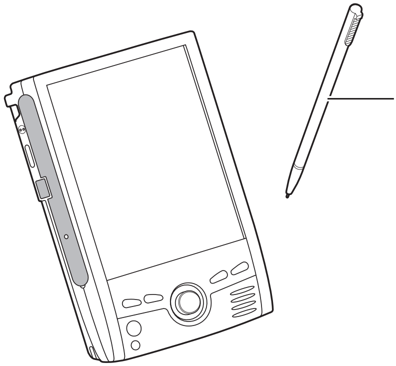


お知らせ

- 画面によって、カーソルの移動のしかたは変わります。方向によってはカーソルが移動しない場合があります。
- カーソルボタンは、付属のカーソルボタンに交換できます。(電源がOFFの状態で、カーソルボタンを引き抜いてください。取り付けるときは、しっかりはめ込んでください。)

スタイラスの使いかた

スタイラスは本体のタッチスクリーン上で、メニューの選択やデータを入力するときに使用します。



スタイラスは次のような使いかたをします。

- **タップ**：タッチスクリーンを軽く１回タッチする操作です。画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。
- **タップアンドホールド**：タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると赤の円マークが表示されポップアップメニューが表示されます。
- **ドラッグ**：タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

ご注意

- 本体のタッチスクリーンの操作には、付属のスタイラスをご使用ください。
- スタイラスの先が破損した場合は、ご使用にならないでください。先が破損したスタイラスや、ボールペンの先でタッチスクリーンの操作をすると、タッチスクリーンを傷つけることがあります。
- スタイラスは消耗品です。破損したら新しいスタイラスを、GENIO eをお買い上げの販売店でお買い求めください。
- タッチスクリーンの傷つきを防止するために、市販の画面保護シートを取り付けて、タッチスクリーンの操作をすることをお勧めします。

2. 電池の充電

電池は、本体に内蔵されています。初めて使うときは、バッテリスイッチを「供給」にしてから(参照 5ページ)充電を行ってください。

充電のしかた

充電には、ACアダプタを使う方法と、パソコンからUSB経由で行う方法があります。このほかにオプション(別売品)の「GENIO eモバイルバッテリチャージャ」を使って充電する方法もあります。

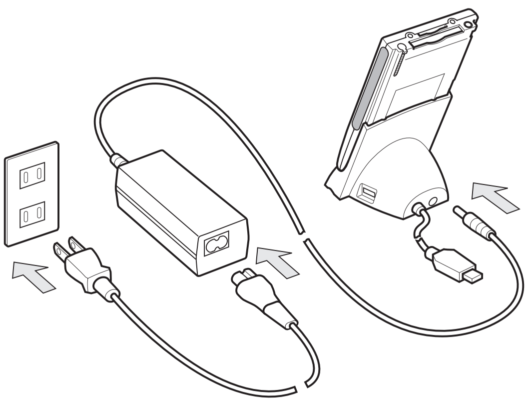
お知らせ

- 充電は、周囲温度が約5～35℃の環境で行ってください。周囲温度が低すぎても、高すぎても充電を一時停止します。動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。アラームランプの黄色の点滅は、充電の一時停止を示します。
- 充電中は、アラームランプがオレンジ色、または黄色に点灯します。黄色の点灯中は充電を続けてください。充電を中止すると本体内の記憶データが消失するおそれがあります。
- 充電が完了すると、アラームランプが緑色に点灯します。
- 充電時間は周囲温度などによって変わります。

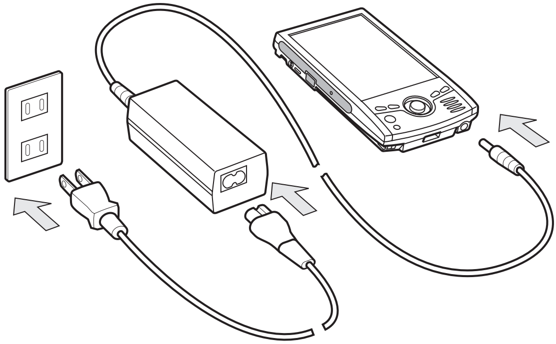
ACアダプタを使って充電する

接続のしかたに2つの方法があります。フル充電に約4時間かかります。

■ 付属のACアダプタとクレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込む



■付属のACアダプタと本体を図のように接続する

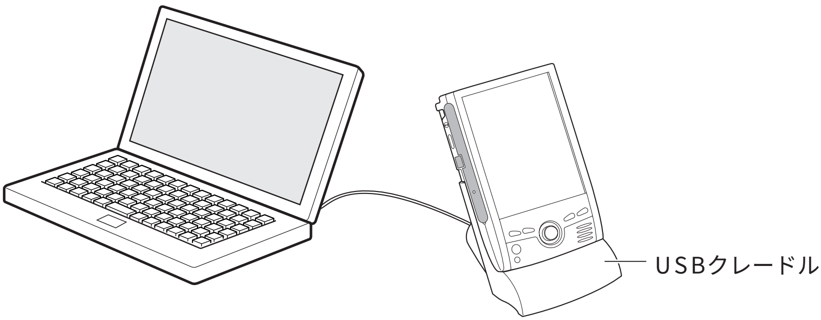


ご注意

- 本体とACアダプタを接続するときは、本体の電源をOFFにしてから行ってください。

パソコンからUSB経由で充電する

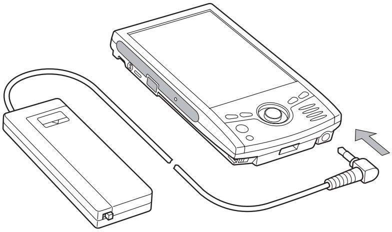
パソコンと本体を、USBクレードルまたはUSBシンクケーブル(別売品)を使って接続(参照 18ページ)しているとき、本体の電源がONで、「パワーマネージメント」の「PCからUSB経由で充電を行う」にチェックが付いていれば(参照 67ページ)、パソコン側から供給される電源で充電されます。
フル充電に約8時間かかります(フロントライトOFF、SD/CFカードスロットにカードをセットしない、画面表示のみの状態で)。



- 本体の動作状態によっては、フル充電までの時間が長くなったり、充電されないで電池残量が減っていく場合があります。
- 内蔵電池の残量が減っていくときや、パソコンから電源が供給されていないときは、アラームランプが消灯します。
- ACアダプタが接続されていると、ACアダプタからの充電が優先されます。
- 拡張ユニット(別売品)を取り付けていても、拡張ユニットは充電できません。

モバイルバッテリチャージャを使って充電する

オプション(別売品)の「GENIO eモバイルバッテリチャージャ」を使って、内蔵電池を充電することができます。充電しながら本体を動作させることもできます。
はじめにモバイルバッテリチャージャ取扱説明書をお読みになり、取り扱い方法をご理解のうえご使用ください。



■内蔵電池を充電できる量(電源OFF状態)

推奨アルカリ乾電池　　(新品を使用)　　　　.... 60〜80%

推奨ニッケル水素電池 (満充電にして使用).... 80〜100%

■充電しながら本体を動作できる時間

電池の種類	動作内容	動作可能時間
推奨アルカリ乾電池 (新品を使用)	画面表示のみの状態 (フロントライト「省電力」)	約1時間
	オーディオファイル再生 (フロントライトの明るさは初期値のまま(参照 68ページ))	約20分
推奨ニッケル水素電池 (満充電にして使用)	画面表示のみの状態 (フロントライト「省電力」)	約1.5時間
	オーディオファイル再生 (フロントライトの明るさは初期値のまま(参照 68ページ))	約1時間

上記の条件

- 内蔵電池の残量がなくなり、電源ボタンを押しても電源がONできなくなった直後から充電を始める。
- 拡張ユニットは取り付けない。

  (拡張ユニットを取り付けたまま充電した場合、充電できる量は少なくなります。)
- 周囲温度25℃

  (周囲温度が低いとアルカリ乾電池の性能が低下しますので、充電量や動作可能時間が少なくなります。)
- 推奨アルカリ乾電池 .... 東芝電池(株)製 アルカリ乾電池単3形LR6(AG)

  推奨ニッケル水素電池 ...... 東芝電池(株)製 ニッケル水素電池単3形TH-3G-4P

ご注意

- 本体に拡張ユニットを取り付けた状態で、モバイルバッテリチャージャを接続して本体を動作させないでください。
  電池が著しく消耗するため、動作状態によっては突然本体の電源がOFFする場合があります。その場合、本体やメモリカード、Microdrive™等の記憶データが消失・変化するおそれがあります。また本体、モバイルバッテリチャージャ、拡張ユニットが故障する場合もあります。これらのトラブルに対して、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

内蔵電池の使用時間を長持ちさせるには

- ACアダプタを接続して、本体を使用する。
  特に次のような動作をするときは電力の消費が大きいので、ACアダプタを使用してください。
  - ・本体とパソコンを接続して動作するとき
  - ・本体にメモリカードや、その他のオプション機器を接続して動作するとき
- 本体の操作を行わないと自動的に電源がOFFするまでの時間を短く設定する。（初期値「3分」 参照 67ページ）
- フロントライトをOFFにする。（参照 5ページ）
- フロントライトの明るさレベルを「省電力」側にする。また未使用時間に応じて消灯するまでの時間を短くする。（初期値「30秒」 参照 68ページ）
- Windows Media Player再生中は、画面表示を消す。（参照 183ページ）
- 「パワーマネージメント」の「サスペンド時の設定」で「CFカード/SDカード/PCカードに電源を供給する」チェックをはずす。（参照 67ページ）
- 「プロセッサ設定」で動作速度を遅くする。（参照 69ページ）
- 周囲温度が15～25℃の環境で使用する。内蔵電池の性能が最も発揮できる温度です。
  - ・高温・低温の場所では、内蔵電池の充電容量が低下して、使用できる時間が短くなります。

電池の寿命

内蔵電池には寿命があります。充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。極端に使用時間が短くなってきたら交換時期です。新しい内蔵電池への交換を、お買い上げの販売店または東芝GENIO eカスタマセンタへご依頼ください。なお電池の寿命は使用状態などによっても変わります。

- 本体を、炎天下の閉め切った車の中や冬の屋外など、高温・低温の場所に放置しないでください。電池の寿命が短くなります。

充電残量と記憶データの保護

内蔵電池の充電残量がなくなる(放電しきる)と本体の電源が入らなくなります。そしてそのまま放置すると本体内に記憶したデータが消えてしまいます。電源がONできなくなってからデータを保持できる時間は、約75時間です。保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。

内蔵電池の充電残量が少なくなったことを示す、警告メッセージやステータスアイコン(参照 27ページ)が表示されたら、ただちに充電を行ってください。(本商品では、お客様自身がバッテリ(内蔵電池)の交換を行うことはできません。)

- 警告メッセージ(参照 213ページ)

メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。

- ステータスアイコン

  .... 内蔵電池の充電残量がわずかになっています。

お知らせ

- 内蔵電池は、本体を使用しなくても少しずつ自然放電していきます。本体を長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきることがあります。
- 本体内の記憶データは、定期的にメモリカードやパソコンに保存しておいてください。(参照 50ページ、92ページ)
- 内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

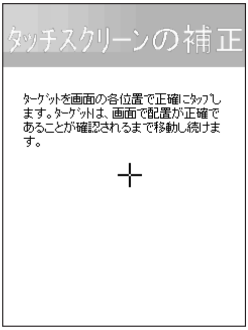
3. 初期セットアップ

初めて電源を入れたときや、本体を初期化したときは、「ようこそ」という画面が表示されます。画面の説明に従って初期セットアップを行ってください。

1 「ようこそ」という画面をタップする

2 「タッチスクリーンの補正」を行う

- スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップするごとに動きます。5回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。

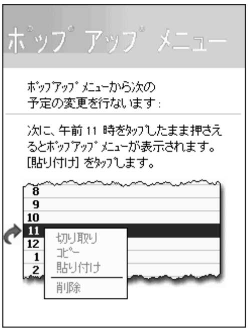


3 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

- 説明をお読みになり、「次へ」をタップしてください。

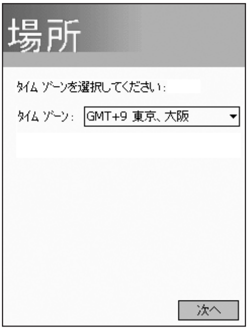
4 ポップアップメニューの操作を練習する

- 画面の説明に従って、「ポップアップメニュー」を開く操作と「切り取り」、「貼り付け」を行ってください。
- 「貼り付け」をしたら「次へ」をタップしてください。



5 場所を設定する

- 通常はそのまま[次へ]をタップしてください。
- タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。必要に応じて本商品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。



6 初期セットアップ画面を閉じる

- 「完了」の画面をタップすると「Today」画面が表示され、本体を使用開始できます。

お知らせ

- 「Today」画面については（参照 26ページ）をご覧ください。

4. 外部機器の接続のしかた

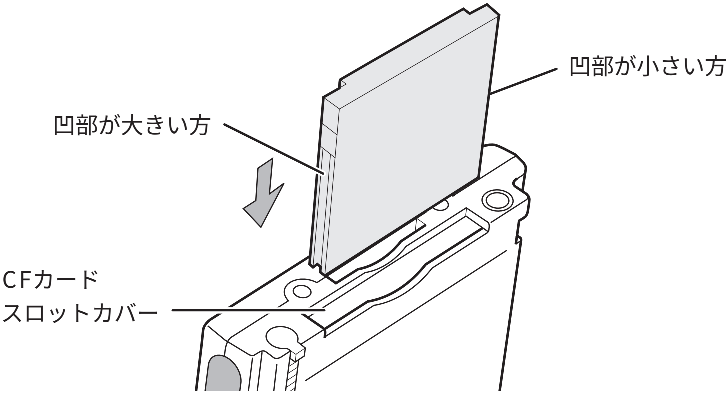
CFカードスロットにカードをセットする

1 **本体の電源をOFFにする**

2 **CFカードスロットの向きと、カードの向きが合うように確認して差し込む**

カードは、ゆっくり奥まで確実に差し込んでください。スロットカバーは内側に折りたたまれます。

● カードが差し込まれると、電源が入ります。

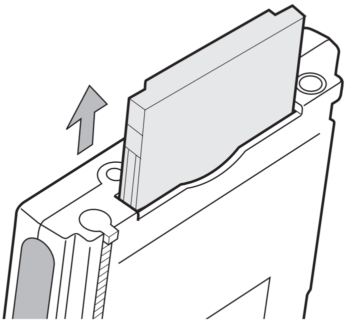


■カードの取り出しかた

1 **本体の電源をOFFにする**

2 **カードの突起部分または溝部分に指をかけてゆっくり引き抜く**

● カードを抜くと、電源が入ります。

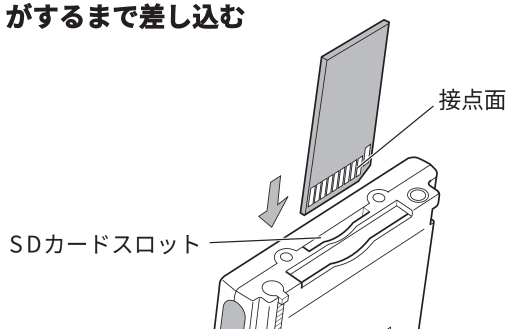


● カードによっては、取り出しを容易にするための、接着式の取り出しテープが付いています。そのテープをカードに貼り付けて、カードを抜いてください。詳細はカードの取扱説明書を参照してください。

SDカードスロットにカードをセットする

1 **本体の電源をOFFにする**

2 **カードの接点面(金属の部分)を本体背面側に向けて、カチッと音がするまで差し込む**

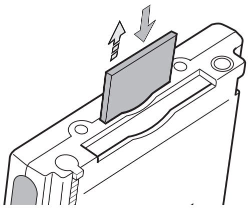


■カードの取り出しかた

1 **本体の電源をOFFにする**

2 **カードを指で軽く、カチッと音がするまで押し込み、指を離す**

3 **カードが少し飛び出してきたら、ゆっくり引き抜く**



ご注意

- CFカードスロットとSDカードスロットの両方にメモリカードをセットしても、アプリケーションや「設定」(参照 58ページ)の操作では、片方(基本的には最初にセットした方)のメモリカードしか、アクセスできない場合があります。
  代表例
  ・Pocket Outlookの「メモ」の「ツール」メニューの「オプション…」で、保存先を選択する場合
  ・Pocket Wordの「ツール」メニューの「オプション…」で、保存先を選択する場合
- 内蔵電池の充電残量が10%以下のときは、CFカードスロット、SDカードスロットにカードをセットしても使用できません。内蔵電池を充電するか、ACアダプタを接続したうえでカードを使用してください。

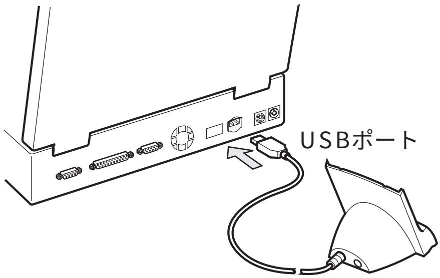
パソコンとの接続のしかた

付属のUSBクレードル、または別売のシリアルクレードルやケーブルを使って、本体とパソコンを接続できます。本体とパソコンを接続して、データの同期や受け渡しを行うには、「パソコンと接続して同期をとる」(参照 46ページ)をご覧ください。

- 本体の電源がOFFの状態で接続してください。
- パソコン側の接続ポートの位置などが、パソコンによって異なる場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

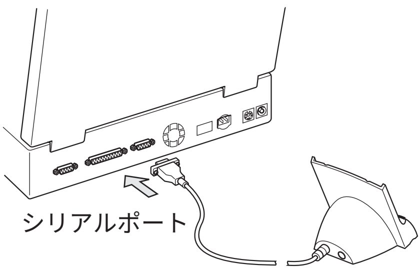
USBクレードルを使って接続する

USBクレードル(付属品)を、パソコンのUSBポートに接続する。



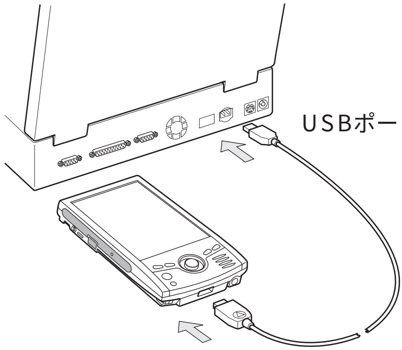
シリアルクレードルを使って接続する

シリアルクレードル(別売品)を、パソコンのシリアルポートに接続する。



ケーブルを使って直接接続する

本体とパソコンを、USBシンクケーブル(別売品)、またはシリアルシンクケーブル(別売品)を使って、直接接続する。



USBシンクケーブルの接続例

ご注意

- 静電気が発生しやすい場所や、電気的ノイズが大きい場所での使用時には、ご注意ください。
  外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障や、静電気・電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

携帯電話との接続のしかた

接続したい携帯電話に対応した別売の接続ケーブルを使って、本体に携帯電話を接続できます。本体に携帯電話を接続すると、インターネットの接続や電子メールの送受信などができます。

お知らせ

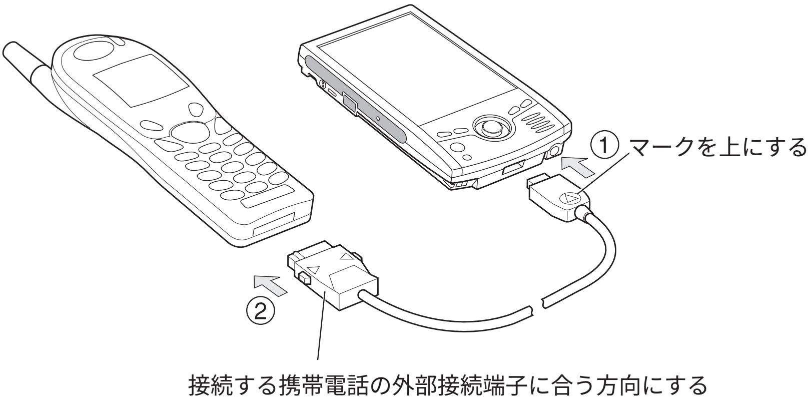
- インターネットや電子メールの方法については、第3章「インターネットの利用」をご覧ください。
- PHSは、CFカード型をお使いください。本体のCFカードスロットにセットします。PHS電話機型は、ご使用できません。

携帯電話(cdmaOne、PDC)を接続する

ご使用する携帯電話に対応した接続ケーブルをご購入ください。

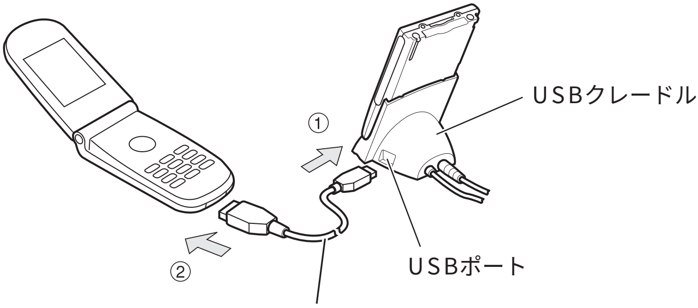
- 携帯電話(cdmaOne)接続ケーブル
- 携帯電話(PDC)接続ケーブル

接続するときは、本体および携帯電話の電源を切った状態で、下図の手順で行ってください。



携帯電話(FOMA)を接続する

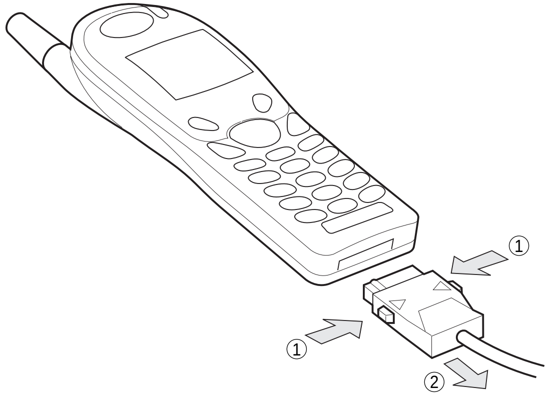
NTTドコモ製の「FOMA USB接続ケーブル」をご購入ください。
接続するときは、本体および携帯電話の電源を切った状態で、下図の手順で行ってください。



- 上図の接続で、USBクレードルの替わりに、市販のUSBホストケーブルを使用しても、本体と接続できます。

携帯電話の取り外しかた

携帯電話と接続ケーブルを取り外す際には、コネクタ部両側のロックボタンを押しながら、まっすぐに引き抜いてください。

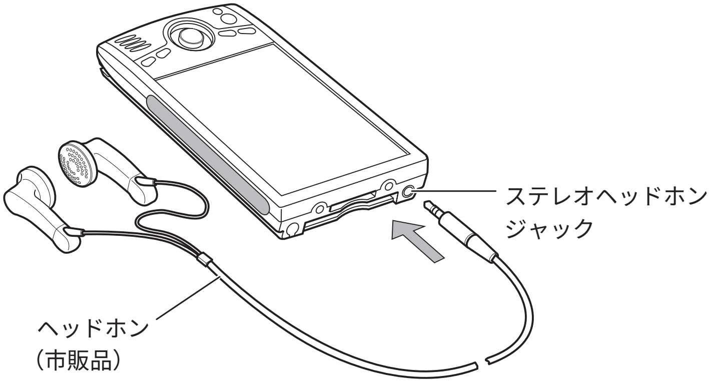


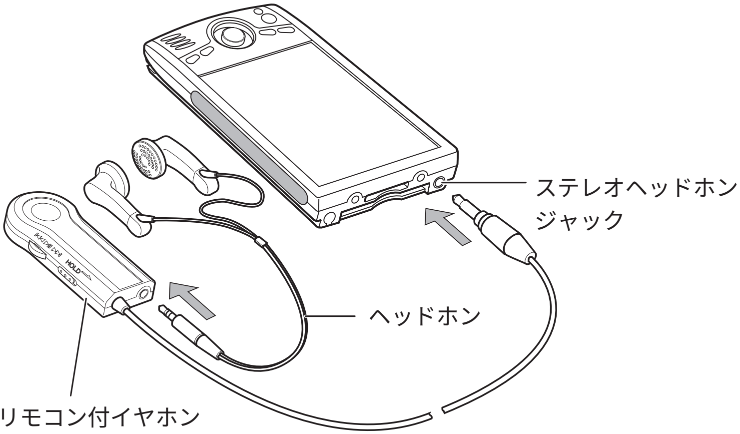
ご注意

- 通信中に携帯電話の電源を切ったり、接続ケーブルを抜かないでください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、接続部が曲がらないようにていねいに行ってください。

ヘッドホンまたはリモコン付きイヤホンの接続

ヘッドホン（市販品）やリモコン付きイヤホン（別売品）を本体に接続して、本体の出力音声を聞くことができます。
ヘッドホンまたはリモコン付きイヤホンは、下図のようにステレオヘッドホンジャックに接続してください。



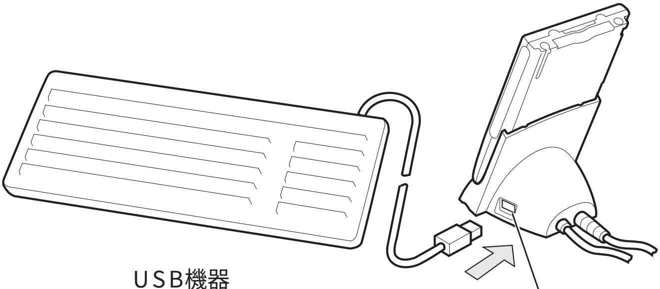


ご注意

- リモコン付きイヤホンは、指定のオプションを使用してください。指定のオプション以外をご使用になると、故障の原因となります。
- 本体に直接接続できるヘッドホン、イヤホンはφ3.5mmミニプラグのタイプです。
- 次のような場合にはヘッドホンを着用しないでください。大きな雑音が発生する場合があります。
  - ・本体の電源を入れる/切るとき
  - ・ヘッドホンの取り付け/取り外しをするとき
- 音量を小さくしておいてからヘッドホンを着用してください。着用後適切な音量に調整してください。

USBクレードルのUSBポートに接続する

付属のUSBクレードルにはUSBポートが装備されています。
ここにキーボードなどのUSB機器を接続することができます。



■ USB機器に供給できる電流

内蔵電池のみの時 最大200mA

ACアダプタ接続時 最大500mA

・ 供給できる電流量を超えると、供給を停止します。
その場合データが消失・変化するおそれがあります。データが消失・変化しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

- 内蔵電池の充電残量が40%以下のときは、USB機器を接続しても使用できません。内蔵電池を充電するか、ACアダプタを接続したうえでUSB機器を使用してください。
- USB機器を使用するためにUSBドライバが必要な場合は、本体にインストールしてください。

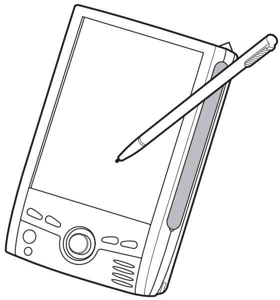
お知らせ

- USBホストケーブル（別売品）を使って、USB機器を本体に接続することもできます。
- USBハブを介してのUSB機器の接続は、保証できません。

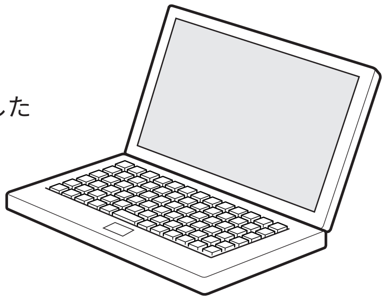
第2章 基本操作と環境設定

使用環境設定をお好みに設定したり、パソコンやメモリカードを利用して、本体をより便利に使うことができます。

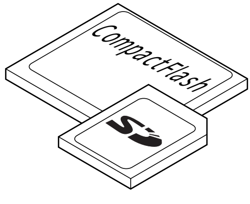
「Today」画面、「ホーム」画面、プログラムボタンなどをお好みに設定できます。



パソコンと接続して、作成したデータの同期ができます。



SDメモリカード、コンパクトフラッシュメモリカードを使って、データのバックアップができます。

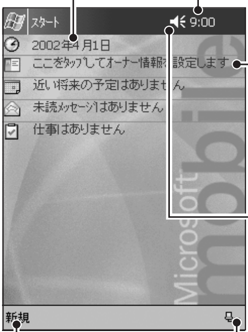


1. 基本的な使いかた

「Today」画面の見かた

「Today」画面について

最初に本体の電源を入れると、「Today」画面が表示されます。また、「スタート」メニューから「Today」をタップしても表示されます。「Today」画面には、その日の予定、未読メッセージ、仕事が表示されます。



タップすると日付・時刻が設定できます。（参照 65ページ）

タップすると日付・時刻と今日の次の予定が表示されます。

ナビゲーションバー（参照 32ページ）

タップすると「オーナー情報」が設定できます。（参照 61ページ）

タップすると「予定表」「受信トレイ」「仕事」のプログラムが起動します。（参照 144ページ、131ページ、152ページ）

音量調整アイコン
タップすると、音量の調整やスピーカー出力のオン、オフができます。

コマンドバー（参照 32ページ）

タップすると、接続の状態が表示されます。（ActiveSync接続時）

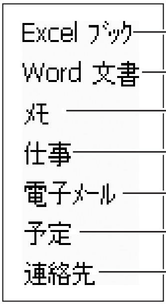
タップすると、「新規」メニューが表示されます。（参照 27ページ）

お知らせ

- 背景画像など、「Today」画面の表示内容を設定できます。設定については（参照 60ページ）をご覧ください。
- 「ホーム」画面からでも、その日の予定、未読メッセージ、仕事を見たり、いろいろなプログラムを起動できます。「ホーム」画面については、（参照 73ページ）をご覧ください。

「新規」メニューについて

「Today」画面左下の「新規」をタップすると「新規」メニューが表示されます。
メニューに表示するプログラムは変えられます。（参照 64ページ）
各メニューをタップすると、それぞれの新規入力画面が表示されます。



- Excel ブック：参照 172ページ
- Word 文書：参照 162ページ
- メモ：参照 155ページ
- 仕事：参照 152ページ
- 電子メール：「送信メール」の作成画面が表示されます。（参照 131ページ）
- 予定：参照 144ページ
- 連絡先：参照 150ページ

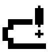
ステータスアイコンについて

本体の動作状況によって、画面上のナビゲーションバーや画面下のコマンドバーに次のステータスアイコンが表示されます。「Today」画面以外でも表示されます。

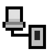
……………スピーカの出力（画面のタップ音やアラーム音など）が、オンになっています。アイコンをタップすると音量調整とスピーカ出力のオン、オフが設定できます。

……………スピーカの出力がオフになっています。

……………電池残量が少なくなってきました。

……………電池残量がわずかになっています。

……………同期が開始または終了します。

……………パソコンに接続中です。

ご注意

- 通知アイコンが表示された場合は、このアイコンをタップして、通知内容を確認してください。
- 「メインバッテリ残量警告」のメッセージ（参照 213ページ）が表示されたら、すみやかに内蔵電池を充電してください。

プログラムの起動と切り替え

「スタート」メニューから起動する

1 画面左上の「スタート」をタップする

- 「スタート」メニューが表示され、その中から各プログラムを選択して起動します。すでにそのプログラムが起動しているときは、そのプログラムに切り替わります。



最近起動したプログラムのアイコンが順番に5つまで表示されます。タップするとプログラムが起動します。

タップすると各プログラムが起動します。
- ここに表示するプログラムは設定で変えられます。（参照 64ページ）

タップするとそれぞれの画面が表示されます。

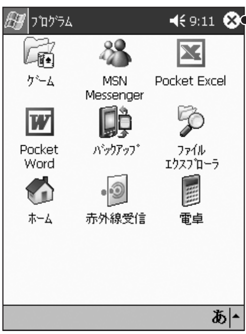
お知らせ

- 「ホーム」プログラムを使ってプログラムを起動させることもできます。（参照 73ページ）
- プログラムボタンを押しても、それに割り当てられているプログラムを起動させることができます。（参照 6ページ）

「スタート」メニューに表示されていないプログラムを起動する

1 「スタート」メニューの「プログラム」をタップする

- 「プログラム」の画面が表示され、その中から各プログラムを選択して起動や切り替えをします。



タップすると、この画面が消えます。

内蔵プログラムについて

本体には以下のプログラムが内蔵されています。

アイコン	プログラム名	概　要	参照ページ
	ActiveSync	本体とパソコンまたはサーバー間で情報が交換できます。	47
	MSN Messenger	チャットができます。	184
	Pocket Excel	Pocket PC用表計算ソフトです。	172
	Pocket Internet Explorer	Webページを表示するためのブラウザソフトです。	124
	Pocket Word	Pocket PC用ワープロソフトです。	162
	Windows Media Player	音楽の再生と、動画の再生が行えます。	178
	ソリティア	カードゲームです。	189
	バックアップ	本体メインメモリ上のすべてのデータをメモリカードにバックアップできます。	92
	ファイルエクスプローラ	ファイルを管理できます。	52
	ホーム	プログラムやファイルを登録して簡単に起動できます。	73
	メモ	手書きメモ、図、文字入力が行えます。	155
	仕事	仕事の管理ができます。	152
	受信トレイ	電子メールの送受信や受信したメールの整理が行えます。	131
	赤外線受信	本体同士、または本体と他のPocket PCとの間でデータ転送が行えます。	57
	電卓	9桁の計算ができます。	188
	予定表	スケジュールの管理ができます。	144
	連絡先	アドレスの管理ができます。	150

● 付属のコンパニオンCDに入っているプログラムについては（参照 190ページ）をご覧ください。

プログラムの追加と削除

本体に、Pocket ＰＣ用のプログラムを追加インストールして、利用することができます。付属のコンパニオンCDに入っているプログラムのインストール方法は、（参照 １９２ページ）をご覧ください。

プログラムのインストール

プログラムを本体にインストールするには、事前に接続するパソコンにMicrosoft ActiveSyncをインストールし、本体とパソコンが接続できるように準備をしておきます。（参照 ４７ページ）またインストールに必要な空きディスク容量とメモリが確保されているか確認してください。（参照 ７１ページ）
インストールの方法は、プログラム（CD-ROMやインターネット等のダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■インストールの操作例

1 プログラムの入ったCD-ROMやＦＤをパソコンのドライブに挿入する（または、インストールしたいプログラムをインターネット等からダウンロードする）

2 本体をパソコンに接続する

3 パソコンでCD-ROMやFD内またはダウンロードしたファイル内の（＊.exe ）ファイルをダブルクリックする

4 画面の指示に従って操作をする

- プログラムがパソコンにインストールされ、インストーラによって自動的にプログラムが本体に転送されます。
- ファイルがインストーラを備えていないと、エラーメッセージが表示されます。この場合はファイルを本体に移動する操作が必要です。パソコンのエクスプローラを使って、ファイルを本体の「Program Files」フォルダにコピーしてください。エクスプローラで本体のフォルダ一覧が表示できます。「本体とパソコンの間で、ファイルを移動する」（参照 ５０ページ）をご覧ください。

プログラムを削除する

削除の方法は、プログラム（CD-ROMやダウンロード元）に付随している説明に従ってください。

■削除の操作例

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プログラムの削除」をタップする**

2 **プログラムリストから削除するプログラムを選択し、「削除」をタップする**

- プログラムリストに削除するプログラムが表示されないときは、ファイルエクスプローラ（参照 52ページ）を使用して探してください。見つかったらプログラムをタップアンドホールドし、ポップアップメニューを表示させ、「削除」をタップしてください。

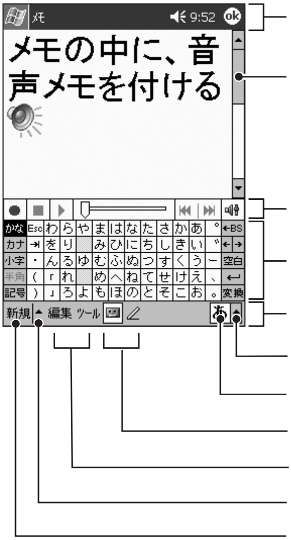
お知らせ

- 本体にあらかじめインストールされていたプログラムは、削除できません。

プログラムの基本操作

プログラムの画面構成について

「メモ」の入力画面を使って、主な画面構成の説明をします。



ナビゲーションバー
スクロールバー
録音ツールバー（参照 157ページ）
入力パネル（参照 35ページ）
コマンドバー
入力パネル切り替えボタン（参照 35ページ）
入力パネル表示ボタン（参照 35ページ）
ボタン
メニュー
新規メニュー（参照 64ページ）
新規ボタン
タップすると新規入力画面が表示されます。

■ナビゲーションバーについて

画面の最上段にあり、現在使用中のプログラム名と現在時刻の表示、プログラムの切り替え（ スタートメニュー）、スピーカーの音量調整、画面の終了（ok ボタン）ができます。

■コマンドバーについて

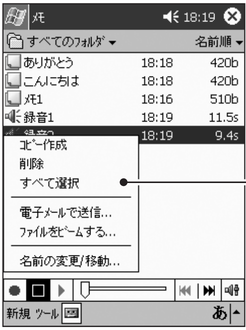
画面の最下段にあり、現在使用中のプログラムのメニューとボタン、および入力パネルボタン（表示／切り替え）などが表示されます。

お知らせ

- ナビゲーションバーの⊗をタップすると、そのプログラム画面が消えます。
- プログラムを終了するには、 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップし、「実行中のプログラム」タブで、終了したいプログラム名を選び、「終了」をタップしてください。（参照 71ページ）
  「ホーム」プログラムを使って、プログラムを終了させることもできます。（参照 78ページ）
- 電源をOFFにしてもプログラムは終了しません。

ポップアップメニューについて

画面上に表示されている項目などをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されます。



ポップアップメニュー
- ポップアップメニューの枠の外をタップすると、ポップアップメニューは消えます。

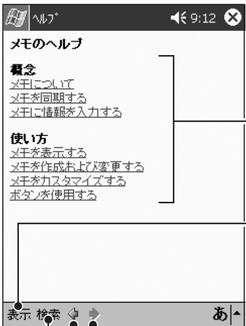
オンラインヘルプの使いかた

1 「スタート」から「ヘルプ」をタップする

そのとき表示していた画面に応じた「ヘルプ」の画面が表示されます。
- 「Today」画面を表示していたときは、「ヘルプの目次」の画面が表示されます。
- プログラムを開いていたときは、そのプログラムのヘルプが表示されます。

2 見たい項目をタップする

（例：「メモ」を開いていた場合）



アンダーライン付（リンク）の項目をタップするとその項目が開きます。

タップすると、「目次」（そのヘルプの先頭にある目次）と「すべてのトピック」（本体に搭載されているヘルプ全体の目次である「ヘルプの目次」）が選択できます。

タップすると、先に進んだヘルプ画面まで再び進んで表示します。

タップすると、もとのヘルプ画面まで戻って表示します。

タップすると「検索」の画面が表示され、検索したい語句を入力できます。

検索のしかた

1 「スタート」から「検索」をタップする

「検索」の画面が表示されます。

2 「検索」欄に検索したい語句を入力する

文字の入力のしかたは、「文字入力のしかた(参照 35ページ)」をご覧ください。



以前に検索した項目を検索するときは、▼をタップして表示された一覧から選びます。
一覧には最近検索した6項目まで表示されます。

データの種類を絞り込んで検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

3 「開始」をタップする

My Documentsとそのサブフォルダが検索され、検索結果が表示されます。

- 再度検索する場合は、「検索」欄をタップして、検索語句を入力します。

2. 文字入力のしかた

文字入力の概要について

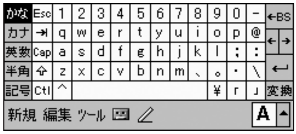
「文字入力モード」は、入力パネルを使って文字を入力します。入力パネルは、以下の4つのタイプがあります。

● キーボードタイプ入力パネル

「ひらがな／カタカナ」

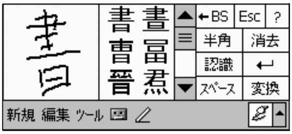


「ローマ字／かな」

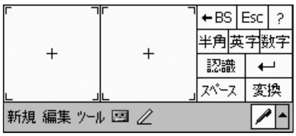


● 手書きタイプ入力パネル

「手書き検索」

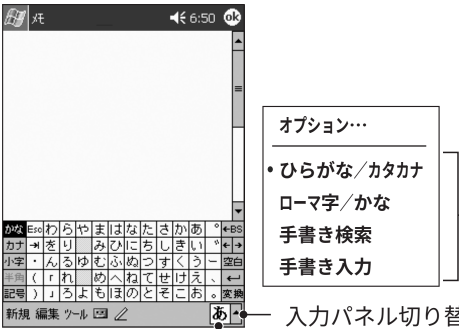


「手書き入力」



入力パネルの切り替えについて

画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、使用したい入力パネルを選択すると画面下部に入力パネルが表示されます。



使用したい入力パネルをタップして選びます。

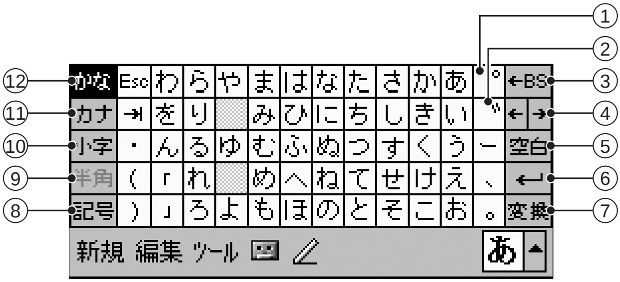
入力パネル切り替えボタン

入力パネル表示ボタン
タップすると入力パネルの表示/非表示の切り替えができます。

キーボードタイプの入力パネル

「ひらがな／カタカナ」キーボード

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。



① ゜ ....「ぱ」行を入力するときには、「は」行のキーをタップしてから゜をタップします。

② ゛ ....「が」、「ざ」、「だ」、「ば」行を入力するときには、「か」、「さ」、「た」、「は」行のキーをタップしてから゛をタップします。

③ ←BS ....カーソルの前にある文字を、タップするごとに1文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

④ ←→ ....カーソルを前後に移動します。

⑤ 空白 ....空白を入力します。

⑥ ↵ ....「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

⑦ 変換 ....ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して変換をタップすると、再変換します。

⑧ 記号 ....記号キーボードに切り替わります。（参照 38ページ）

⑨ 半角 ....タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう一度タップすると解除します。

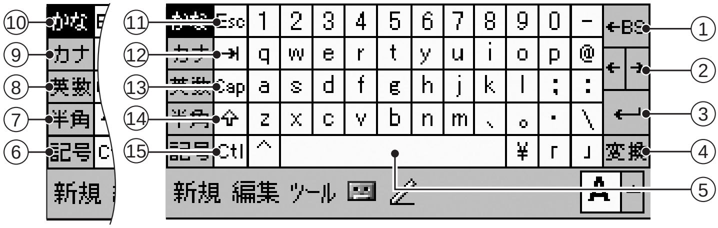
⑩ 小字 ....タップして「小字」を反転させると、「つ」、「や」、「ゆ」、「よ」などの文字が小文字入力になります。小文字入力は、1文字入力すると解除されます。

⑪ カナ ....「カタカナ」キーボードに切り替わります。

⑫ かな ....「ひらがな」キーボードに切り替わります。

「ローマ字／かな」キーボード

キーボードのキーは以下のようなはたらきがあります。



①［←BS］……………カーソルの前にある文字を、タップするごとに1文字ずつ削除します。
変換中にタップすると、変換を解除します。

②［←｜→］……………カーソルを前後に移動します。

③［↵］……………「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。

④［変換］……………ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して［変換］をタップすると、再変換します。

⑤［　］…………「スペース」キーです。空白を入力します。

⑥［記号］……………記号キーボードに切り替わります。（参照 38ページ）

⑦［半角］……………タップして「半角」を反転させると半角入力できます。ひらがなの半角入力はできません。もう一度タップすると解除します。

⑧［英数］……………英数字入力します。

⑨［カナ］……………ローマ字入力で、カタカナを入力します。

⑩［かな］……………ローマ字入力で、ひらがなを入力します。

⑪［Esc］……………「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。

⑫［⇥］……………「タブ」キーです。タブを入力します。

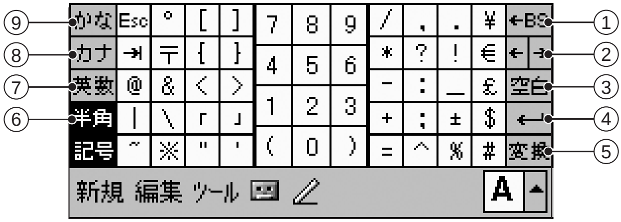
⑬［Cap］……………「キャプスロック」キーです。英数字入力のときに、タップして［Cap］を反転させると大文字入力ができます。もう一度タップすると解除します。

⑭［⇧］……………「シフト」キーです。タップして［⇧］を反転させると、大文字および記号（！“ ＃＄％＆‘（　）＿＝…など）の入力ができます。1文字入力すると、シフトキーが解除されて元に戻ります。

⑮［Ctl］……………「コントロール」キーです。

■「記号」キーボード

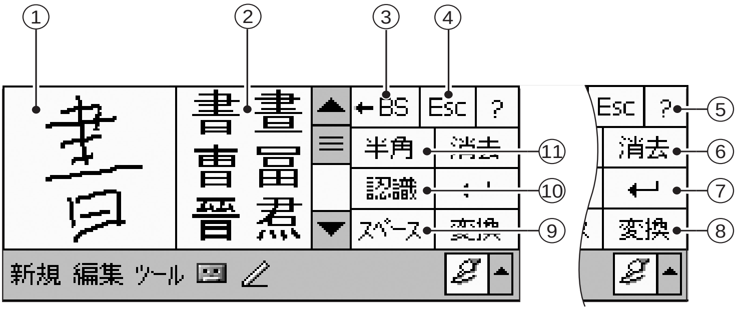
「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」キーボード左下の「記号」をタップすると、「記号」キーボードが表示されます。



① ～⑤ .... 各キーのはたらきは「ひらがな／カタカナ」キーボードの③④⑤⑥⑦のキーと同じです。
⑥ 半角 .... タップして「半角」を反転させると、半角入力ができます。もう一度タップすると解除します。
⑦ 英数 .... 「ローマ字／かな」キーボードに切り替わります。
⑧ カナ .... 「カタカナ」入力モードに戻ります。
⑨ かな .... 「ひらがな」入力モードに戻ります。

手書きタイプの入力パネル

「手書き検索」入力パネル

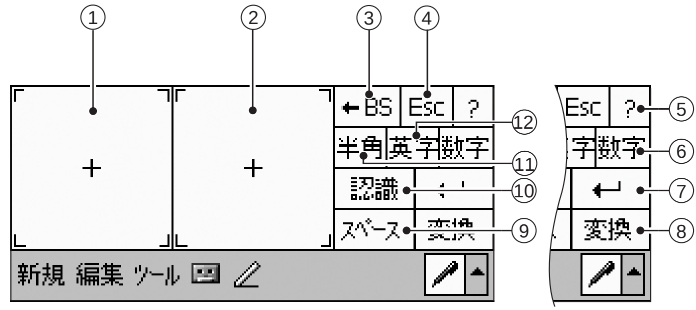


①（手書き入力欄）...... 手書き入力します。
②（認識候補一覧）...... ①で入力された文字の認識候補が一覧表示されます。入力したい文字を選択します。
③ ←BS .... ①で手書き中に ←BS をタップすると、最後の1画が消去されます。文字列では、カーソルの前にある文字を1文字ずつ削除します。また、変換中にタップすると、変換を解除します。
④ Esc .... 「エスケープ」キーです。カナ、かなで入力した変換前の文字を一括して消去します。
⑤ ? .... タップすると、キーのヘルプ画面が表示されます。
⑥ 消去 .... ①と②の欄内の文字が消去されます。
⑦ ↵ .... 「エンター」キーです。改行や変換の確定をします。
⑧ 変換 .... ひらがな入力した文字を漢字変換します。また、既に確定されている文字列を選択して 変換 をタップすると、再変換します。
⑨ ｽﾍﾟｰｽ .... 文字列にスペースを挿入します。
⑩ 認識 .... ①に手書き中に ←BS をタップして画数を減らしたときに、②の候補リストを更新します。
⑪ 半角 .... タップして反転させると、カタカナ、英数字などの半角入力ができます。もう一度タップすると解除します。

お知らせ

● 入力手順は、（参照 42ページ）をご覧ください。

「手書き入力」入力パネル



①②（手書き入力欄）…………… 2つの欄に手書きした文字が順に認識され、連続的に入力されます。

③〜⑤、および⑦〜⑪ ……… 各キーのはたらきは、「手書き検索」の入力パネルと同じです。

⑥数字 ………………………………… タップして「数字」を反転させると、数字および記号を書き込むモードに切り替わります。もう一度タップすると解除します。

⑫英字 ………………………………… タップして「英字」を反転させると、英字を書き込むモードに切り替わります。もう一度タップすると解除します。

お知らせ

● 入力手順は、（参照 43ページ）をご覧ください。

文字入力する

ここでは、Pocket Wordを使って文字入力のしかたを説明します。
Pocket Wordの新規文書を開くには、「Today」画面のコマンドバーの「新規」から、「Word 文書」をタップします。

- 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップしても開けます。

「ひらがな／カタカナ」入力パネルを使って入力する

（例）「かんじ」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 画面右下の入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ひらがな／カタカナ」入力パネルを選択する

「ひらがな／カタカナ」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「かんじ」と入力する

画面に「かんじ」と入力されます。



3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

- 変換が違うときはもう一度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ↵をタップする

反転が解除されて、確定します。

「ローマ字／かな」入力パネルを使って入力する

（例）「kanji」と入力して、「漢字」に変換してみます。

1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「ローマ字／かな」入力パネルを選択する

「ローマ字／かな」入力パネルが表示されます。

2 キーボードから「kanji」と入力する

画面に「かんじ」と表示されます。

3 「変換」をタップする

「かんじ」が「漢字」（反転）に変換されます。

- 変換が違うときはもう一度「変換」をタップして候補リストを表示します。リストの中から「漢字」を選択します。

4 ↵ をタップする

反転が解除されて、確定します。

「手書き検索」入力パネルを使って入力する

（例）「書」と手書きして変換してみます。

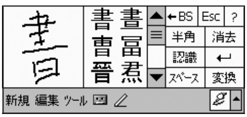
1 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き検索」入力パネルを選択する

「手書き検索」入力パネルが表示されます。

2 手書き入力欄に「書」と手書き入力する

右側に認識候補一覧が表示されます。

- 一覧から「書」を選択すると、画面上部に「書」が表示されます。



3 ↵ をタップする

「書」が確定されます。

「手書き入力」入力パネルを使って入力する

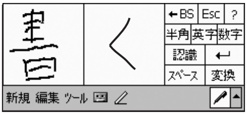
（例）「書く」と手書きして変換してみます。

1　入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「手書き入力」入力パネルを選択する

「手書き入力」入力パネルが表示されます。

2　2つの手書き入力欄に「書」、「く」と手書き入力する

自動的にテキスト変換して、「書く」と表示されます。



3　［↵］をタップする

「書く」が確定されます。

文字の編集について（追加、削除、変更、コピー、移動）

文字を追加するには

1　文字を追加したい位置をタップする

カーソルが点滅表示されます。

2　追加したい文字を入力する

カーソル位置に入力文字が追加されます。

お知らせ

- 「ひらがな/カタカナ」または「ローマ字/かな」入力パネルの［←|→］キーをタップしてもカーソルの位置を移動できます。
- カーソルボタンでもカーソルの位置を移動できます。
- 改行するには、改行したい位置にカーソルを合わせ、［↵］「エンター」キーをタップします。

文字を削除するには

1 削除したい文字の直後をタップする

カーソルが点滅表示されます。

2 カーソルの位置を確認して[←BS] をタップする

カーソルの位置から前へ順に削除されます。

- 削除したい範囲をドラッグして、[←BS] または編集メニューからクリアをタップすると、複数の文字を一度に削除できます。

文字を変更するには

1 変更したい範囲をドラッグして、新しい文字を入力する

文字をコピーするには

1 コピーしたい範囲をドラッグして、「編集」メニューの「コピー」をタップする

2 貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる

3 「編集」メニューの「貼り付け」をタップする

文字を移動するには

1 移動したい範囲をドラッグして、「編集」メニューの「切り取り」をタップする

2 貼り付け（挿入）したい位置をタップし、カーソルを点滅させる

3 「編集」メニューの「貼り付け」をタップする

文字を編集前に戻すには

直前の編集操作を取り消して、ひとつ前の状態に戻すことができます。

1 「編集」メニューの「元に戻す」をタップする

お知らせ

- 「元に戻す」の操作をした直後、編集メニューの「やり直し」をタップすると、元に戻した操作をやり直すことができます。

3. パソコンと接続して同期をとる

本体とパソコンを接続すると、本体とパソコンとの間で、「連絡先」、「予定」、「仕事」、「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行えます。
本体をパソコンに接続するためには、パソコンにActiveSync® 3.5をインストールする必要があります。また、「連絡先」、「予定」、「仕事」、「受信トレイ」の同期には、Outlook®(Outlook® 2002を推奨)をインストールする必要があります。

パソコンの必要条件について

ActiveSync® 3.5は、Outlook® 98、Outlook® 2000、Outlook® 2002に対応しています。(Outlook® 2002を推奨。)

- 本体のOSのPocket PC 2002では、ActiveSync® 3.1日本語版は、サポート対象外になります。

ActiveSync® 3.5 およびOutlook® 2002の動作環境は、次のとおりです。

■オペレーティングシステム(下記の日本語版)、接続ポート

オペレーティングシステム	接続ポート		
	USB接続	9または25ピンのシリアル接続ポート	赤外線通信ポート
Microsoft® Windows® 2000/98/Me/XP	使用可	使用可	使用可
Windows NT® Workstation4.0 (Service Pack6以降)	使用不可		

- Windows® 95は、ActiveSync® 3.5およびOutlook® 2002の対象OSではありません。
- シリアル通信ポートで接続する場合は、シリアルシンクケーブル(別売品)またはシリアルクレードル(別売品)が必要です。また25ピン通信ポートの場合は、市販の変換アダプタが必要です。

■プロセッサ、メモリ(お使いのオペレーティングシステムによって異なります。)

オペレーティングシステム	プロセッサ	メモリ
Windows® 98	486/66DX以上のプロセッサ (Pentium® 90MHz以上を推奨)	16MB以上を推奨
WindowsNT® Workstation 4.0	Pentium® プロセッサ	32MB以上を推奨
Windows® 2000	Pentium® 166MHz以上のプロセッサ	64MB以上を推奨
Windows® Me	Pentium® 150MHz以上のプロセッサ	32MB以上を推奨
Windows® XP	動作クロック300MHz以上のプロセッサ	128MB以上を推奨

インストールソフト	Microsoft® Internet Explorer 5.0以降のバージョン
必要な空きハードディスク容量とメモリ	Internet Explorer 5.0の場合 56～98MB ActiveSync® の場合12 ～65MB
	Outlook® 2002フルインストールの場合　230MB以上 （メモリは64MB以上を推奨）
各オプション	オーディオカード／スピーカー
	Microsoft® Office97、またはMicrosoft® Office2000、またはMicrosoft® OfficeXP
	リモート同期用モデム
	リモート同期用イーサネットLAN接続
その他	CD-ROMドライブ
	256色以上のVGA グラフィックスカード、または 互換のあるビデオグラフィックスアダプタ
	キーボード
	Microsoft マウス、または互換性のあるポインティングデバイス

ActiveSync3.5について

本体（Pocket PC）とパソコンの間で、データ交換をするためのパソコン用のプログラムです。本体には、Pocket PC用のActiveSyncがすでにインストールされています。
ActiveSync3.5を使用して本体とパソコンの間で、以下のようなことが行えます。

- 「連絡先」、「予定」、「仕事」の同期
- 「受信トレイ」内のメールの同期
- ファイルのコピーまたは移動
- 選択したファイルの同期
- 本体へのアプリケーションの追加と削除
- 本体のデータのバックアップと復元

お知らせ

- ActiveSync3.5は付属のコンパニオンCDに収録されています。
- ActiveSync3.5の詳細については、ActiveSync3.5をパソコンにインストールしてから、ActiveSync3.5のヘルプをご覧ください。
- クイックスタートガイドの「パソコンとの接続」をご覧になり、その順番でActiveSync3.5をインストールしてください。

初めてパソコンと接続して同期をとる

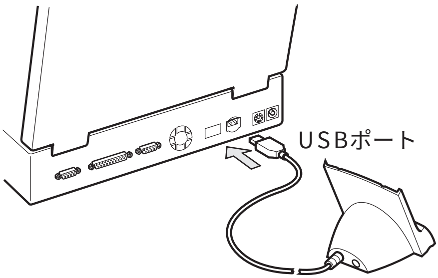
初めてパソコンと接続して同期をとるときは、次の手順で接続します。
クイックスタートガイドに詳しく説明していますので、クイックスタートガイドをご覧になり、接続をしてください。

1 **付属のコンパニオンCDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する**

2 **パソコンにMicrosoft Outlook 2002をインストールする**

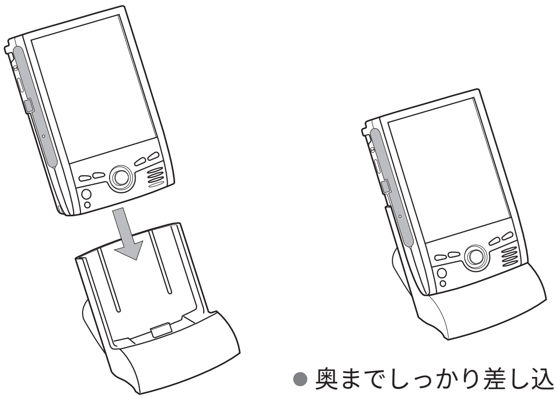
3 **パソコンにActiveSync3.5をインストールする**

4 **USBクレードルをパソコンのUSBポートに接続する**



● このときはUSBクレードルに本体を差し込まないでください。

5 **本体を電源OFFの状態で、USBクレードルに接続する**



● 奥までしっかり差し込んでください。

本体の電源がONになり、本体とパソコンの接続が確立されます。
● 本体はパソコンから「モバイルデバイス」として認識されます。

6 パートナーシップの設定をする

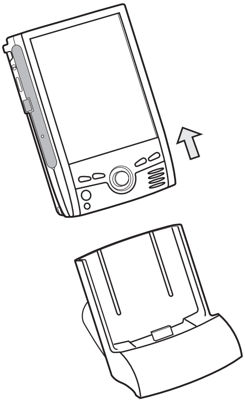
本体とパソコンの同期の設定をします。

7 「セットアップ完了」の画面で「完了」をクリックする

本体とパソコンの同期を開始します。

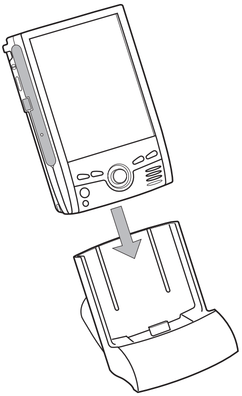
■本体とパソコンの接続を取り外すには

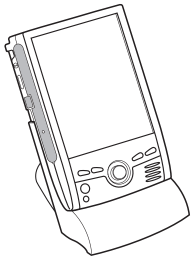
本体の電源をOFFにして、本体をクレードルから取り外します。



再びパソコンと接続して同期をとる

本体を電源OFFの状態で、USBクレードルに接続します。本体とパソコンが接続し、同期を開始します。





● 奥までしっかり差し込んでください。

● 本体が動作しているとき、クレードルから本体を着脱しないでください。故障、誤動作、データ消失の原因となります。

同期の設定を変更する

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」の「オプション」をクリックし、「同期の設定」タブで同期したい情報の種類にチェックを付けます。



お知らせ

- 「設定」をクリックすると、その情報の同期の条件などについて詳しく設定できます。
- 「ファイル」にチェックを付けると選択したファイルを同期できます。
- 詳しくはパソコン上のActiveSyncのヘルプをご覧ください。

本体とパソコンの間で、ファイルを移動する

パソコンのエクスプローラで「モバイル デバイス」の「マイ ポケット PC」をクリックします。
本体のフォルダ一覧が表示されるので、ファイルの移動などができます。

本体のデータをパソコンへバックアップする

パソコンのActiveSyncを開き、「ツール」の「バックアップ／復元」をクリックし、「バックアップ」をクリックします。

- 詳しくは、パソコン上のActiveSyncのヘルプをご覧ください。

赤外線を使ってパソコンと接続して同期をとる

クレードルやケーブルを使わずに、赤外線を使ってパソコンに接続できます。

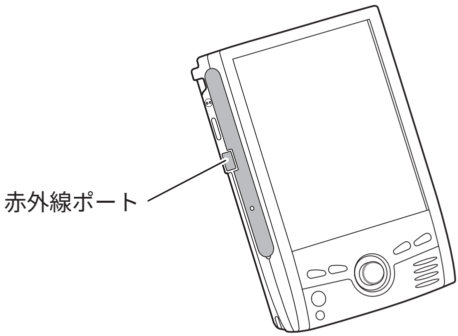
1 パソコンの赤外線接続を設定する

- お使いのパソコンの赤外線ポートを設定します。お使いのパソコンの取扱説明書をご覧になり、設定してください。

2 本体とパソコンの赤外線ポートの位置を合わせる

- ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。

3 本体の「スタート」から「ActiveSync」をタップし、「ツール」メニューから「赤外線から接続」をタップする



- 本体からパソコンに赤外線接続を開始します。

お知らせ

- 赤外線を使用したActiveSyncの接続の詳細については、ActiveSyncのヘルプをご覧ください。

4. ファイルの管理

ファイルエクスプローラを使うと、本体メモリや挿入したメモリカードのファイルやフォルダの一覧が表示でき、新規フォルダを作成したり、ファイルやフォルダを移動するなど、ファイルの操作ができます。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 「スタート」の「プログラム」から「ファイルエクスプローラ」をタップする

「ファイルエクスプローラ」の画面が表示され、My Documentsのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

● 「My Documents ▼」をタップすると、現在表示中の階層より上の階層を選べます。



タップすると、ファイルやフォルダの並び順を選べます。

フォルダをタップするとフォルダ内のファイル一覧が表示されます。

ファイルやフォルダをタップアンドホールドするとポップアップメニューが表示され、操作内容が選べます。

ネットワーク上の共有フォルダを開くことができます。

タップするとメモリカードの内容が表示されます。

タップすると本体メモリの内容が表示されます。

履歴が表示されます。

タップすると「編集」メニューが表示されます。

● ファイルをタップすると、そのアプリケーションが起動してファイルを開きます。

新規フォルダを作成する

1 フォルダを作成したい階層を表示する

● 別の階層にフォルダを作成するには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

2 「編集」メニューから「新しいフォルダ」をタップする

新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。



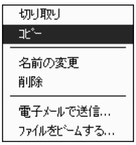
3 フォルダ名を入力して↵をタップする

ファイルやフォルダをコピーする

1 コピーしたいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「コピー」をタップする



3 コピー先にしたい階層を表示する

● 別の階層にコピーするには、ナビゲーションバーの下にある「My Documents ▼」の部分をタップして、フォルダを選んでください。

4 「編集」メニューから「貼り付け」をタップする

現在表示中の階層にコピーされます。
● ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

● 「コピー」元と同じ階層に「貼り付け」をすると、ファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されて、同じ階層にコピーされます。

ファイルやフォルダを移動する

1 移動したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする



3 移動先にしたい階層を表示する

4 「編集」メニューから「貼り付け」をタップする

現在表示中の階層に移動されます。

- ポップアップメニューを表示させて、「貼り付け」を選んでもできます。

お知らせ

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて移動されます。
- 「切り取り」したファイルやフォルダを貼り付けず、他のファイルやフォルダを「切り取り」すると、前の「切り取り」は、解除されます。

ファイルやフォルダを削除する

1 「削除」したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「削除」をタップする

「ファイルの削除の確認」の画面が表示されます。



3 「はい」をタップする

ご注意

- フォルダを削除すると、フォルダ内のファイルやフォルダがすべて削除されます。
- ファイルやフォルダの削除を実行すると、削除の取り消しはできませんので、ご注意ください。

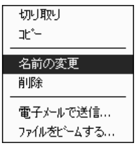
ファイル名やフォルダ名を変更する

1 名前を変更したいファイルやフォルダをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする

名前の入力状態になります。



3 新しい名前を入力して↵をタップする

ファイルを電子メールで送信する

1 電子メールで送信したいファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「電子メールで送信」をタップする

受信トレイが起動し、選んだファイルが添付された送信メッセージの新規作成画面が表示されます。

● 受信トレイを使って送信するには、第3章の「メールを送受信する」(参照 131ページ)をご覧ください。

お知らせ

● 電子メールを利用するときは、あらかじめメールの設定が必要です。詳しくは(参照 120ページ)をご覧ください。

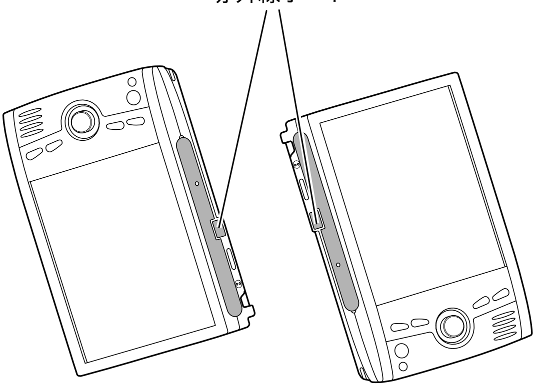
ファイルをビームする

本体と赤外線ポートを備えたPocket PCとの間で、赤外線通信によるデータ転送が行えます。

データを送受信する

1 本体と他のPocket PCの赤外線ポートの位置を合わせる

● ポート間に障害物がないように、また2つのポートが十分近くなるようにします。



2 送信側の本体のファイルエクスプローラで、送信したいファイルまたは項目をタップアンドホールドする

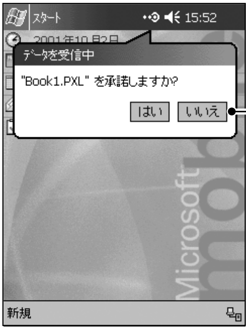
ポップアップメニューが表示されます。

3 ポップアップメニューから「ファイルをビームする」をタップする

受信側のPocket PCに、「データを受信中」が表示されます。

4 受信側のPocket PCで、「はい」をタップする

データの送信/受信が行われます。



「いいえ」をタップするとデータの受信を中止します。

- 上記画面が表示されないときは、下記の操作を行ってください。
  受信側のPocket PCで、「スタート」の「プログラム」から「赤外線受信」をタップします。

お知らせ

- ファイルエクスプローラからだけでなく、各プログラムの一覧画面で、ポップアップメニューから「ファイルをビームする」の操作は行えます。

5. 使用環境設定

設定項目について

「スタート」から「設定」をタップし、「個人用」、「システム」または「接続」タブをタップすると次の項目が設定できます。

タブ	項目	説明	参照ページ
個人用	Today	「Today」画面に表示したい情報を設定します。	60
	入力	手書き入力または録音時のオプション設定をします。	—
	音と通知	音量、音を鳴らす場面、アラームなどを設定します。	—
	オーナー情報	自分の連絡先個人情報を入力します。	61
	パスワード	電源をONにしたときにパスワードを入力しないと本体のデータにアクセスできないように設定します。	62
	ボタン	プログラムボタンを押したとき、何のプログラムが起動するか設定します。	63
	メニュー	スタートメニューに表示するプログラム、および「Today」画面上の新規メニューを設定します。	64
システム	地域	数値、通貨、時刻および日付の表示方法を設定します。	—
	時計	時刻を変更またはアラームを設定します。訪問先を指定すると訪問先の時刻も表示できます。	65
	画面	画面のタップ表示位置と実際のタップ位置がずれているときに画面を調整します。	—
	システムプロパティ	システム情報を表示します。 ・本体内メモリ/メモリカードの使用容量 ・プロセッサ動作速度 ・接続されている拡張ユニットの種類	—
	バージョン情報	システムのバージョン情報などを表示します。また、デバイスIDを設定できます。	—
	パワーマネージメント	充電残量を表示します。 電源OFFまでの時間、サスペンド時にカードに電源を供給するかしないか、パソコンからUSB経由で充電を行うか、などの設定をします。	66、67
	フロントライト	画面の明るさ、およびフロントライトを消灯するまでの時間を設定します。	68

タブ	項目	説明	参照ページ
システム	プログラムの削除	追加したプログラムを削除します。	—
	プロセッサ設定	プロセッサの動作速度を設定します。	69
	メモリ	データ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの割り当てを変更できます。また、メモリカードの使用状況も確認できます。	70、71、72
接続	接続	インターネットの接続を設定します。	104
	ネットワークアダプタ	ネットワークアダプタを使ったネットワーク接続の設定をします。	—
	ビーム	ビームの設定をします。	—

お知らせ

- 参照ページがない項目の設定方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプの使い方は、（参照 33ページ）をご覧ください。
- 「設定」はパソコンの「コントロールパネル」に相当します。

第2章
5・使用環境設定

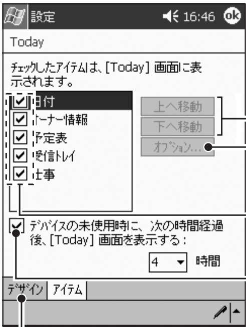
「Today」画面を設定する

「Today」画面の背景や「Today」画面に表示される項目を設定や変更できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「Today」をタップする

「Today」の設定画面が表示されます。

2 「アイテム」タブをタップして設定をする



順番を変更したい項目をタップして「上へ移動」または「下へ移動」をタップします。

「予定表」と「仕事」はオプションで更に詳しく設定できます。

「Today」画面に表示したい項目にチェックを付けます。

電源がOFFしてからどれくらいの時間が経過すると、電源をONしたときに「Today」画面を表示するかを設定します。設定するときはここにチェックを付けて、時間を選びます。

「デザイン」タブは「Today」画面の背景などを設定できます。

「デザイン」タブ



背景に使用するテーマを選択できます。

テーマ以外の背景を使用するには、ここにチェックを付け、「参照」をタップし、背景に使用する画像ファイルを指定します。

3 設定を終えたらⓞⓚをタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 「日付」は移動できません。
- 「Today」画面の説明は（参照 26ページ）をご覧ください。

「オーナー情報」を設定する

住所、名前、電話番号、電子メールアドレスなど、持ち主の情報を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「オーナー情報」をタップする

「オーナー情報」の設定画面が表示されます。

2 「オーナー情報」を入力する



各項目をタップして文字を入力します。

ここにチェックを付けると、電源をONにしたときに「オーナー情報」が「マイインフォ」画面として表示されます。本体を紛失したときのために、チェックを付けておくと便利です。

タップするとメモの入力画面が表示されます。

3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

「パスワード」を設定する

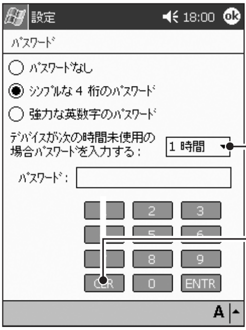
電源をONにしたときにパスワードを要求して、第三者からデータや設定を守ることができます。

1　「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「パスワード」をタップする

「パスワード」の設定画面が表示されます。

2　「シンプルな4桁のパスワード」または「強力な英数字のパスワード」をタップして「パスワード」を設定する

ここでは「シンプルな4桁のパスワード」にパスワードを入力します。



「強力な英数字のパスワード」を選んだときは、パスワードは7文字以上で、半角英数字(大文字と小文字)と区切り記号の組み合わせが必要です。パスワード欄と確認入力欄に同じパスワードを入力してください。

電源がOFFしてからどれくらいの時間が経過すると、電源をONしたときにパスワードを要求させるか設定します。

パスワードを入力し直すときは、ここをタップします。
「パスワードなし」が選ばれているときは表示されません。

3　設定を終えたら(ok)または「ENTR」をタップする

「変更を保存しますか」が表示されます。

4　「はい」をタップする

パスワードが保存され、「個人用」タブの画面に戻ります。

ご注意

- パスワードを保存すると、「パスワード」設定画面を表示するのにもパスワードの入力が必要になります。
- パスワードを忘れてしまったときは、本体の初期化を行わなければなりません。初期化を実行すると、本体に保存していたデータや設定がすべて失われてしまいますのでご注意ください。初期化の方法は(参照 215ページ)をご覧ください。

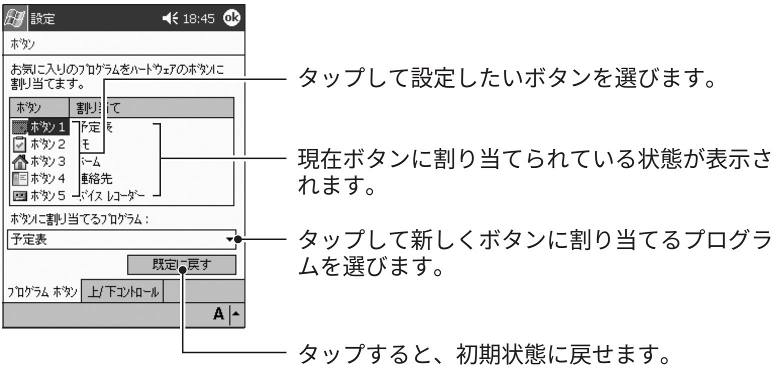
「ボタン」を設定する

本体のプログラムボタン1、2、3、4、5によく使うプログラムをお好みで割り当てられます。

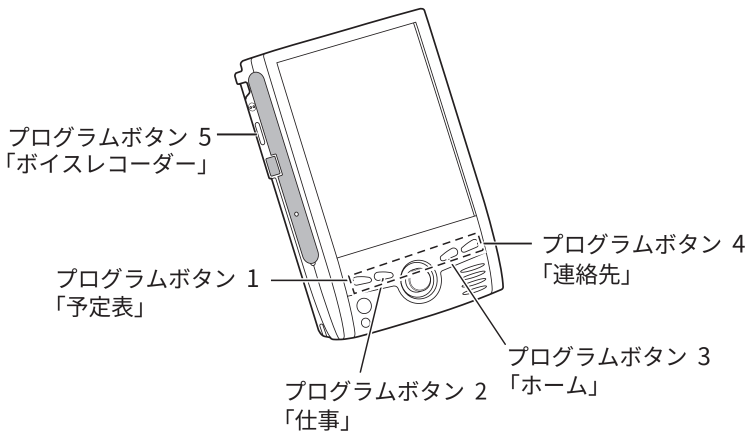
1　**「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「ボタン」をタップする**

「ボタン」の設定画面が表示されます。

2　**設定したいボタンを指定してプログラムを選択する**



プログラムボタンの初期設定



3　**設定を終えたらⓞⓚをタップする**

「個人用」タブの画面に戻ります。

「メニュー」を設定する

「スタートメニュー」と「新規メニュー」を設定できます。

1 「スタート」の「設定」から、「個人用」タブの「メニュー」をタップする

「メニュー」の設定画面が表示されます。

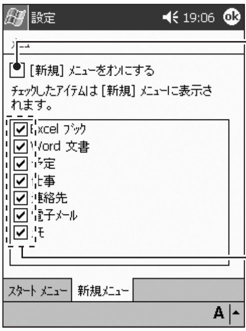
2 「メニュー」を設定する



アイテム横のボックスにチェックを付けると、チェックを付けたアイテムを「スタート」のメニューに9個まで追加できます。

タップすると「新規メニュー」の設定に移ります。

「新規メニュー」では、「Today」画面の新規メニュータブをタップしたときに表示される項目を設定できます。



ここにチェックを付けると、新規メニューを「予定表」、「仕事」、「連絡先」、「メモ」、「受信トレイ」、「Pocket Word」、「Pocket Excel」の各プログラムのコマンドバーの「新規」の横の「▲」からでも 使用できます。

アイテム横のボックスにチェックを付けると、チェックを付けたアイテムを「新規メニュー」に表示できます。

3 設定を終えたら ok をタップする

「個人用」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- チェックされたプログラム以外は、「スタート」の「プログラム」をタップすると表示されます。
- 「Today」、「プログラム」、「設定」、「検索」、「ヘルプ」は、「スタート」メニューから外せません。

日付や場所を設定する

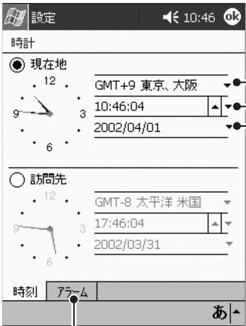
現在地や時刻の設定だけでなく、出かける先の場所と時刻も同時に表示できます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「時計」をタップする

「時計」の設定画面が表示されます。

- 「Today」画面で時計アイコンをタップしても「時計」の設定画面が表示されます。

2 「時計」を設定する



タップして一覧から地域を選びます。

時と分と秒をそれぞれ反転させて時間を設定します。時間は▲または▼をタップして入力します。
▲で進め、▼で戻せます。

タップするとカレンダーが表示されます。設定したい日付を選びます。

タップすると毎週決まった曜日の時刻にアラームを最大4つまで設定できます。

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 時刻設定は、時計の針をドラッグすることでも設定できます。
- パソコンと同期させたとき、時刻をパソコン側と同じに設定することができます。（参照 50ページ）

「パワーマネージメント」を設定する

内蔵電池（本体バッテリ）の充電残量が確認できます。また、本体の未使用時間に応じて電源をOFF（サスペンド）にする時間設定、サスペンド時にカードに電源供給するかしないかの設定などができます。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「パワーマネージメント」をタップする**

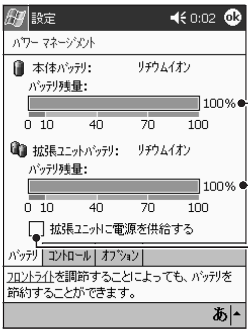
「パワーマネージメント」の設定画面が表示されます。

2 **「パワーマネージメント」を設定する**

- 設定項目は、バッテリ/コントロール/オプションのタブに分類されています。

■バッテリタブ

（内蔵電池使用、拡張ユニット（別売品）接続時）



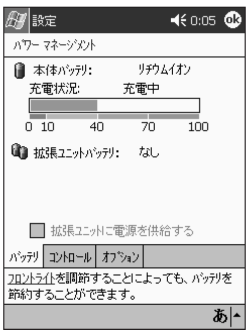
内蔵電池の充電残量を表示します。

接続している拡張ユニットの電池残量を表示します。

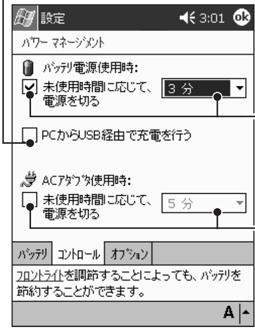
チェックを付けると、拡張ユニットの電池残量が少ない場合、本体の内蔵電池から拡張ユニットに電源を供給します。
お互いの電池残量をバランスよく使用します。

■バッテリタブ

（ACアダプタ使用時）



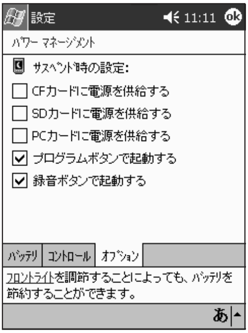
■コントロールタブ



チェックを付けると、本体電源がONのとき、パソコンからUSB経由で内蔵電池を充電します。

チェックを付けて、時間を設定すると、本体の未使用時間が設定値になれば、電源をOFF（サスペンド）します。
初期値　バッテリ電源使用時：3分
　　　　ＡＣアダプタ使用時：5分
ただし、パソコンとActiveSync接続しているときや、Windows Media Playerで再生しているときは、この機能は働きません。

■オプションタブ



チェックを付けると、サスペンド時にもカードに電源を供給します。

チェックが付いていると、本体の電源がOFFしていても、プログラムボタン/録音ボタンを押せば電源がONし、割り当てられているプログラムが起動します。
チェックをはずせば、電源はONしません。

お知らせ

- 「XXカードに電源を供給する」にチェックが付いていると、内蔵電池の消耗が速くなります。電池の消耗を防ぐため、サスペンド時に電源の供給が必要なカードを接続したときのみ、チェックを付けるようにしてください。
サスペンド時に電源の供給が必要なカードとは、サスペンド中に機能することができる通信カードなどで、対応するソフトウェアが本体にインストールされていることが必要です。
- PCカードは、PCカード拡張ユニット（別売品）を使って、本体に接続します。

3 設定を終えたらⓞⓚをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

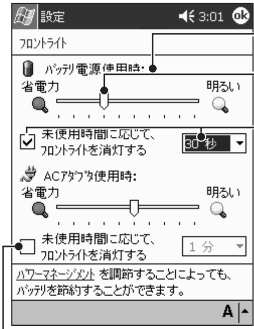
「フロントライト」を設定する

フロントライトの明るさのレベルは、「9段階+省電力(消灯)」の中から選べます。見やすい明るさに設定してください。また、本体の未使用時間に応じてフロントライトを消灯する、時間設定ができます。

1 「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「フロントライト」をタップする

「フロントライト」の設定画面が表示されます。

2 「フロントライト」を設定する



内蔵電池(バッテリ電源)使用時です。

つまみをドラッグして明るさレベルを設定します。省電力側(左端)は消灯になります。

時間を設定し、チェックを付けると、本体の未使用時間が設定値になれば、消灯します。
初期値：30秒

ACアダプタを接続して使用しているときは、こちらで設定します。

初期値ではここにチェックが付いていません。

●上記の画面のつまみの位置は初期値です。

3 設定を終えたら ok をタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 内蔵電池の充電残量が70%以下のときは、電池の消耗を防ぐため、電池残量に応じてフロントライトが自動的に暗くなります。電池残量が10%になると消灯します。

「プロセッサ設定」をする

プロセッサの動作速度を選べます。本体の動作状況に応じて設定してください。プロセッサの動作速度を速くすれば、内蔵電池の消耗は速くなります。

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「プロセッサ設定」をタップする**

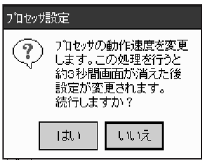
「プロセッサ設定」の画面が表示されます。

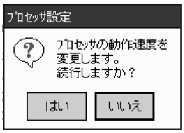
2 **プロセッサの動作速度を選択し、「変更」をタップする**

- オートを選択すると、プロセッサの負荷に応じて400MHzと200MHzを自動的に切り替えます。

3 **動作速度変更の確認画面で、「はい」をタップする**

- 選択前と選択後の動作速度の組み合わせによって、表示される画面（2種類）が変わります。





4 **ok をタップする**

「システム」タブの画面に戻ります。

「メモリ」を設定する

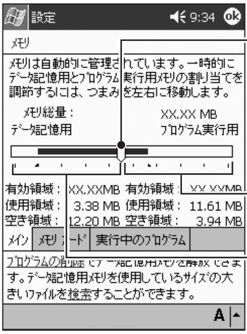
データ記憶用メモリとプログラム実行用のメモリを調節したり、メモリカード等の空き容量を確認できます。また、実行中のプログラムを終了できます。

メモリの割り当てを変更する

1 **「スタート」の「設定」から、「システム」タブの「メモリ」をタップする**

「メモリ」の設定画面が表示されます。

2 **メモリの割り当てを変更する**



つまみを左右にドラッグすると、データ記憶用とプログラム実行用のメモリの割り当てを調節できます。

プログラム実行用の表示

データ記憶用の表示



プログラム実行用の空き容量

プログラム実行用で使用しているメモリ容量

データ記憶用の空き容量

データ記憶用で使用しているメモリ容量

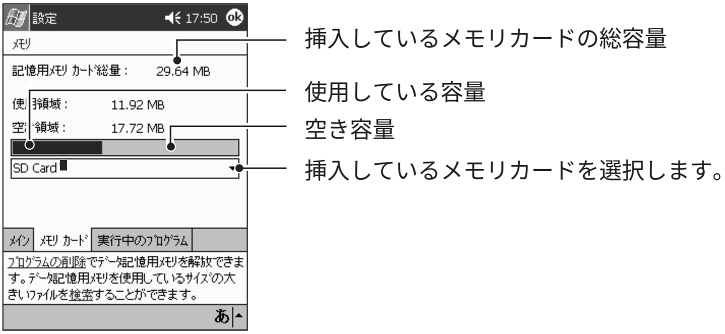
3 **設定を終えたら ok をタップする**

「システム」タブの画面に戻ります。

メモリカードの使用状況を確認する

1 「メモリ」の設定画面で「メモリカード」タブをタップする

「メモリ」設定の「メモリカード」タブ画面が表示されます。



2 確認を終えたらⓄⓚをタップする

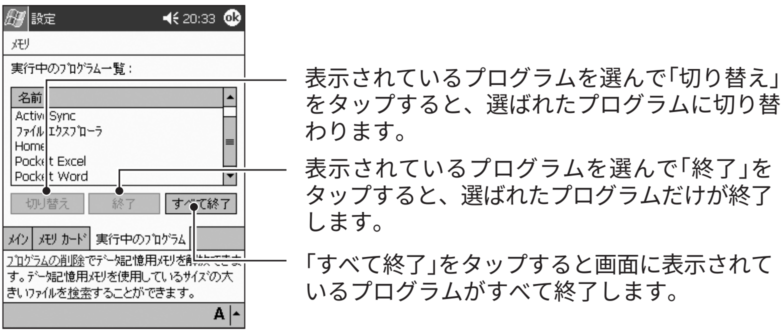
「システム」タブの画面に戻ります。

実行中のプログラムを終了する

1 「メモリ」の設定画面で「実行中のプログラム」タブをタップする

「メモリ」設定の「実行中のプログラム」タブ画面が表示されます。

2 実行中のプログラムを終了する



3 ⓞⓚをタップする

「システム」タブの画面に戻ります。

お知らせ

- 「終了」を実行したときに、プログラムが入力待ち状態などの場合には、プログラムから応答がないことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面に従って操作してください。

メモリを解放する

エラーメッセージが表示されるなどでメモリが足りない場合は、メモリの解放を行ってください。メモリを解放する方法として、以下の方法があげられます。

- メモリカード等にデータを移して、本体からデータを削除する。
- 不要なファイルを削除する。
- 実行中のプログラムを終了する。
- 使用しないプログラムを削除する。
- 本体をリセットする。リセットの方法は、(参照 214ページ)をご覧ください。

お知らせ

- メモリを解放する方法は、「メモリ」のオンラインヘルプもご覧ください。

6. ホームを使う

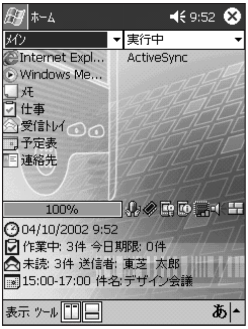
「ホーム」を使うと、「ホーム」画面に配置されたアイコンをタップして、内蔵またはインストールされているアプリケーション(プログラム)を簡単に起動できます。また、実行中のプログラムを一覧表示し、そのプログラムへの切り替えと終了を簡単に行えます。「ホーム」画面には、電池残量、Today情報、よく使う設定アイコンも表示されます。「ホーム」画面は、アイコンやタブの追加、背景の変更など、いろいろアレンジできます。

「ホーム」からアプリケーションを起動する

1 「スタート」の「プログラム」から「ホーム」をタップする

「ホーム」画面が表示されます。

● 本体のホームボタンを押しても起動します。



「ホーム」画面の表示形式は、変更できます。(参照 74ページ)

2 タブを切り替えて、起動したいアプリケーションのアイコンをタップする

タップしたアプリケーションが起動します。

お知らせ

● アプリケーションは、カーソルボタンで選んでカーソルボタンの中央を押しても起動します。(参照 77ページ)

「ホーム」画面について

初期状態は、並列表示形式で情報ウィンドウ表示ありの画面です。



第1ウィンドウ

タブ選択ボックス
ここをタップして、それぞれタブを切り替えられます。

第2ウィンドウ

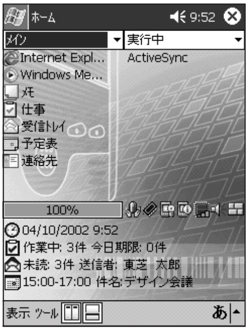
情報ウィンドウ（参照 75ページ）

情報ウィンドウを表示／非表示できます。

並列表示形式とタブ表示形式に切り替えます。

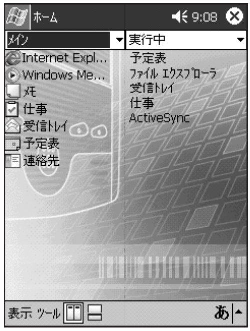
表示形式の切り替え

並列表示形式／
情報ウィンドウ表示あり



をタップ

並列表示形式／
情報ウィンドウ表示なし



をタップ

をタップ



タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示あり

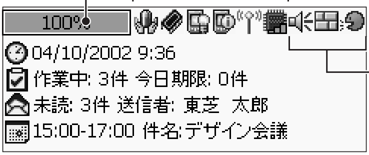
をタップ



タブ表示形式／
情報ウィンドウ表示なし

情報ウィンドウについて

情報ウィンドウは、今日の仕事や今日の予定などのToday情報、電池残量やハードウェアなどの情報を表示します。



内蔵電池の充電残量を表示します。

アイコンをタップすると、それぞれの設定画面になります。（参照 76ページ）

アイコンをタップして、ON/OFFできます。（参照 76ページ）

：日付と時刻を表示します。アイコンをタップすると、「時計」の設定画面になります。

：今日の時点で作業中の仕事の件数と、今日の時点で期限切れになる、またはすでに期限切れになっている仕事の件数を表示します。アイコンをタップすると、仕事が起動します。

：未読メールの件数と最新未読メールの送信者を表示します。アイコンをタップすると、受信トレイが起動します。

：今日の予定が表示されます。アイコンをタップすると、予定表が起動します。

お知らせ

- GENIO-SPEECHがONのとき、、、のアイコンをタップすると、それぞれ仕事、未読メール、予定が読み上げられます。

表示項目	項目名	説　　明
	パワーマネージメント	アイコンをタップすると、「パワーマネージメント」の設定画面になります。
	メモリ設定	アイコンをタップすると、「メモリ」の設定画面になります。
	フロントライト設定	アイコンをタップすると、「フロントライト」の設定画面になります。
	Bluetooth設定	別売のBluetooth SDカードVer.2.0を使用時、表示されます。アイコンをタップするとBluetooth設定の画面が表示されます。
	システムプロパティ	アイコンをタップすると、ハードウェア情報が表示されます。
	CPUクロック情報	CPUクロックの設定状態です。 アイコンをタップすると、「プロセッサ設定」の設定画面になります。
ON OFF	音声出力ON/OFF	アイコンをタップすると、音声出力のON/OFFが切り替わります。 ナビゲーションバーのアイコンを使って切り替えたものと連動しています。ただし当ボタンでON/OFFに切り替えても、ナビゲーションバーの表示は変更されません。
ON OFF	キーON/OFF	アイコンをタップすると、キーのON/OFFが切り替わります。 キーOFFにすると、電源OFF時にプログラムボタンを押しても電源がONにならないようになります。 「パワーマネージメント」での設定と連動しています。
ON OFF	GENIO-SPEECH ON/OFF	付属のGENIO-SPEECHがインストールされている時だけ表示されます。アイコンをタップすると、GENIO-SPEECHのON/OFFが切り替わります。 アイコンをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、GENIO-SPEECHの設定の画面が表示されます。

ホームボタンを使って選択先(カーソル)を切り替える

ホームボタンを押すたびに、①、②、. . .のように選択先(カーソル)が移動します。

並列表示の場合



⑤のあと、①に戻ります。

タブ表示の場合



カーソルボタンを使って選択する

カーソルボタンで下記の操作ができます。

■タブ選択ボックスにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、1つ後ろのタブに切り替わります。
- 最終のタブを表示していた場合は、切り替わりません。

カーソルボタンを上または左に押すと、1つ前のタブに切り替わります。

■第1/第2ウィンドウのアイコンにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが1つ下に移動します。
- カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが1つ上に移動します。
- カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。

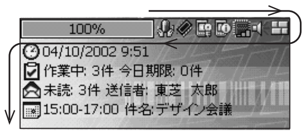
お知らせ

- 大きいアイコン表示の場合、カーソルボタンを左に押すとカーソルが左に移動し、右に押すと右に移動します。

■情報ウィンドウにカーソルがあるとき

カーソルボタンを下または右に押すと、カーソルが1つ後ろに移動します。
- カーソルが最終のアイコンにあった場合は、先頭のアイコンに移動します。

カーソルボタンを上または左に押すと、カーソルが1つ前に移動します。
- カーソルが先頭のアイコンにあった場合は、最終のアイコンに移動します。



アイコンの順番は、図のようになります。

「実行中」タブについて

「実行中」タブには、現在実行しているアプリケーション名が表示されます。アイコンは表示されません。下記画面は、タブ表示形式の場合の画面ですが、並列表示形式の場合でも、内容は同じです。



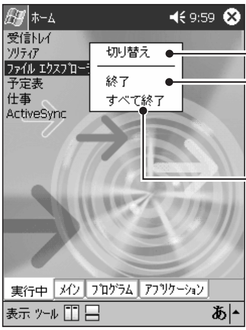
実行中のアプリケーション

表示メニューからは「文字色」と「背景色」が、ツールメニューからは「タブの設定」と「バージョン情報」がそれぞれ選べます。
文字色と背景色の設定については（参照 90ページ）をご覧ください。タブの設定については（参照 87ページ）をご覧ください。

アプリケーションの切り替え／終了

切り替えたいアプリケーション名をタップします。

● 切り替えたいアプリケーション名をタップアンドホールドして、表示されたポップアップメニューからも切り替えられます。



タップすると選んだアプリケーションに切り替わります。

タップするとアプリケーションは終了し、画面上からアプリケーション名が消えます。

タップすると画面上に表示されているすべてのアプリケーションが終了します。

お知らせ

● 「実行中」タブ内のアプリケーション名以外のところをタップアンドホールドしてもポップアップメニューが表示されます。このときは「すべて終了」だけが選べます。

表示アイコン一覧

以下の表は、初期状態のタブとアイコン一覧です。

タブ名	アイコン	アプリケーション名	タブ名	アイコン	アプリケーション名
実行中			プログラム		赤外線受信
メイン		Internet Explorer			ソリティア
		Windows Media Player	アプリケーション		紹介：ClearVue
		メモ			紹介：EasyViewer
		仕事			紹介：Flash Player
		受信トレイ			紹介：FOMAユーティリティ
		予定表			紹介：GENIO-SPEECH
		連絡先			紹介：i-enabler & i-navigator
プログラム		ファイルエクスプローラ			紹介：Jeode
		バックアップ			紹介：辞スパ
		MSN Messenger			紹介：JRトラベルナビゲータ
		Pocket Word			紹介：モバイルアトラス
		Pocket Excel			紹介：T-Time
		電卓			紹介：東芝オリジナル壁紙

■アプリケーション紹介アイコン

初期状態では、アプリケーションタブには付属のコンパニオンCDに入っているアプリケーションの、紹介アイコンが入っています。
紹介アイコンをタップすると、Internet Explorerが起動し、アプリケーションの概要とインストール方法が表示されます。コンパニオンCDからアプリケーションをインストールした場合、紹介アイコンがアプリケーションの実行アイコンに替わります。ただし、Flash™Playerと東芝オリジナル壁紙は、紹介アイコンのままです。

アイコンの移動

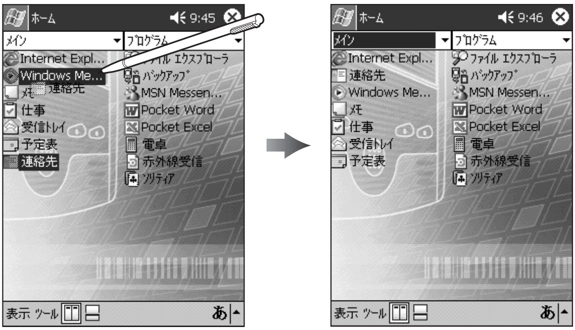
タブ内やタブ間でアイコンを移動できます。新しいタブを作成するには、（参照 87ページ）をご覧ください。

タブ内のアイコンを移動する

タブ内のアイコンの順番を変更できます。

1 移動したいアイコンをタップしたまま移動したい位置までドラッグし、ドロップする

並列表示形式の場合



移動していくと、タップ先付近にあるアイコンが強調表示されます。ドロップしたとき、強調表示されたアイコンの位置にアイコンが移動します。

- ドロップしたとき、どのアイコンも強調表示されていなかった場合、アイコンは最後尾に移動します。

お知らせ

- 「タブの設定」の画面で、「起動された順にアイコンをソートする」にチェックを付けると、タブ内のアイコンを最近起動した順にソートできます。（参照 87ページ）この設定の場合は、タブ内のアイコンの移動はできません。

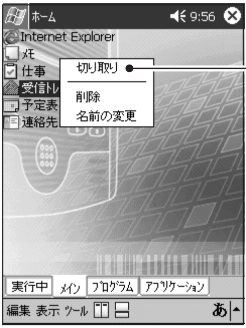
ポップアップメニューを使って他のタブへ移動する

1 移動したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「切り取り」をタップする

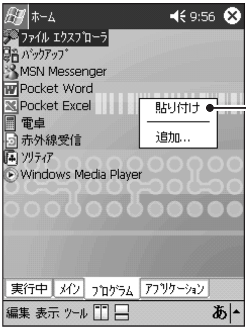
タブ表示形式の場合



タップする。

3 移動先にしたいタブに切り替え、タップアンドホールドし、「貼り付け」をタップする

タブ表示形式の場合



タップすると画面上にアイコンが貼り付けられます。

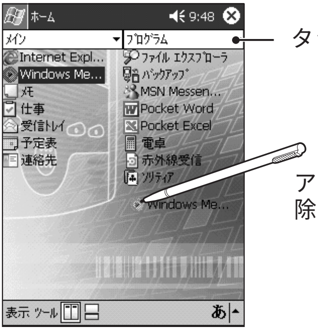
お知らせ

- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

ドラッグアンドドロップを使って他のタブへ移動する

1　移動したいアイコンをタップしたまま、移動したいタブまでドラッグし、アイコンをドロップする

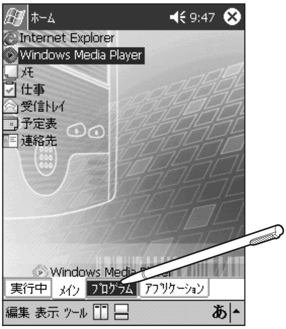
並列表示形式の場合



タップするとタブを切り替えられます。

アイコンが移動し、元のタブからアイコンが削除されます。

タブ表示形式の場合



移動先のタブ名が強調表示され、アイコンが移動し、元のタブからアイコンが削除されます。

お知らせ

- 移動可能なアイコンは、タップしたときに反転します。
- 移動したアイコンは、タブ内の最後に配置されます。「タブの設定」の画面で「起動された順にアイコンをソートする」にチェックが付いている場合は、起動された順に並べ替えられます。
- 既に18個のアイコンが存在するタブに、アイコンを移動することはできません。

アイコンの削除

アイコンを削除できます。アイコンを削除しても、アプリケーションそのものが本体から削除されるわけではありません。

1 削除したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「削除」をタップする

アイコンが削除され、削除されたアイコンより後のものが一つずつ前に移動します。

タブ表示形式の場合



タップするとアイコンが削除されます。

アイコンの追加

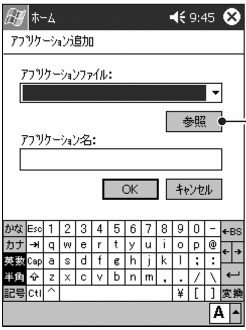
新しくインストールしたアプリケーションのアイコンを追加できます。
ホームのアイコンには、アプリケーションの他に、作成したファイルなども指定できます。

1 **追加したいタブの画面上をタップアンドホールドし、ポップアップメニューから、「追加」をタップする**

「アプリケーション追加」の画面が表示されます。
- タブ表示形式の場合は、「編集」メニューからも「追加」を選べます。

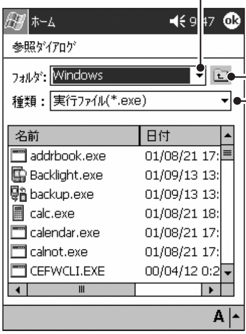
2 **アプリケーションファイルを指定する**

「アプリケーションファイル」の▼をタップすると、実行ファイルの一覧が表示されます。一覧にファイルがない場合は、「参照」で探してください。ファイルを選ぶと、アプリケーションファイルボックスに選んだ名前が表示されます。



「参照」ボタンをタップすると、参照画面が表示され、すべてのフォルダやファイルが選べます。

参照画面について



タップすると参照するフォルダの指定ができます。
- メモリカードが差し込まれているとき、一番上の階層から、メモリカード内のファイルやフォルダを表示できます。

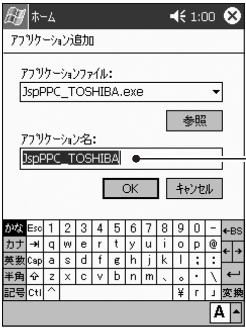
タップすると現在表示しているフォルダの上の階層に移動します。

タップすると参照するアプリケーションやファイルなどの種類を選べます。

一覧から指定したいアプリケーションやファイルをタップすると、「アプリケーション追加」の画面に戻ります。

3 アイコン名を入力する

「ホーム」画面に表示するアイコン名を「アプリケーション名」に入力します。



タップして名前を入力します。
- アプリケーション名は、32文字まで入力できます。

4 「OK」をタップする

「アプリケーション追加」の画面が閉じ、アイコンが追加されます。

お知らせ

- 「アプリケーションファイル」を指定していないとアイコンを追加できません。また、アプリケーション名を入力していないときも、アイコンを追加できません。
- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

アイコン名の変更

アイコン名(アプリケーション名)を変更できます。

1 名前を変更したいアイコンをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 ポップアップメニューから「名前の変更」をタップする

アイコン名が変更できる状態になります。



タップする。

3 入力パネルを使って名前を変更し、↵をタップする

変更した名前が確定します。

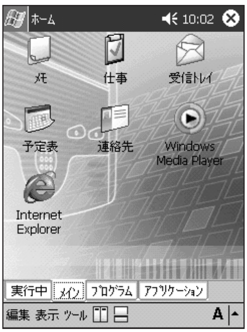
- ナビゲーションバー、コマンドバー以外の画面をタップしても名前が確定します。
- 上記以外でも、画面の内容が変わったときなどの場合には、名前が確定します。
- 名前が確定する前にEscをタップすると名前の変更が取り消されます。

アイコンの表示切り替え

タブ表示形式の場合アイコンの表示は、「表示」メニューから切り替えられます。
「大きいアイコン」と「小さいアイコン」を、お好みに合わせて選べます。



（例）小さいアイコン



（例）大きいアイコン

タブの設定

タブの設定では、タブの追加、削除、タブ名の変更などが設定できます。また、タブの背景にお好みのビットマップ画像や背景色を設定したり、アイコン名の文字色を設定することもできます。

タブの切り替え

タブをタップすると、タブ画面が切り替わります。
初期状態では、「実行中」を含む、「メイン」、「プログラム」、「アプリケーション」の4つのタブが登録されています。

タブの追加

タブを追加することにより、お好みに合わせてアイコンを分類できます。同じアイコンもタブが違えば両方に追加できます。

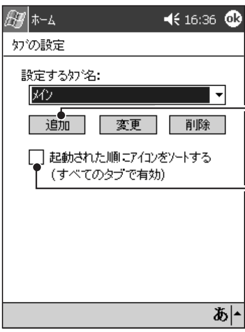
1 **「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする**



タップすると「タブの設定」の画面が表示されます。

タップすると「ホーム」のバージョン情報が表示されます。

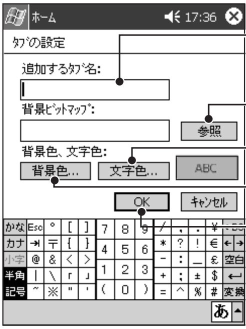
2 **「タブの設定」の画面から「追加」をタップする**



タップすると、新しいタブ名の入力画面が表示されます。

チェックを付けると、タブ内のアイコンの順番は、最近起動した順になります。タブ内でアイコンを移動するときはチェックをはずしてください。

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする



新しいタブ名を入力します。
● 入力できる文字数は10文字までです。

背景の画像を設定できます。（参照 89ページ）

文字色を選択できます。（参照 90ページ）

背景色を選択できます。（参照 90ページ）

タップすると「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。
● 新しいタブは、既存のタブの右側に追加されます。

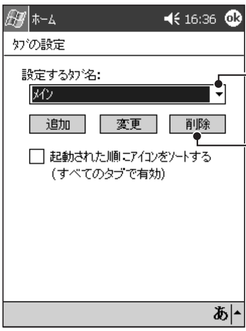
お知らせ

● タブは最大10個まで増やすことができます。
● タブの並び順は、変更できません。

タブの削除

1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

2 「タブの設定」の画面からタブ名を選び、「削除」をタップする



タップして削除したいタブを選びます。
● 「実行中」タブは削除できません。

タップすると、削除確認の画面が表示されます。
● タブを削除するときはタブに含まれるアイコンもすべて削除されますので、ご注意ください。

3 削除確認のダイアログから「はい」をタップする

タブが削除され、「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」の画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

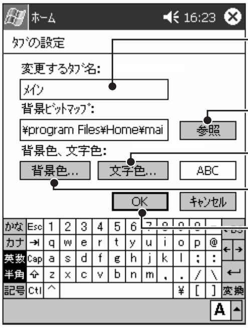
タブ名の変更

1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

「タブの設定」の画面が表示されます。

2 変更したいタブ名を選び、「変更」をタップする

3 新しいタブ名を入力し、「OK」をタップする



新しいタブ名を入力します。
- 入力できる文字数は10文字までです。

背景の画像を設定できます。（参照 89ページ）

文字色を設定できます。（参照 90ページ）

背景色を設定できます。（参照 90ページ）

タップすると「タブの設定」の画面に戻ります。

4 「タブの設定」画面でokをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

背景の画像の設定

タブごとに背景の画像を設定できます。付属のコンパニオンCDに収められている東芝オリジナル壁紙を背景に使用できます。コンパニオンCDからそのファイルを本体にコピーして、背景に選んでください。

1 「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする

「タブ設定」の画面が表示されます。

2 設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする

3 「参照」をタップする

参照画面が表示されます



タップすると、参照するフォルダの指定ができます。
- このとき、メモリカードが差し込まれた状態であっても、メモリカード内のファイルは表示されません。

タップすると、現在表示しているフォルダの上の階層に移動します。

4 **一覧から背景にしたいビットマップファイルをタップする**

元の画面に戻ります。

5 **「OK」をタップする**

「タブの設定」の画面に戻ります。

6 **「タブの設定」の画面でokをタップする**

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

- 選択したファイルの種類がビットマップではないものは、背景に設定できません。
- 背景に設定したビットマップ画像が、「ホーム」画面上に表示される範囲は、横240×縦268ドットです。

背景色、文字色の設定

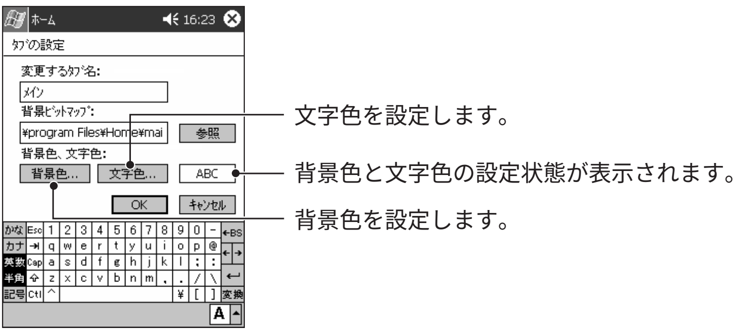
タブごとに背景色やアプリケーション名の文字色を設定できます。

1 **「ツール」メニューから「タブの設定」をタップする**

「タブ設定」の画面が表示されます。

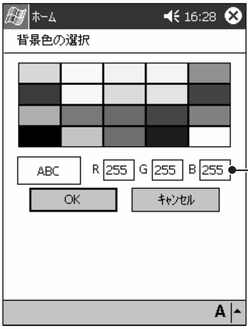
2 **設定したいタブ名を選び、「変更」をタップする**

3 **「背景色」または「文字色」をタップする**



4 色を選択し、「OK」をタップする

元の画面に戻ります。



色を選びます。

RGB値
選んだ色のRGB値が表示されます。
直接数値(0～255)を入力することもできます。
● RGB・・・光の三原色
R：赤 red
G：緑 green
B：青 blue

5 「OK」をタップする

「タブの設定」の画面に戻ります。

お知らせ

● 背景の画像を設定している場合は、背景色を設定しても背景は画像のままで、変わりません。ただし背景の画像が小さい場合は、余白が背景色になります。

6 「タブの設定」の画面でⓄⓚをタップする

「ホーム」画面に戻ります。

お知らせ

● 「表示」メニューからも、背景色、文字色の設定ができます。

7. データのバックアップ

メモリカードやMicrodrive™などに、本体のデータをバックアップできます。バックアップしたデータは本体にリストア(復元)できます。また、メモリカードからバックアップしたデータを削除することもできます。
重要なデータは、定期的にバックアップしておくことをお勧めします。

バックアップされるデータは、以下の3種類です。

- ファイル
  Pocket Word、Pocket Excel、メモなどで作成したファイルや追加インストールしたプログラムなど
- レジストリ
  OS (Windows CE)や内蔵プログラムの設定情報
- データベース
  Microsoft Pocket Outlookのデータベース情報

ご注意

- 「設定」のパスワードなど、復元されないデータがあります。
- バックアップやリストアをするときは、他のアプリケーションを終了させ、本体にACアダプタを接続してから行ってください。
- バックアップ中、またはリストアやバックアップファイルを削除しているときに絶対に本体の電源を切らないでください。メモリカードや本体が破損する場合があります。
- システムを更新(ROMのアップデート)した場合は、更新する前にバックアップしたデータを正常にリストアできない可能性があります。

バックアップをとる

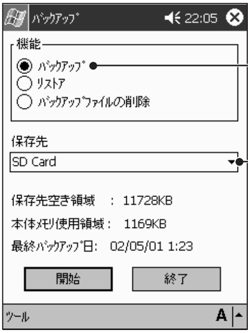
1 メモリカードを入れる

(参照 15、16ページ)

2 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 「機能」の「バックアップ」をタップし、保存先を選ぶ



「バックアップ」を選びます。

保存先を選びます。
- SD Card.......SDカードスロットにセットしたカード
  CF Card........CFカードスロットにセットしたカード
  PC Card.......PCカード拡張ユニットにセットしたカード

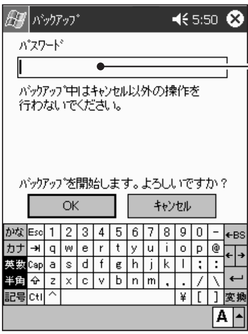
4 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

5 「OK」をタップする

「バックアップ」のパスワード入力画面が表示されます。

6 パスワードを入力する



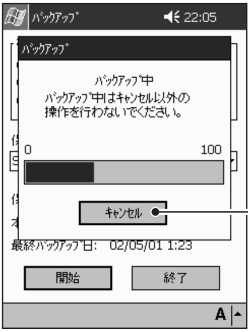
パスワードを入力します。
- パスワードは半角英数字、最大16文字で入力します。
- 半角英数字以外で入力すると、エラーメッセージが表示されます。正しく入力し直してください。
- パスワードを入力しなくてもバックアップできます。この場合、リストアのときにパスワードの入力が不要になります。

ご注意

- **パスワードを忘れると、リストアできなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**

7 「OK」をタップする

バックアップ中のメッセージが表示され、バックアップを開始します。



バックアップをキャンセルするときはここをタップします。

- バックアップが終了すると、バックアップ終了のメッセージが表示されます。
- 画面に表示されるバックアップ時刻は、バックアップを開始した時刻です。

8 ⓞⓚをタップする

元の画面に戻ります。

9 「終了」をタップする

「バックアップ」の画面が閉じます。

お知らせ

- バックアップ中にメモリカードの空き容量が足りなくなると、途中でバックアップが終了します。メモリカードの空き容量を確認してからバックアップをしてください。（参照 71ページ）
- 指定されたメモリカードが書き込み禁止になっていると、バックアップができません。書き込み禁止を解除してください。
- 定期的にバックアップをとることもできます。（参照 98ページ）
- バックアップファイルは、常に上書きされます。

リストアをする

リストアをすると、メモリカードにバックアップしたデータを、本体メモリに復元(上書きコピー)します。

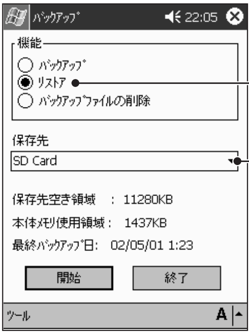
- 本体メモリに同じファイル名がある場合、バックアップファイルのデータに上書きされます。
- 本体メモリにあるファイルで、バックアップファイルにないものは、そのまま残ります。

1 バックアップしたメモリカードを本体に入れる

2 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 「機能」の「リストア」をタップし、保存先を選ぶ



「リストア」を選びます。

保存先を選びます。

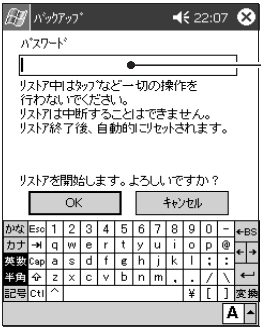
4 「開始」をタップする

他のアプリケーション終了確認画面が表示されます。

5 「OK」をタップする

「リストア」のパスワード入力画面が表示されます。

6 バックアップしたときのパスワードを入力する



バックアップしたときのパスワードを入力します。

- パスワード入力しないでバックアップしたときは、パスワードの入力は必要ありません。

7 「OK」をタップする

リストア中のメッセージが表示され、リストアが開始されます。

- リストアが終了すると、リストア終了のメッセージが表示されます。

8 ok をタップする

自動的に本体がリセットされ、再起動します。

お知らせ

- 従来機種のGENIO eや他社のPocket PC（以下、他のPocket PCと呼びます）でバックアップしたデータは、この本体にリストアできません。他のPocket PCのデータをこの本体に取り込みたい場合は、ActiveSyncを使って他のPocket PCとパソコンの同期をとってください。次にこの本体とパソコンで同期をとり、データをこの本体に取り込んでください。

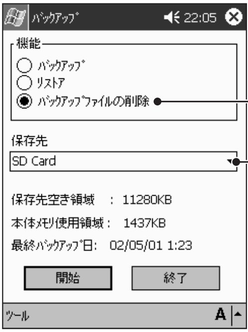
バックアップファイルを削除する

1 バックアップファイルを削除したいメモリカードを入れる

2 「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 「機能」の「バックアップファイルの削除」をタップし、保存先を選ぶ



「バックアップファイルの削除」を選びます。

保存先を選びます。

4 「開始」をタップする

バックアップファイルの削除確認画面が表示されます。



5 「OK」をタップする

バックアップファイルが削除されます。

6 「終了」をタップする

「バックアップ」の画面が閉じます。

定期的にバックアップをとる

定期バックアップを設定すると、指定した曜日や時間ごとに自動的にデータをバックアップします。電源がOFFになっていても、定期バックアップは行われます。

1 **メモリカードを本体に入れる**

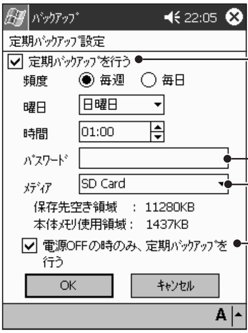
2 **「スタート」の「プログラム」から「バックアップ」をタップする**

「バックアップ」の画面が表示されます。

3 **「ツール」メニューから「定期バックアップ設定」をタップする**

「定期バックアップ設定」の画面が表示されます。

4 **項目を設定する**



チェックすると設定した内容で定期バックアップを行います。

パスワードを入力すると、リストアする際に、設定したパスワードが必要になります。
● パスワードの入力について、詳しくは（参照 93ページ）をご覧ください。

保存先のメディアを選びます。

チェックすると、電源が入っている状態では定期バックアップは行われません。

5 **「OK」をタップする**

内容が保存され、設定した時刻に定期バックアップが行われます。

6 **「終了」をタップする**

「バックアップ」の画面が閉じます。

お知らせ

- 「電源OFFの時のみ、定期バックアップを行う」にチェックを付けていない場合、定期バックアップの時刻に電源がONになっていると、定期バックアップの確認画面が表示されます。「OK」をタップする、または確認画面が表示されてから約30秒以上経過すると、自動的にバックアップが開始します。「キャンセル」をタップするとバックアップを中止します。
- 「電源OFFの時のみ、定期バックアップを行う」にチェックが付いている場合、定期バックアップの時刻に電源がOFFになっていると、メッセージ画面が表示され、約10秒後にバックアップが開始します。
- ACアダプタが接続されてなく、バッテリの充電残量が50%未満の場合は、定期バックアップが行われません。

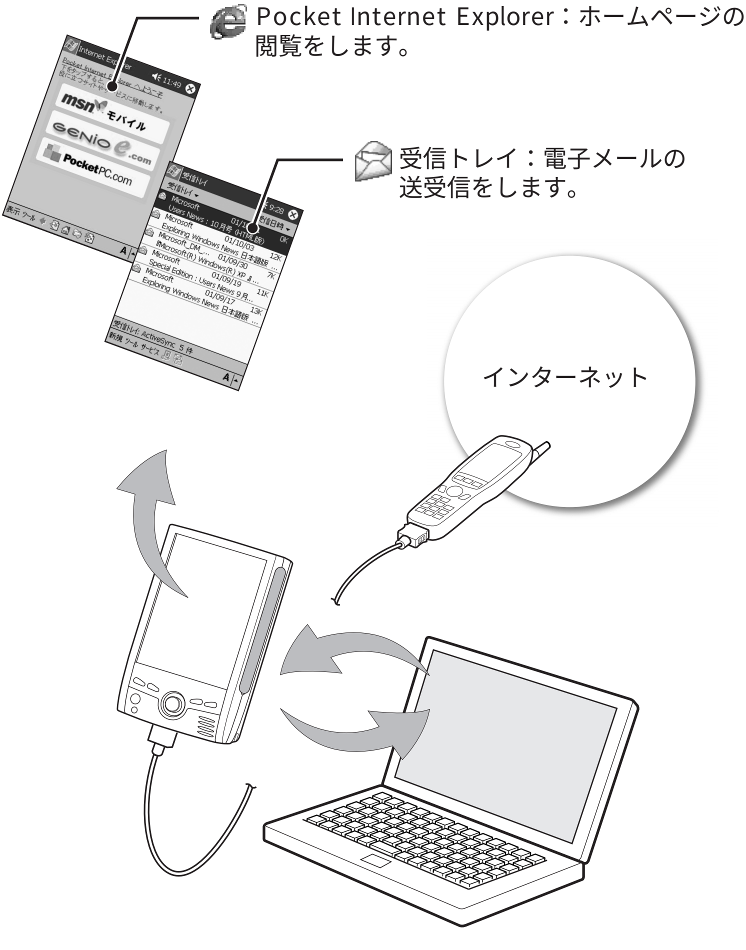
- 定期バックアップが行われたかどうかは、バックアップの最終バックアップ日で、確認してください。条件によってはバックアップされていない場合があります。
- 定期バックアップの時刻に、設定したメモリカードが挿入されていない場合は、定期バックアップは行われません。

ご注意

- 定期バックアップ中に電源をOFFにしないでください。データや本体が破損する場合があります。
- 定期バックアップ中にメモリカードの空き容量がなくなると、バックアップが途中で終了します。事前にメモリカードの空き容量をご確認ください。

第3章
インターネットの利用

携帯電話などを接続して、移動先からでもホームページの閲覧、電子メールの送受信が可能になります。



パソコンと接続して、パソコンのMicrosoft Outlook の間でメールなどの「同期」が行えます。

1. インターネットの接続設定

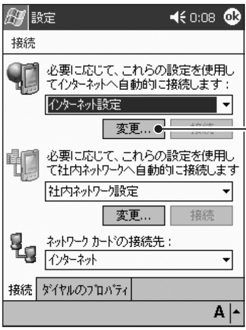
インターネットやメールを始めるには、ご加入のプロバイダの情報を本体に設定する必要があります。
インターネットの接続設定と電子メールの接続設定（受信トレイの設定）を、それぞれ行います。

インターネットの接続設定

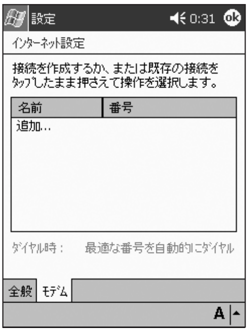
プロバイダにダイヤルアップして、インターネットに接続する設定をします。
インターネットの接続設定の方法は、クイックスタートガイドに詳しく説明しています。初めて設定するときは、クイックスタートガイドをご覧ください。
CFタイプのPHSカードをご利用になる場合は、設定の前にカードを本体に取り付けてください。

1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

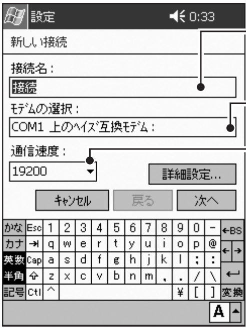


「変更」をタップして「インターネット設定」の画面を表示させます。



2 「インターネット設定」画面の、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。



この接続設定に内容がわかるような名前をつけます。（例：infoPepper）

使用するCFタイプのPHSカード、携帯電話に合わせて設定します。

使用する通信機器	「モデムの選択」	「通信速度」
NTT DoCoMo P-in memory	NTT_DoCoMo-P-in_memory	115200
NTT DoCoMo P-in m@ster	NTT_DoCoMo-P-in_m@ster	115200
Air H"Card petit CFE-02	NEC_Infrontia-CFE-02	115200
C@rd H"64 petit CFE-01	Nitsuko-CF_PHS_Module	115200
携帯電話（cdmaOne）	COM5 上のcdmaOne接続：	115200
携帯電話（PDC）	COM6 上のPDC接続：	19200
携帯電話（FOMA）	COM7 上のFOMAモデム：	115200

3 「詳細設定」をタップし、「ネームサーバー」タブをタップする



プロバイダから指定があれば、「指定されたサーバーアドレス」をタップし、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力します。

「ポートの設定」タブ、「TCP/IP」タブの内容は、通常は変更の必要はありません。

ok をタップすると「新しい接続」画面に戻ります。

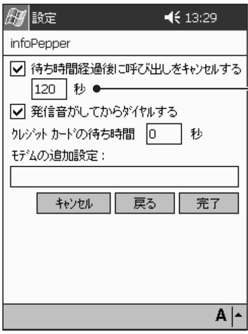
4 「新しい接続」の画面の「次へ」をタップし、接続先の電話番号を入力する



接続先プロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

5 「次へ」をタップする

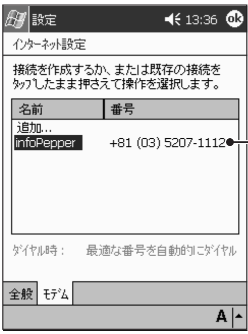
通常は変更の必要はありません。



カードによっては、指定する必要があります。

6 「完了」をタップする

「インターネット設定」の画面に戻ります。

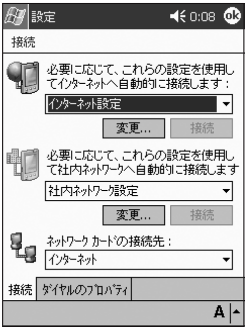


今作成した接続名の項目が追加されています。

- 作成した接続設定を削除する場合は、接続名をタップアンドホールドして、ポップアップメニューの「削除」をタップします。

7 ⓞⓚをタップする

「接続」の画面に戻ります。



8 「ダイヤルのプロパティ」タブをタップし、電話回線の設定をする



「発信元」は、「PHS」または「携帯電話」を選択します。

トーンを選択します。

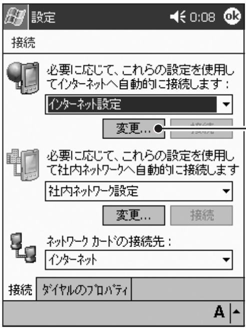
9 ⓞⓚをタップする

「接続」の画面が閉じます。

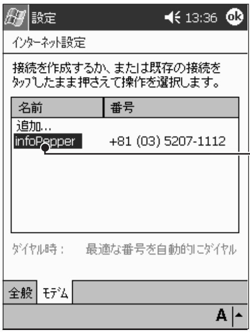
作成した接続設定を変更する

1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。



「変更」をタップして「インターネット設定」の画面を表示させます。



タップすると設定した接続内容の画面が表示されます。

2 作成した接続名をタップし、設定内容を変更する

作成したときと同様に設定します。

お知らせ

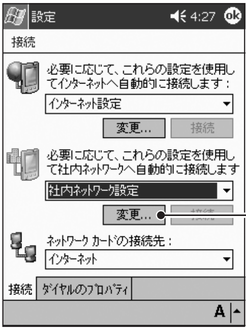
- 作成した設定内容を削除する場合は、接続名をタップアンドホールドして、ポップアップメニューの「削除」をタップします。

社内ネットワークへの接続設定

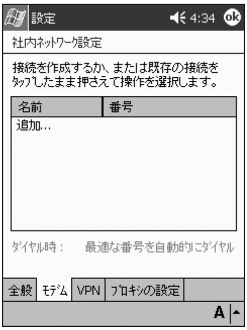
ダイヤルアップで社内ネットワークに接続する場合、設定します。ネットワーク管理者から、ダイヤルアップ接続用アクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワード、およびTCP/IP設定に関する情報を入手してください。
VPNを利用するとインターネット経由で社内ネットワークに接続できます。
VPNを利用するときは、（参照 113ページ）をご覧ください。

1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

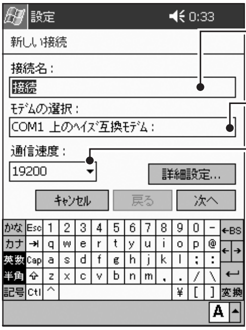


「変更」をタップして「社内ネットワーク設定」の画面を表示させます。



2 「社内ネットワーク設定」画面の、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。



この接続設定に内容がわかるような名前をつけます。（例：RAS）

使用するCFタイプのPHSカード、携帯電話に合わせて設定します。

使用する通信機器	「モデムの選択」	「通信速度」
NTT DoCoMo P-in memory	NTT_DoCoMo-P-in_memory	115200
NTT DoCoMo P-in m@ster	NTT_DoCoMo-P-in_m@ster	115200
Air H”card petit CFE-02	NEC_Infrontia-CFE-02	115200
C@rd H”64 petit CFE-01	Nitsuko-CF_PHS_Module	115200
携帯電話（cdmaOne）	COM5 上のcdmaOne接続：	115200
携帯電話（PDC）	COM6 上のPDC接続：	19200
携帯電話（FOMA）	COM7 上のFOMAモデム：	115200

3 「詳細設定」をタップし、設定する



ネットワーク管理者から情報を入手し、設定します。

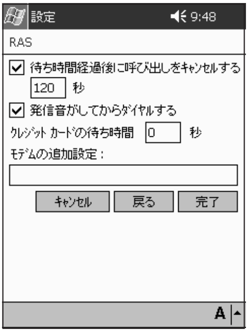
ok をタップすると「新しい接続」画面に戻ります。

4 「新しい接続」の画面の「次へ」をタップし、接続先の電話番号を入力する



接続先のアクセスポイントの電話番号を入力します。

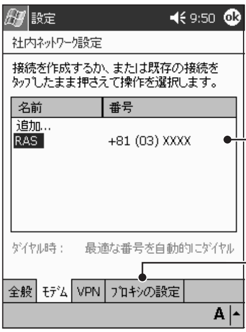
5 「次へ」をタップする



必要に応じて設定を変更します。通常は変更の必要はありません。

6 「完了」をタップする

「社内ネットワーク設定」の画面に戻ります。

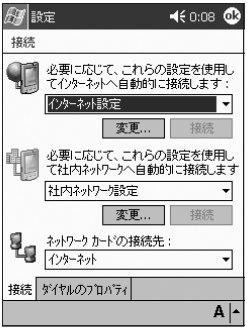


今作成した接続名の項目が追加されています。

プロキシの設定ができます。社内のパソコンと同期すると、自動的にプロキシの設定がダウンロードされます。ダウンロードされた設定から変更する場合は、変更します。

7 ⓞⓚをタップする

「接続」の画面に戻ります。



8 ⓞⓚをタップする

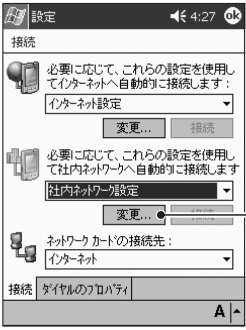
「接続」の画面が閉じます。

VPNを利用して社内ネットワークへの接続設定

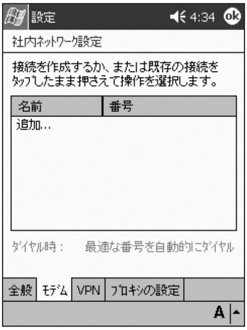
プロバイダのアクセスポイントへダイヤルアップし、VPNを利用して社内ネットワークに接続できます。

1 「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。



「変更」をタップして「社内ネットワーク設定」の画面を表示させます。



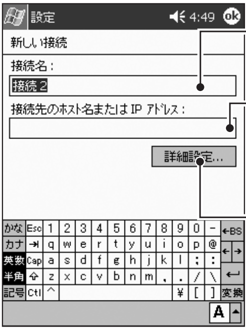
2 「モデム」タブの、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。

「インターネットの接続設定」の操作2～6と同じ操作をして、プロバイダへの接続方法を設定します。

3 「VPN」タブをタップし、「追加」をタップする

「新しい接続」の画面が表示されます。



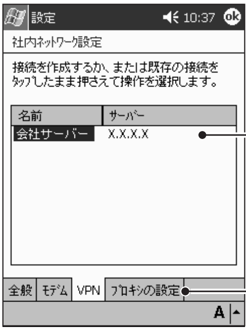
この接続設定に内容がわかるような名前をつけます。（例：会社サーバー）

接続先のホスト名またはIPアドレスを入力します。

特定のIPアドレスを入力するときタップします。

- 接続先や詳細設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

4 設定を終えたら ok をタップする



今作成した接続名の項目が追加されています。

プロキシの設定ができます。社内のパソコンと同期すると、自動的にプロキシの設定がダウンロードされます。ダウンロードされた設定から変更する場合は、変更します。

5 ok をタップする

「接続」の画面に戻ります。

6 ok をタップする

「接続」の画面が閉じます。

お知らせ

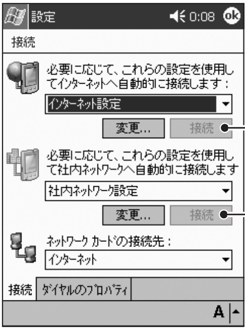
- 作成した設定内容を削除する場合は、接続名をタップアンドホールドして、ポップアップメニューの「削除」をタップします。

インターネットに接続する

1 **本体の電源を切り、CFタイプのPHSカードまたは携帯電話を接続する**

2 **「スタート」の「設定」から、「接続」タブの「接続」をタップする**

「接続」の画面が表示されます。

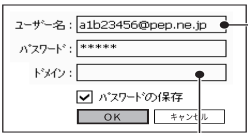


ここをタップすると「インターネット設定」で設定した接続を開始します。

ここをタップすると「社内ネットワーク設定」で設定した接続を開始します。

3 **「接続」をタップする**

初めて接続するときは「ネットワークへのログオン」の画面になります。



プロバイダによっては、@以降が不要の場合があります。プロバイダに接続するための「ユーザー名」を入力してください。

通常、入力の必要はありません。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

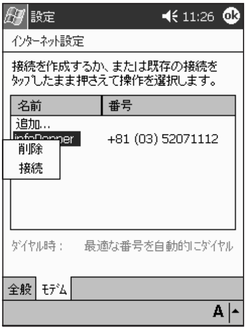
ユーザー名	コネクションID ユーザID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

4 ユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をタップする

「接続中」のポップアップメニューが表示され、接続を開始します。接続できると「接続完了」に変わります。

● ポップアップメニューは、「非表示」をタップすると消えます。

■接続名を選んで接続するには



操作2の後で「変更」をタップし、表示された接続名の中から接続する接続名をタップアンドホールドし、ポップアップメニューの「接続」をタップします。

■接続を切るには

ここをタップし、表示されたポップアップメニューの「終了」をタップします。



VPNを利用して社内ネットワークに接続する

1 「インターネットに接続する」の操作1～4をする

2 「VPNを利用して社内ネットワークへの接続設定」をした接続名を選び、「接続」をタップする

LANカードを使って接続する

本体に対応したLANカードを使ってネットワークに接続できます。カードによっては、ドライバが必要です。
接続方法について詳しくは、LANカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 本体にLANカードを挿入する

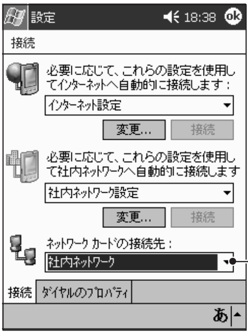
カードを初めて挿入すると、「ネットワークの設定」が自動的に表示され、LANカードの設定を行うことができます。

- 設定のダイアログボックスが表示されない場合または後から設定を変更する場合は、「スタート」の「設定」から「接続」タブの「ネットワークアダプタ」をタップします。
- 特定のサーバー情報を入力するには、対応するアダプタを選択し、「プロパティ」をタップします。

2 「スタート」の「設定」から「接続」タブの「接続」をタップする

「接続」の画面が表示されます。

3 LANカードの接続先を選択する

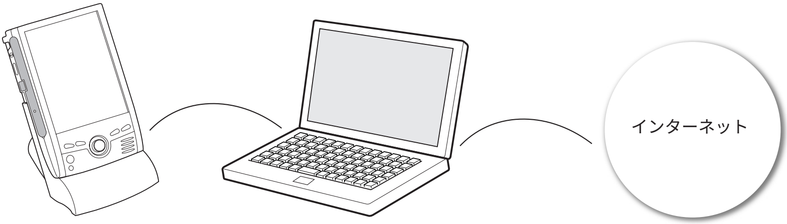


接続先に「社内ネットワーク」を選びます。

4 LANカードにネットワークケーブルを接続し、ネットワークに接続する

パススルーで接続する

パソコン側のインターネット接続を利用して、ホームページの閲覧、電子メールの送受信をすることができます。



<パソコン側での操作>

1 パソコン側でActiveSyncを起動する

2 「ツール」の「オプション」から「規則」タブをクリックする

3 「パススルー」の「接続」で接続方法を選択する

- インターネット .... 自宅などからインターネットに接続するとき
- 社内ネットワーク .... 社内からインターネットに接続するとき

■ホームページを閲覧する場合

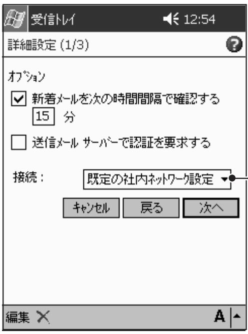
1 本体をクレードルに接続した状態でPocket Internet Explorerを起動する

- 「ホームページを見る」(参照 124ページ)の操作を行ってください。

■電子メールの送受信をする場合

1 受信トレイの接続設定を行う

- 「受信トレイの接続設定」(参照 120ページ)をご覧ください。
- 受信トレイの接続設定の操作6で、「オプション」をタップし、「接続：」を「既定の社内ネットワーク設定」に設定してください。



「既定の社内ネットワーク設定」に設定します。

2 本体をクレードルに接続し、「受信トレイ」のコマンドバーの「メール送受信」アイコンをタップする

- メールを送信する場合は、「送信トレイ」フォルダにメールを保存しておきます。
- メールの作成方法などは「メールを送受信する」(参照 131ページ)をご覧ください。

2. 電子メールの接続設定

電子メールの接続設定（受信トレイの接続設定）を行います。

受信トレイの接続設定

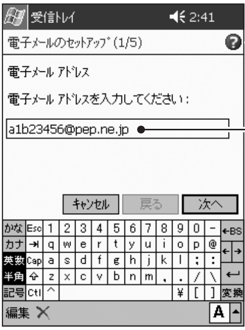
電子メールの接続設定の方法は、クイックスタートガイドに詳しく説明しています。初めて設定するときは、クイックスタートガイドをご覧ください。

1 「スタート」の「受信トレイ」をタップする

受信トレイが起動します。

2 「サービス」をタップして、「新しいサービス」をタップする

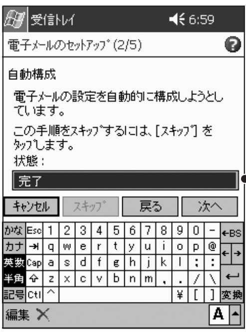
「電子メールのセットアップ」の画面が表示されます。



タップするとヘルプが表示されます。

メールアドレスを入力します。

3 「次へ」をタップし、「完了」が出たら、「次へ」をタップする



- ネットワークへのログオンの画面が表示されたときは、「キャンセル」をタップします。
- モデムをつないでいるときは、接続画面が表示されますので、接続画面の「終了」をタップしてください。

「接続中」から「完了」になるまでお待ちください。

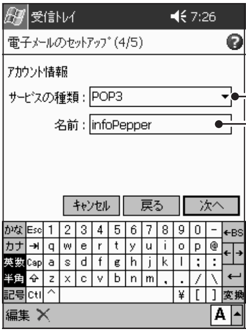
4 「次へ」をタップし、ユーザー情報を入力する



差出人として相手方に表示される名前を入力します。

プロバイダから指定されたメールサーバーへ接続するための「ユーザー名」「パスワード」を入力します。

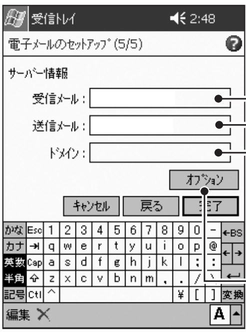
5 「次へ」をタップする



POP3またはIMAP4のいずれかのサービスを選択します。一般的には「POP3」が使われています。

サービス名を入力します。

6 「次へ」をタップする



プロバイダから指定された、受信メールサーバーの名前を入力します。

プロバイダから指定された、送信メールサーバーの名前を入力します。

通常は入力の必要はありません。

必要によりオプションを設定します。
(参照 122ページ)

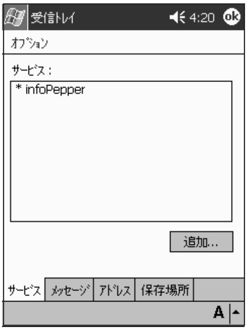
7 「完了」をタップする

「受信トレイ」の画面に戻ります。

受信トレイの接続設定を変更する

1 「受信トレイ」の一覧画面で「ツール」メニューの「オプション」をタップする

サービスの一覧が表示されます。



2 変更したいサービスをタップする

「電子メールのセットアップ」の画面が表示されます。

- 作成したサービスを削除する場合は、サービス名をタップアンドホールドして削除します。

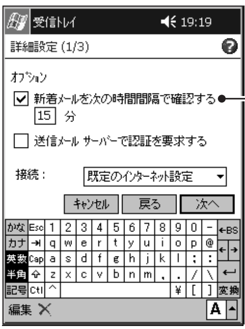
3 設定したときと同じように設定する

「受信トレイの接続設定」の操作2以降（参照 120ページ）をご覧ください。

■接続設定のオプションを変更する

「電子メールのセットアップ（4/4）」の画面で、「オプション」をタップして変更します。「オプション」は、3画面用意されています。「次へ」をタップして順に表示できます。

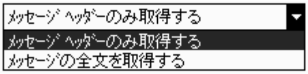
＜オプション1＞



必要ない場合は、チェックをはずしてください。

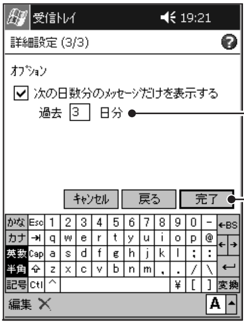
＜オプション2＞





- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合、メールを受信してもメールサーバー上のメールは削除されません。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合、受信メールを削除して、再びメールサーバーにアクセスするとサーバー上のメールも削除されます。
  受信メールを削除しなければ、サーバー上のメールは削除されません。

＜オプション3＞



数字を変更できます。

「オプション」の設定後、「完了」をタップしてください。

3. ホームページを見る

Pocket Internet Explorerを使ってホームページを閲覧できます。
ホームページを見るためにはインターネットの接続設定が必要です。設定していない場合は(参照 104ページ)をご覧になり、設定してください。

インターネットに接続し、ホームページを見る

1 本体に携帯電話などを接続する

- 接続のしかたは(参照 19、20ページ)をご覧ください。
- 携帯電話の電源を入れてください。

2 「スタート」から「Internet Explorer」をタップする

Internet Explorerが起動します。



3 「表示」メニューから「アドレスバー」をタップしアドレスバーを表示させる



アドレスバーにURLを入力します。

「移動」ボタンをタップすると入力したURLのページに移動します。

タップすると「表示」メニューが開きます。

4 アドレスバーにURLを入力し、「移動」ボタンを押す

接続を開始し、指定したURLのページに移動します。

初めてインターネットに接続するときは、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。



プロバイダに接続するためのユーザー名とパスワードを入力します。

パスワードを保存するときは、ここにチェックを付けます。

入力したら「OK」をタップしてください。
接続を開始します。
入力後、「OK」をタップしないで、時間が経つと、前の画面に戻り入力した内容は保存されません。

■接続を切断するには

- ダイヤルアップまたはVPNを使用して接続しているときは、ナビゲーションバーの をタップし、表示されたメッセージから「終了」をタップします。
- ケーブルまたはクレードルで接続しているときは、本体をケーブルまたはクレードルから取り外すか、画面下のコマンドバーの をタップして、「切断」をタップします。
- 赤外線で接続しているときは、本体をPCから離します。
- ネットワーク(Ethernet)カードで接続しているときは、カードを本体から取り外します。

お知らせ

- 「お気に入り」からリンク先をタップして、そのページを見ることができます。（参照 126ページ）
- パソコンからお気に入りのリンクを本体の「お気に入り」に取り込めます。「「お気に入り」をパソコンと同期する」（参照 129ページ）をご覧ください。
- 接続先（プロバイダ）を選んで、接続したい場合は、「インターネットに接続する」（参照 115ページ）をご覧ください。

Pocket Internet Explorerについて



アドレスバー

「移動」ボタン

タップするとそれぞれのページに移動します。

「表示」メニューを開きます。

「ツール」メニューを開きます。

直前に表示していたページに戻ります。

読み込み中の場合は読み込みを中止します。読み込み中でない場合は最新の状態に更新します。

「ホームページ」(「ツール」メニューの「オプション」で設定したホームページ)に移動します。

「お気に入り」に登録した、リンク先一覧が、表示されます。移動したいリンク先をタップすると、そのページに移動します。「お気に入り」にリンク先を追加するには(参照 127ページ)をご覧ください。

ページの画像を表示／非表示に切り替えられます。

「表示」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

- 「次へ」……… 前に表示していたページに戻ります。
- 「画面に合わせる」……… 本体の画面の幅に合わせてページを表示します。
- 「アドレスバー」……… タップすると、アドレスバーの表示／非表示を切り替えられます。
- 「文字のサイズ」……… 表示する文字の大きさを設定します。
- 「履歴」……… 過去に表示したリンク先の一覧画面を表示します。
- 「プロパティ」……… 表示しているページの情報を表示します。

「ツール」メニュー

各項目をタップすると以下のようになります。

「電子メールからリンクを送る」.. 受信トレイが起動し、表示しているページのURLを載せたメッセージ作成画面が表示されます。受信トレイの使いかたは(参照 131ページ)をご覧ください。

「すべてのテキストを選択」.......... すべてのテキスト文字を選択します。

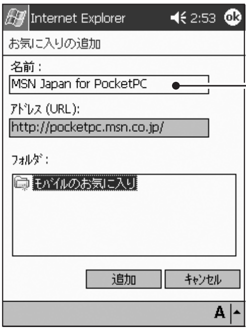
「オプション」................................ オプション設定画面を表示します。(参照 128ページ)をご覧ください。

「お気に入り」に追加するには

1　お気に入りに追加したいページを表示中に、 をタップする

2　「追加／削除」タブをタップし、「追加」をタップする

「お気に入りの追加」の画面が表示されます。



タップすると、名前を変更できます。

3　ok をタップする

「お気に入り」に追加され、操作１の画面に戻ります。

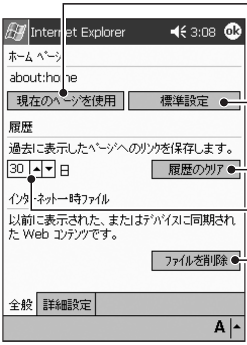
お知らせ

- 「お気に入り」から削除するには、「お気に入り」の一覧画面で「追加／削除」タブをタップして、削除したいリンク先を選んで「削除」をタップし、「はい」をタップします。

「オプション」設定について

「ツール」メニューから「オプション」を選択すると、下記の設定ができます。
設定が終わったらⓞⓚをタップしてください。

「全般」タブ



現在表示中のページが（ホーム）ボタンをタップしたときに表示されるホームページとして設定されます。

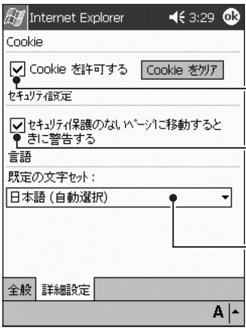
ホームページを初期設定に戻します。

履歴を消去します。

履歴を何日間保存するかを設定します。

インターネット一時ファイルを削除すると、メモリ残量を増やせます。

「詳細設定」タブ



Cookieを許可しない場合はチェックをはずします。

セキュリティ保護のため、チェックをはずさないことをお勧めします。

表示言語を選択できます。通常は「日本語（自動選択）」にしておいてください。

お知らせ

- Cookieには、ユーザーの識別情報やページにアクセスしたときの設定などの情報が含まれ、ページから本体に送られ保存されます。このファイルによって、ページの情報がユーザーの要求に合わせて調整されます。

閲覧できるホームページ

- Pocket Internet Explorerは、次の機能に対応しています。
  - ・HTML(Hyper Text Markup Language)レベル3.2に準拠
  - ・SSL 2.0/3.0
- Pocket Internet Explorerは、パソコン用のブラウザと比べると、機能が制限されています。
  - ・パソコン用のブラウザで閲覧することを前提に作られたホームページで、一部のホームページは表示できない場合があります。
  - ・プラグインを必要とするホームページは、利用できない場合があります。
  - ・ホームトレードページは、利用できない場合があります。

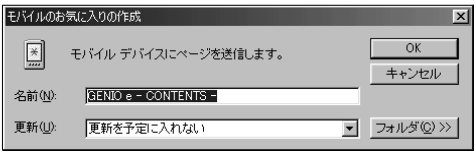
「お気に入り」をパソコンと同期する

ActiveSyncで「お気に入り」を同期設定していると(参照 50ページ)、パソコンのInternet Explorerの「お気に入り」の中に「モバイルのお気に入り」フォルダが作成されています。本体とパソコンを接続して同期したときに「モバイルのお気に入り」フォルダに入れたリンク内容と本体の「お気に入り」のリンク内容が同期されます。

パソコンで取り込んだホームページを本体で見る

パソコンのInternet Explorer5.0 以上を使用している場合は、本体にお気に入りのページをダウンロードして、本体でオフライン時にそのページを見ることができます。

1 パソコンでInternet Explorerを起動して、「ツール」をクリックし、「モバイルのお気に入りの作成」をクリックする



2 「OK」をクリックする

そのページがパソコンの「モバイルのお気に入り」フォルダにダウンロードされます。

3 本体とパソコンを同期する

パソコンで取り込んだページが本体に転送されます。

4 本体のPocket Internet Explorerを起動し、 をタップする

パソコンで取り込んだページタイトルが追加されています。

5 そのページタイトルをタップする

取り込んだページが表示されます。

お知らせ

- そのページにリンクしているページもダウンロードしたい場合は、パソコンで作成した「モバイルのお気に入り」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ダウンロード」タブで、ダウンロードしたいリンクの深さを変更できます。リンクを深く設定した場合、メモリをたくさん使います。

4. メールを送受信する

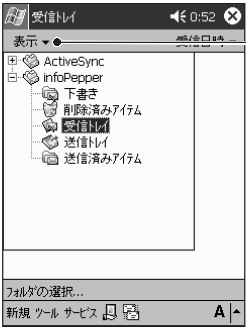
メールメッセージを送受信するには、Microsoft Pocket Outlookの「受信トレイ」を使います。メールの送受信には、メールの接続設定が必要です。設定していない場合は（参照 120ページ）をご覧になり、設定してください。

新規にメッセージを作成し、送信する

1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。

2 メールの送信に利用するサービスを選ぶ

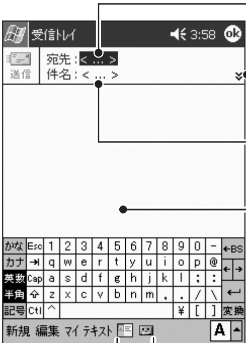


ここをタップし表示された一覧から、利用するサービスをタップします。

3 「新規」をタップする

メッセージの作成画面が表示されます。

4 「宛先」、「件名」を入力し、本文を入力する



電子メールアドレスを入力します。

タップすると「CC」、「BCC」を指定することができます。

作成しているメッセージのタイトルを入力します。

タップして、本文を入力します。

タップすると、次の操作が行えます。

 ……. このボタンをタップすると、電子メールのアドレス一覧が表示されます。送信先にしたいアドレスをタップすると、宛先に選んだアドレスが入力されます。もう一度このボタンをタップするとアドレス一覧が消えます。「宛先」をタップしても同じようになります。

ここで表示されるアドレス一覧は、「連絡先」で登録した電子メールアドレスの一覧です。

 ……. このボタンをタップすると、録音ツールバーが表示され音声を添付ファイルとして送信できます。

5 「送信」をタップする

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。

- 「送信」をタップしないで ok をタップすると、「下書き」フォルダに保存されます。このメッセージを送信するには、一度メッセージを表示させてから「送信」をタップしてください。
- メールサーバーへ接続中に「送信」をタップした場合は、タップするとすぐに送信されます。

6 メールサーバーに接続する

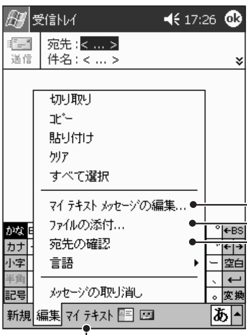
メールサーバーへの接続のしかたは次ページをご覧ください。

「送信トレイ」フォルダにあるメッセージが送信されます。

お知らせ

- 「ＣＣ」や「ＢＣＣ」には、参考に送信したい人のアドレスを入力します。「BCC」に入れたアドレスは、BCCで受け取った人以外から見えないように配信されます。
- 電子メールアドレスを複数入力するときは、セミコロン（；）で区切って入力します。

■メッセージ作成画面について



タップすると、マイテキストを編集できます。

タップすると、添付するファイルを選べます。

「宛先」、「ＣＣ」または「ＢＣＣ」に名前を入力してこのボタンをタップすると、連絡先やオンラインアドレス帳から登録されている名前と一致する名前のアドレスを入力できます。

タップすると、「マイテキスト」の一覧が表示されます。一覧からメッセージをタップすると、よく使うメッセージを簡単に挿入できます。

メールサーバーに接続する

メールサーバーに接続すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメッセージを送信し、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

1 本体に携帯電話などを接続する

接続のしかたは(参照 19、20ページ)をご覧ください。

2 「サービス」メニューから接続に使うサービス名をタップする



ここに登録したサービス名が表示されます。(参照 121ページ)
お使いになるサービスをタップして選びます。

3 「接続」をタップする

初めて接続するときは、「ネットワークへのログオン」の画面が表示されます。ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をタップしてください。

接続が開始されます。

メールサーバーへの接続が完了すると、「送信トレイ」フォルダに入っているメールが送信され、メールサーバーにある未読メールが「受信トレイ」フォルダに入ります。

4 メールの送受信が完了したら、「サービス」メニューから「切断」をタップする

メールサーバーへの接続が切断されます。

メッセージを見る／返信する／転送する

メールサーバーに接続すると、メッセージを受信できます。受信したメッセージを見たり、返信したり、転送できます。

メッセージを見る

1 「スタート」から「受信トレイ」をタップする

「受信トレイ」の一覧画面が表示されます。



別のサービスの受信メールを見る場合は、ここをタップして、見たいサービスの「受信トレイ」フォルダを選びます。

現在選択している「受信トレイ」フォルダのサービス名が表示されます。

2 見たいメッセージをタップする

メッセージの内容が表示されます。



受信トレイの一覧画面に戻るには、ok をタップします。

タップするとこのメッセージを削除します。

タップすると次のメッセージを表示します。

タップすると前のメッセージを表示します。

お知らせ

- 受信メッセージの初期設定は、過去3日分のメールで、メッセージヘッダーのみ取得する設定になっています。（参照 123ページ）

■メッセージの全文を取得する

受信メッセージが途中で切れているときや添付ファイルを見たい場合は、指定したメッセージだけメッセージの全文を取得できます。

1 **メッセージの一覧で、メッセージの全文を取得したいメッセージをタップアンドホールドする**

2 **「ダウンロードするアイテムとしてマーク」をタップする**

- 「サービス」メニューからも「ダウンロードするアイテムとしてマーク」を選べます。

3 **メールサーバーに接続する**

指定したメッセージの全文を取得できます。

メッセージを返信／転送する

1 **「メッセージを見る」の操作1、2に従って、メッセージの内容を表示する**

2 **をタップし、「返信」、「全員へ返信」または「転送」をタップする**



- 「返信」をタップすると、差出人を宛先にしたメッセージ作成画面になります。
- 「全員へ返信」をタップすると、差出人だけでなく同じメールを受信した全員を宛先にできます。（差出人以外はCCに指定されます。）
- 「転送」をタップしたときは、転送先（宛先）を入力してください。

3 **返信または転送のメッセージを入力する**

4 **「送信」をタップする**

作成したメッセージは保存され、「送信トレイ」フォルダに入ります。

- 送信するには、メールサーバーへ接続してください。

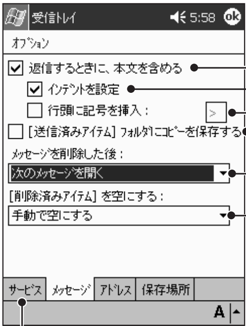
お知らせ

- 受信トレイの一覧画面で、返信または転送したいメールをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、「返信」、「全員に返信」または「転送」が選べます。

■メッセージのオプションの変更をする

1 **メッセージの一覧画面で、「ツール」メニューから「オプション」をタップする**

2 **「メッセージ」タブをタップする**



チェックを付けると、返信文に受信メッセージを含めます。

チェックを付けると、返信文の受信メッセージにインデントを設定します。

チェックを付けると、返信文の受信メッセージの行頭に「>」を付けます。

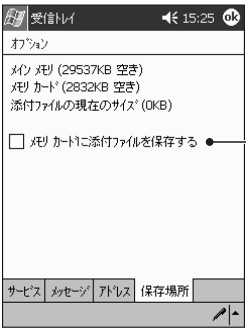
チェックを付けると、送信したとき、「送信済みアイテム」フォルダに送信メールのコピーを保存します。

メッセージを削除した後の動作を設定します。

「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを空にする方法を設定します。

タップすると、サービスの一覧が表示されます。サービス名をタップすると接続設定を変更できます。（参照 122ページ）

3 **「保存場所」タブをタップする**



チェックを付けるとメモリカードに添付ファイルを保存します。

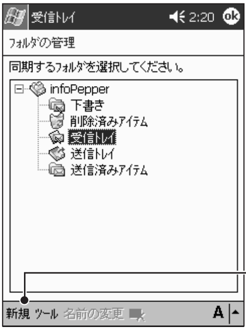
4 **設定が終わったら ok をタップする**

メッセージを整理する

新規フォルダを作成する

メッセージを整理して保存するために、新規にフォルダを作成することができます。送信者や内容別に振り分けると便利です。

1 「ツール」メニューから「フォルダの管理」をタップし、その下にフォルダを作成したいフォルダをタップする



● ActiveSyncフォルダの下に、新規フォルダを作成することはできません。

ここをタップして、新しいフォルダを作成します。

2 「新規」をタップする

フォルダ名を入力する画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力し、ⓞⓚをタップする

フォルダが作成され、元の画面に戻ります。

お知らせ

● 作成したフォルダはフォルダの管理の画面で「名前の変更」をタップすると名前の変更ができます。「」をタップすると、削除ができます。

メールを削除する

1 受信トレイの一覧画面で、削除したいメッセージをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「削除」をタップする

選んだメッセージは、「削除済みアイテム」フォルダに移動します。

お知らせ

- 「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを完全に削除するには、「ツール」メニューの「[削除済みアイテム]を空にする」をタップします。または、「削除済みアイテム」フォルダ内のメールをタップアンドホールドして、「削除」をタップします。

メールを移動する

1 受信トレイの一覧画面で、移動したいメールをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「フォルダへ移動」をタップする

移動先またはコピー先のフォルダを指定する画面になります。

3 移動先のフォルダをタップし、ok をタップする

指定したフォルダにメールが移動されます。

お知らせ

- 別のサービスのフォルダには移動できません。

パソコンと同期する

本体が直接メールサーバーと接続してメールを送受信する方法とは別に、本体をパソコンと接続して同期すると、パソコンで受信したメッセージを本体で見たり、本体で作成したメッセージをパソコンから送ることができます。
具体的には、パソコン上のOutlookの「受信メール」のメールと本体の「ActiveSync」フォルダのメールが次のように同期します。

- パソコン側に新着メッセージがある場合は、本体の「ActiveSync」フォルダの「受信トレイ」フォルダにその新着メッセージがコピーされます。初期設定では、最近5日間までのメッセージで、取得行数は最初の100行までです。
- 本体の「ActiveSync」フォルダの「送信トレイ」フォルダに入れたメッセージは、パソコン側の「送信トレイ」フォルダに転送されます。パソコン側でメールサーバーに接続すると、そのメッセージは、送信されます。
- 本体側で削除したメールは、次回同期時パソコン側でも削除されます。
- パソコン側で「受信トレイ」にサブフォルダを作成し、ActiveSyncの設定でそのサブフォルダを同期することもできます。

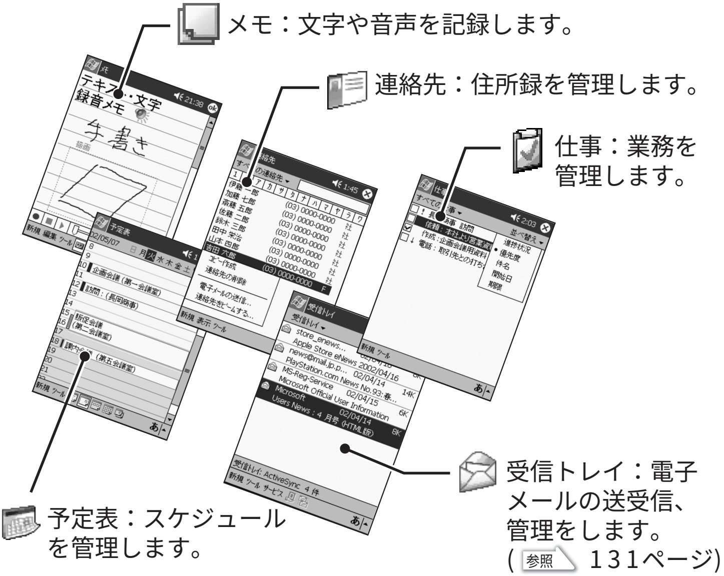
第4章

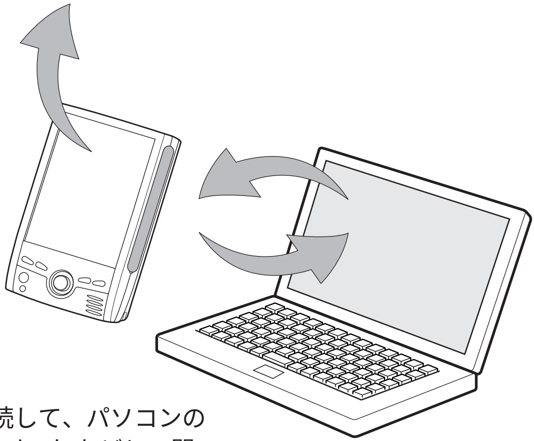
個人情報の管理

Microsoft Pocket Outlook

Microsoft Pocket Outlook の「予定表」、「連絡先」、「仕事」、「メモ」、「受信トレイ」を使用して個人情報を管理します。

Pocket Outlookは本体だけでも使えますが、ActiveSyncを使ってパソコンと同期すると、より便利に使用できます。





パソコンと接続して、パソコンのMicrosoft Outlook などとの間でデータの「同期」が行えます。

第4章

1.「予定表」の作成と使いかた

予定や会議などのスケジュールを管理します。日、週、月、年単位で表示したり、スケジュールに合わせてアラーム機能を設定したりできます。

新規に予定を入力する

1 「スタート」から「予定表」をタップする

「予定表」の一覧画面が表示されます。



2 画面左下の「新規」をタップする

予定の入力画面が表示されます。



タップして件名を入力します。
▼をタップして、登録してある件名の一覧からも選べます。

▼をタップすると、今までに入力した場所の一覧が表示されます。

タップすると、日付と時刻をそれぞれ設定できます。

タップするたびに、入力パネルの表示と非表示が切り替わります。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 35ページ、155ページ）をご覧ください。
- 入力項目については、「予定表の項目について」（参照 146ページ）をご覧ください。

4 ⓞⓚをタップする

入力した予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

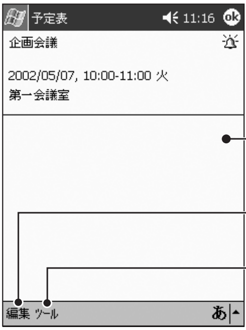
お知らせ

- 予定でアラームを設定してもアラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。

入力済みの予定を変更する

1 「予定表」の一覧画面で、変更したい予定をタップする

予定の概要画面が表示されます。



メモが入力されているときは、ここに内容が表示されます。

タップすると予定を変更できます。

タップすると予定を削除することもできます。

2 「編集」をタップする

項目を変更します。



メモを変更するときはここをタップします。メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ⓞⓚをタップする

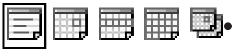
予定が保存され、「予定表」の一覧画面に戻ります。

予定表の項目について

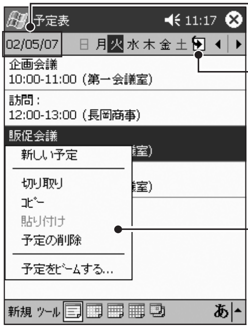
件名	仕事名や、予定の名称を設定します。自分で入力する以外に「▼」をタップして、件名の一覧からも選べます。
場所	予定の場所を入力します。「▼」をタップして、以前に入力した場所の一覧からも選べます。
開始／終了	予定の日時や時刻を設定できます。日時をタップするとカレンダーが表示されます。カレンダーから設定したい日時を選んでください。
種類	「標準」を選ぶと予定を時間単位で設定できます。「終日」を選ぶと選んだ日付が一日中対象となり、時間は設定できません。
パターン	設定中の予定を一回だけにするか、定期的な予定にするかどうかを選べます。
アラーム	通知を選んだ場合、予定のどれぐらい前にアラームを鳴らすかを選べます。
分類項目	仕事や個人用など、分類を設定できます。また、分類項目は追加や削除も行えます。
出席者	連絡先でメールアドレスを登録してある人のリストが一覧表示されます。出席者にチェックを付けるとActiveSyncやプロバイダを使って、選んだ相手に予定を通知できます。ActiveSyncとプロバイダのどちらを使用して通知するかは、「ツール」メニューの「オプション」の「会議出席依頼の送信方法」で選べます。ActiveSyncを選んだ場合、パソコンと同期したときに通知メールが送信されます。プロバイダを選んだ場合、本体でインターネットに接続したときに通知メールが送信されます。
公開方法	予定をインターネットなどで公開するときの表示方法を選べます。
秘密度	予定の内容に合わせて、標準またはプライベートのどちらかを設定します。

予定表の表示画面(一覧画面)を切り替える

画面下のコマンドバーのボタンをタップして、またはプログラムボタン１(予定表)を押して、予定表の表示方法を切り替えられます。


画面下のコマンドバーのボタン

計画表表示



タップするとカレンダーが表示され、日付けをタップするとその日の予定が表示されます。

をタップすると今日の予定が表示されます。

● 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

予定項目をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、コピー、削除などが選べます。

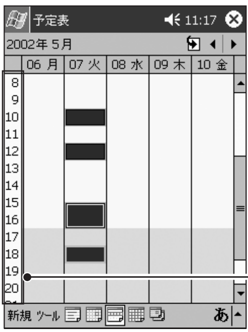
日単位表示



● 予定項目をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

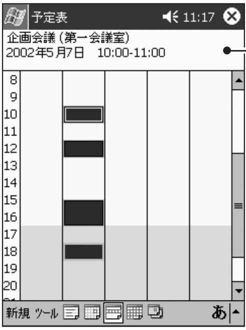
時間

週単位表示



● 予定項目をタップすると、画面上部に予定の概要が表示されます。

時間



予定の概要

● 予定の概要をタップすると、予定の概要画面が表示されます。

月間カレンダー



午前に予定があることを示します。
午後に予定があることを示します。
午前と午後に予定があることを示します。

年間カレンダー



●「ツール」メニューから、「オプション」をタップすると、表示内容などを変更できます。

予定表の便利な使い方

予定表に祝日を設定する

パソコン側のOutlookと同期することによって、Pocket Outlookの予定表に祝日を設定できます。

1 パソコンのOutlookで予定表に祝日を追加する

祝日の追加については、パソコンのOutlookのヘルプをご覧ください。

2 ActiveSyncで予定表を同期する

予定表に祝日が追加されます。

パソコンと同期したときの予定について

ActiveSyncを使ってパソコンと同期するときは、同期する前に同期する項目や期間の設定をご確認ください。設定によっては、同期をした際に古いデータが削除されてしまうことがあります。

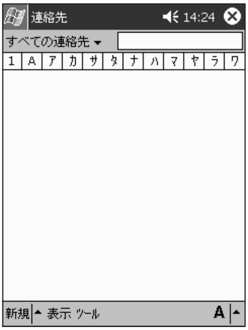
2.「連絡先」の入力と編集

名前・電話番号・電子メールアドレス・住所などの各種情報を管理します。

新規に連絡先を入力する

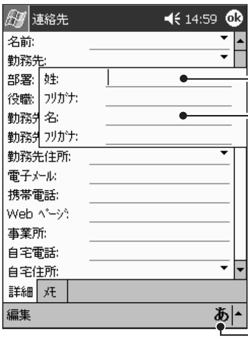
1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。



2 「新規」をタップする

「連絡先」の入力画面が表示されます。



「姓」、「名」の欄にひらがなを入力して変換すると、「フリガナ」の欄に自動的にフリガナが入力されます。
「姓」、「名」の欄で文字を削除しても一度入力されたフリガナは削除されません。ただし全部削除するとフリガナも削除されます。

タップするたびに、入力パネルの表示と非表示が切り替わります。

3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップするとメモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 35ページ、155ページ）をご覧ください。

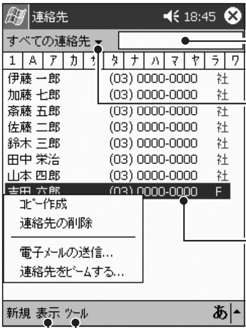
4 ok をタップする

入力した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

連絡先の一覧を表示する

1 「スタート」から「連絡先」をタップする

「連絡先」の一覧画面が表示されます。



ここに入力した文字が含まれる姓・名を探して表示します。

「すべての連絡先」の▼をタップすると、分類(会社別、個人別など)を選べます。

● 人名をタップすると、「連絡先」の概要画面が表示されます。

人名をタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、コピー、削除などの操作ができます。

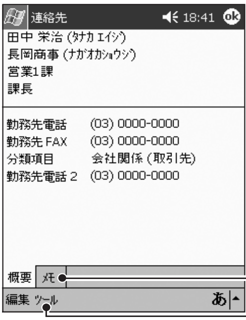
タップすると、「オプション」などが選べます。

タップすると、一覧画面の並び順(名前順、会社順)を変えられます。

連絡先を変更する

1 「連絡先」の一覧画面で、変更したい連絡先の名前をタップする

「連絡先」の概要画面が表示されます。



入力されている内容が表示されます。

タップすると、メモや音声の入力ができます。

タップすると、「連絡先の削除」や、「電子メールの送信」が選べます。

2 「編集」をタップする

項目の内容が変更できます。

3 ok をタップする

変更した連絡先が保存され、「連絡先」の一覧画面に戻ります。

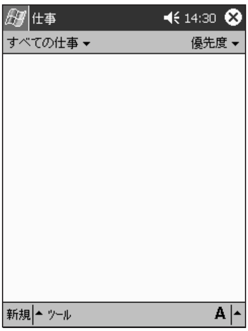
3.「仕事」の管理

仕事の進行状況や期限などを管理できます。また、アラームも設定できます。

新規に仕事を入力する

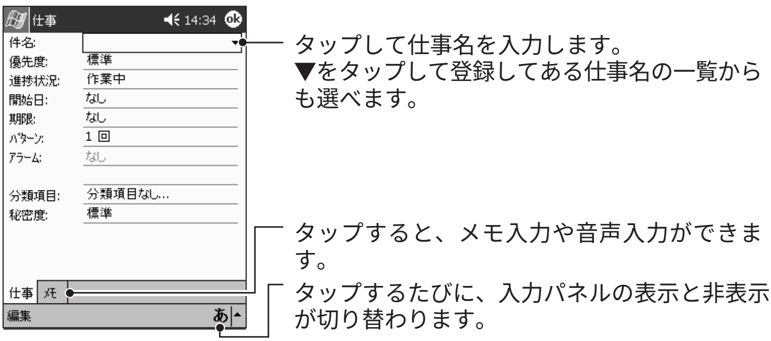
1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。



2 「新規」をタップする

「仕事」の入力画面が表示されます。



3 入力したい項目をタップして入力する

- 入力パネルで入力したい項目が隠れている場合は、入力パネル表示ボタンをタップして、入力パネルを非表示にします。
- 「メモ」のタブをタップすると、メモや音声の入力ができます。入力のしかたは（参照 35ページ、155ページ）をご覧ください。

4 ⓞⓚをタップする

入力した仕事名が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

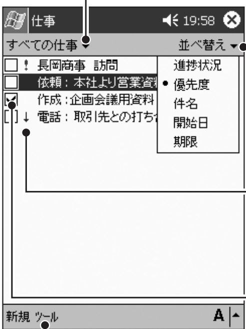
お知らせ

- 予定でアラームを設定しても、アラームが鳴らない場合は、「スタート」の「設定」から「音と通知」を選び、設定をご確認ください。
- 「仕事」の一覧画面で、ツールメニューから「入力バー」を選んでも、新規に仕事を入力できます。

仕事の一覧を表示する

1 「スタート」から「仕事」をタップする

「仕事」の一覧画面が表示されます。



タップすると、「個人用」「作業中の仕事」など表示する分類を選べます。

タップすると、仕事一覧の表示順を選べます。

● 期限を過ぎた仕事は赤色で表示されます。

! ････ 優先度「高」

↓ ････ 優先度「低」

☑ ････ 終了した仕事にチェックを付けます。

タップすると、「入力バー」や「オプション」などが選べます。

入力済みの仕事を変更する

1 「仕事」の一覧画面で、変更したい仕事をタップする

「仕事」の概要画面が表示されます。



2 「編集」をタップする

- 項目を変更します。
- メモを変更するときは「メモ」タブをタップします。
  メモの入力画面が表示され、内容の変更ができます。

3 ok をタップする

変更した仕事が保存され、「仕事」の一覧画面に戻ります。

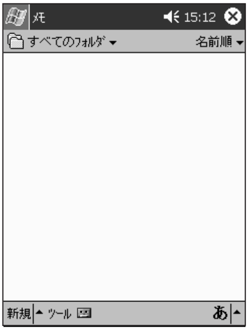
4.「メモ」の作成と使いかた

文字や図をすばやく手書きしたり、「メモ」の中に音声を録音することもできます。

メモを入力する

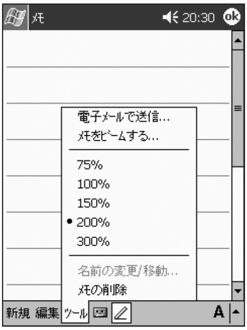
1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。



2 「新規」をタップする

「メモ」の入力画面が表示されます。



- 画面下の「ツール」をタップすると、画面の表示サイズを切り替えることができます。
- 画面下の をタップすると「手書き(フリーハンド)入力モード」と「文字入力モード」が、交互に切り替わります。

3 入力する

手書き（フリーハンド）入力モードのときはスタイラスで画面に直接入力します。文字入力モードのときはキーボードを使って入力します。

- 罫線に沿って手書きしたメモは、画面を「文字入力モード」に切り替えたときに、切り取り／コピー／貼り付けなどの編集ができます。
- 罫線を3本以上またがったメモは、描画として認識され、その範囲が破線で示されます。



「手書き入力モード」画面は罫線が表示されます。

4 ok をタップする

内容が保存され、「メモ」の一覧画面に戻ります。
メモのファイル名は「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

お知らせ

- 「メモ」では「手書き（フリーハンド）入力モード」と「文字入力モード」が選べます。「文字入力モード」については（参照 35ページ）をご覧ください。

メモの一覧を表示する

1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。



お知らせ

- 「メモ」の入力画面で録音した音声は、音声だけであっても（メモファイル）のアイコンで表示されます。
- 「メモ」の入力画面以外で録音した音声は のアイコンで表示されます。

メモファイル上に録音する

1 「メモ」の入力画面で をタップする

「メモ」の入力画面では、同じファイルにメモと録音ができます。



2 okをタップする

音声が保存され、「メモ」の表示画面に戻ります。

ファイル名は、音声しかファイル上になくても、「メモ1」、「メモ2」…と自動的に付けられます。

お知らせ

- 本体左側面の録音ボタンを使っても録音できます。録音ボタンを押している間に録音が行われ、ボタンを離すと終了します。他のアプリケーション画面を表示中に録音ボタンを押すと自動的に「メモ」の一覧画面に切り替わり録音が開始します。（「メモ」の一覧画面で「ツール」メニューから「オプション」をタップして、切り替わらないように設定を変更できます。）
- 「メモ」の一覧画面で録音すると、ファイルのアイコンは で、ファイル名は「録音1」、「録音2」…と自動的に付けられます。
- マイクの位置は録音ボタンの上にあります。（参照 2ページ）録音するときは、マイクを音源に近づけてください。

ファイル名を変更／ファイルを削除する

1 「スタート」から「メモ」をタップする

「メモ」の一覧画面が表示されます。

2 変更または削除したいファイル名をタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。

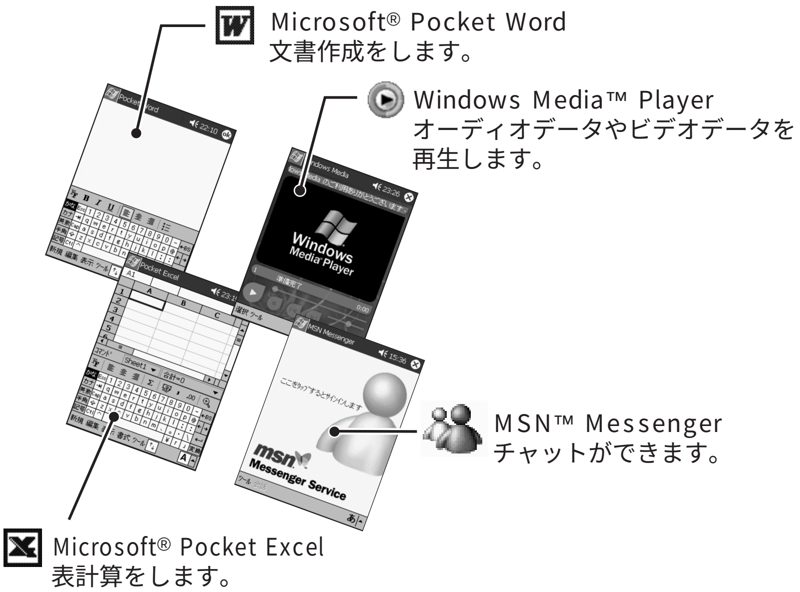


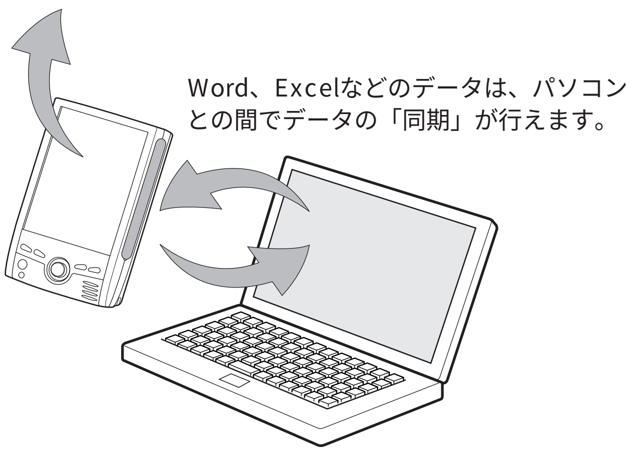
- ファイル名の変更は、メニューから「名前の変更／移動」をタップします。
- 削除するときは、メニューから削除をタップします。

それぞれ画面に従って操作してください。

第5章
アプリケーションプログラム

Word、Excel、メディアプレーヤー、MSN Messenger のアプリケーションを内蔵しています。





豊富なアプリケーション（下記）を付属のコンパニオンＣＤに収めています。

- GENIO-SPEECH
- 辞スパ
- JRトラベルナビゲータ
- EasyViewer
- T-Time
- モバイルアトラス
- ClearVue
- Jeode™
- ｉ-enabler™ & ｉ-navigator™
- Flash™ Player
- FOMAユーティリティ
- 東芝オリジナル壁紙

詳しくは、(参照 190ページ)をご覧ください。

1. Microsoft Pocket Word

Pocket Wordを使って、文字のタイプ入力や手書き入力、描画、録音などを、一つのファイルで保存できます。またActiveSyncを使って本体のPocket Wordファイルをパソコンのwordで開いたり、パソコンのWordファイルやテキストファイルを本体のPocket Wordで開くことができます。

お知らせ

- ActiveSyncを使ってデータを送受信するときは、ActiveSyncの設定が必要です。ActiveSyncについては、(参照 47ページ)をご覧ください。
- 本章では、Pocket Wordの基本操作を説明します。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

文書を作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Word」をタップする

「Pocket Word」文書ファイルの一覧画面が表示されます。

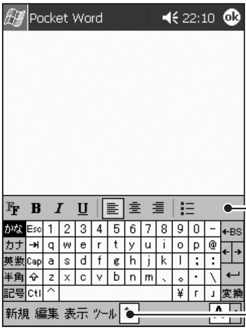
- 文書ファイルが一つもないときは、新規の文書の入力画面が表示されます。操作3へお進みください。



2 画面の左下の「新規」をタップする

文書の入力画面が表示されます。

3 文書を入力する



- 入力モードは、「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の中から選べます。（参照 165ページ）
左の画面は、「入力」を選んだ場合の画面です。

ツールバー
- 文字や行の書式が選べます。

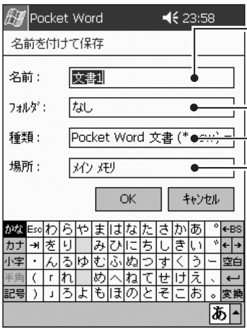
入力パネル

↑↓をタップするとツールバーの表示／非表示を切り替えられます。

4 保存する場合は、画面下の「ツール」メニューから「文書に名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する



新規のときは入力した先頭の文字列が表示されます。

保存するフォルダを選びます。

ファイルの形式を選びます。

保存する場所を選びます。

- メモリカードが挿入されていない場合は、メインメモリしか選べません。

6 「OK」をタップする

作成した文書が保存され、文書の入力画面に戻ります。

お知らせ

- 操作4、操作5をしないで、「OK」をタップすると、開いたファイルと同じフォルダにPocket Word形式で保存されます。
- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Word形式(.psw)で保存したファイルは、パソコン上のWordのバージョンによっては読み込めない場合があります。

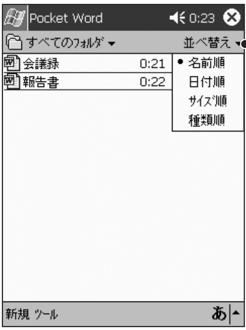
● 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表します。

… Pocket Word形式(.psw)、リッチテキスト形式(.rtf)、Word97/98J/2000/2002形式(.doc)、Word6.0/95形式(.doc)
… テキスト形式(.txt)
… Word97/98J/2000/2002テンプレート形式(.dot)、Word6.0/95テンプレート形式(.dot)

● メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「」がついた状態で表示されます。

文書を変更する

1 文書ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする



タップすると、ファイルの表示順を並び替えることができます。
● ファイルをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示され、ファイルのコピーや削除など様々な操作が行えます。

2 開いたファイルの内容を変更する

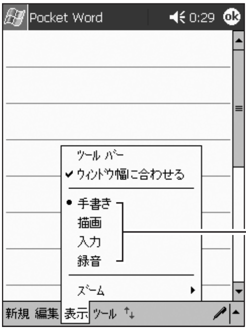
3 ok をタップする

同じファイル名に上書き保存されます。
● ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」メニューから「文書に名前を付けて保存」を選びます。

文書の作成・編集の入力モードについて

Pocket Wordでは、「手書き」、「描画」、「入力」、「録音」の4つのモードを使って入力できます。個別にファイルが作成できるだけではなく、1つのファイル内で4つのモードを切り替えて入力できます。

● 文書の入力画面で、「表示」メニューをタップして、入力モードを選びます。



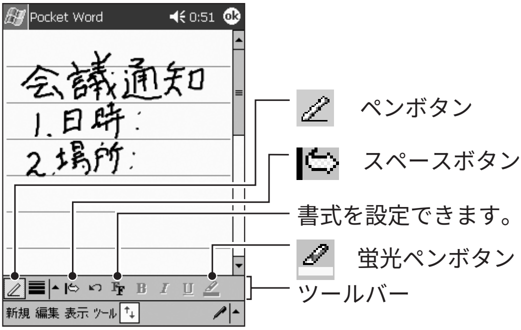
タップして、入力するモードを選びます。

手書きモードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「手書き」をタップする

手書き入力モード画面が表示されます。

2 手書き入力をする



- 画面左下の「ペンボタン」をタップすると、「ペンボタン」の枠あり／枠なしを切り替えられます。

  (枠あり)･･･スタイラスを使って画面に手書きができます。罫線3列以上にまたがって手書きしたものは、図形として認識されます。図形は描画モードで編集できます。(参照 167ページ)

  (枠なし)･･･手書きした文字をドラッグして選択(反転表示)できます。選択した文字は、ツールバーの各ボタンを使って書式を変更できます。

- スペースボタンを使う

  画面上をドラッグして、手書きした文字と文字の間にスペースを入れたり削除したりできます。スペースボタンをタップして枠ありにしてから、スペースを入れたい場所をタップし、そのままドラッグします。ドラッグ方向に矢印が表示されますので、その長さでスペースの量を確認してください。削除するときはスペースを入れたときと逆向きの方向にドラッグします。

- 蛍光ペンボタンを使う

  手書きした文字をドラッグして選択し、蛍光ペンボタン をタップすると、蛍光ペンでマークしたようになります。

描画モードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「描画」をタップする

描画モード画面に切り替わり、画面上にガイドとしてグリッド線が表示されます。

2 図形を描く



描画の線の色を選択できます。
描いた図形の中を、お好みの色で塗りつぶせます。
書式を設定できます。
2つ以上の図形を選択している場合、「左揃え」や「上詰め」など、配置を揃えたり変更できます。
2つ以上の図形を選択して、タップすると1つのグループにできます。

画面下のペンボタンをタップすると、描画モードが切り替わります。

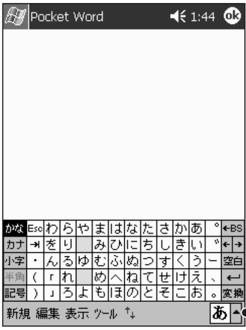
（枠あり）･･･スタイラスを使って画面に図形が描けます。

（枠なし）･･･ タップして図形を選択できます。ドラッグすると複数の図形をまとめて選択できます。選択した図形は、「■」の部分をドラッグして変形させることができます。「●」の部分をドラッグすると回転します。選択した状態で図形の内側をドラッグすると、移動します。

入力モードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「入力」をタップする

入力画面が表示されます。

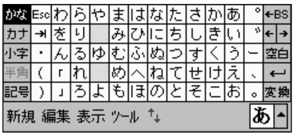


入力パネル切り替えボタン

2 入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、「入力」モードを選択する

「入力」モードには、「ひらがな／カタカナ」、「ローマ字／かな」、「手書き検索」、「手書き入力」の4つがあります。

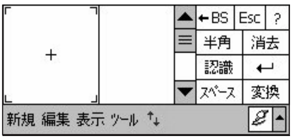
「ひらがな／カタカナ」



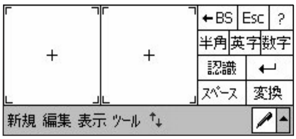
「ローマ字／かな」



「手書き検索」



「手書き入力」



3 文字を入力する

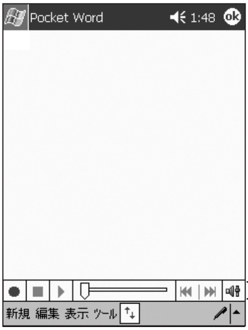
お知らせ

- 文字入力の詳細については、「文字の入力のしかた」（参照 35ページ）をご覧ください。

録音モードを使う

1 文書の入力画面で、「表示」メニューから「録音」をタップする

録音入力画面が表示されます。



録音ツールバー

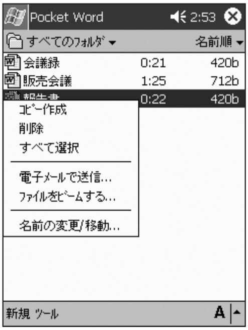
2 録音する

- 録音ツールバーの「●」をタップすると録音を開始します。
- 「■」をタップすると録音を終了し、画面に 🔈 が表示されます。
- 🔈 をタップすると、録音した音声が再生されます。

文書ファイルを電子メールで送信する

1　文書ファイル一覧画面で、送信したい文書ファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。



2　ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3　宛先、件名、メッセージを入力する



タップすると、作成したメッセージを送信します。

タップすると、電子メールアドレスを登録してある人の一覧が表示されます。

メッセージを入力します。

添付する文書ファイルの名前と形式が表示されます。

4　「送信」をタップする

「送信トレイ」フォルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 131ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です。
  （参照 120ページ）
- ファイルを開いている状態で「ツール」メニューから「電子メールで送信」を選んでも送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとの間でのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Word形式(.psw)からWord形式(.doc)に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Word形式(.doc)からPocket Word形式(.psw)に自動的に変換されます。
  - ・ページ設定、脚注、罫線などの情報は削除されます。
  - ・文書に保存されているマクロやハイパーリンクは削除されます。
  - ・文書に挿入してあるExcelワークシートのオブジェクトは図に変換されます。

お知らせ

- 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 48ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとの間でのファイル交換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Wordのヘルプをご覧ください。

2. Microsoft Pocket Excel

Pocket Excelでは簡単な計算から関数計算まで様々な計算や表組機能が使えます。Pocket Excelのファイルはブックと呼ばれ、パソコンのExcelとファイルの交換もできます。

ファイルを作成する

1 「スタート」の「プログラム」から「Pocket Excel」をタップする

「Pocket Excel」のファイルの一覧画面が表示されます。

● ファイル（ブック）が一つもないときは、新規の入力画面が表示されます。操作3へお進みください。



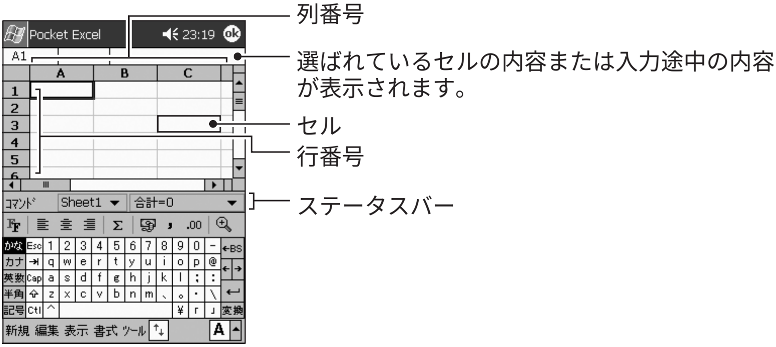
2 「新規」をタップする

入力画面が表示されます。

3 入力する

入力したいセルを選び、入力します。

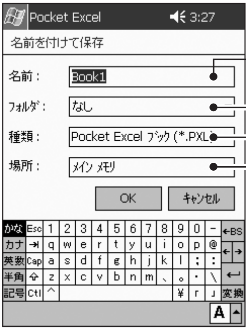
● 入力するには入力パネル切り替えボタンの▲をタップして、入力パネルを選択します。



4 保存する場合は、「ツール」メニューから「ブックに名前を付けて保存」をタップする

「名前を付けて保存」の画面が表示されます。

5 ファイル名やファイル形式などを入力する



新規のときは「Book・」が表示されます。

保存するフォルダを選びます。

ファイルの形式を選びます。

保存する場所を選びます。

- メモリカードが挿入されていない場合は、メインメモリしか選べません。

6 「OK」をタップする

作成したファイルが保存され、文章の入力画面に戻ります。

お知らせ

- 電子メールで添付ファイルとして送信する場合は、送信先の環境に応じたファイル形式で保存してください。Pocket Excelブック形式(.pxl)で保存したファイルは、パソコン上のExcelのバージョンによっては読み込めない場合があります。
- 一覧画面に表示されるファイルのアイコンは次のファイル形式を表わします。

 …Pocket Excel形式(.pxl)、Excel 97/2000/2002形式(.xls)、Excel5.0/95形式(.xls)

 …Pocket Excelテンプレート形式(.pxt)、Excel97/2000/2002テンプレート形式(.xlt)、Excel5.0/95テンプレート形式(.xlt)

- メモリカードに保存したファイルのアイコンは、「 」がついた状態で表示されます。

ファイルを変更する

1 ファイルの一覧画面で、変更したいファイルをタップする

選んだファイルが開きます。

2 内容を変更する

3 画面右上の ok をタップする

同じファイル名に上書き保存されます。

- ファイル名やファイル形式を変更したいときは、「ツール」メニューから、「ブックに名前を付けて保存」をタップして変更します。

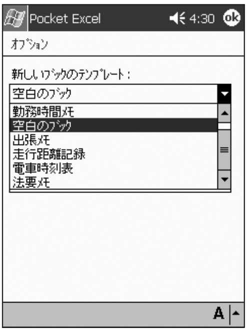
テンプレートを利用する

新規ファイルを作成するとき、「家計簿」や「出張メモ」などのあらかじめ用意されているテンプレートを利用すると便利です。

1 ファイルの一覧画面で、「ツール」メニューから「オプション」をタップする

「オプション」の画面が表示されます。

2 「新しいブックのテンプレート」入力欄の▼をタップし、表示された一覧から使いたいテンプレートをタップする



3 ok をタップする

ファイルの一覧画面に戻ります。

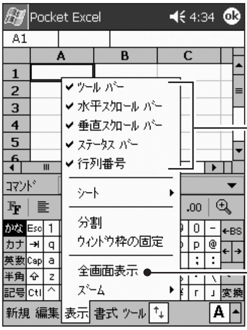
- これ以降「新規」をタップするたびに、選択されたテンプレートが開きます。
- テンプレートを使用して保存しても、元のテンプレートには上書きされません。

画面表示を設定する

入力画面で、入力しやすいように「ツールバー」や「スクロールバー」、「行列番号」の画面表示/非表示などを設定できます。

1 入力画面で「表示」メニューをタップする

「表示」のメニューが開きます。画面表示/非表示したい項目をタップしてください。



タップするごとに表示/非表示が切り替わります。

● ✓ チェックが付いている項目が表示されます。

タップすると、ツールバーやスクロールバーなどがすべて消えて広く使えます。全画面表示を終了するにはもう一度タップするか「元に戻す」をタップします。

パスワードを設定する

他人に見られたくないファイルに、パスワードを設定できます。

1 入力画面で「編集」メニューをタップする

「編集」メニューが開きます。

2 「パスワード」をタップする

「パスワードの設定／変更」の画面が表示されます。

- 現在、作成・編集中のファイルに「パスワード」を設定します。
- パスワードが設定されているファイルは、パスワードを入力しないと、ファイルを開けません。

3 パスワードを設定し、ok をタップする

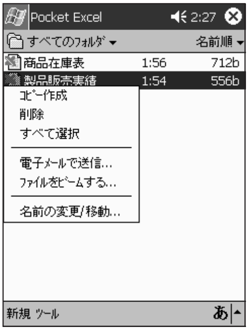
ご注意

- **パスワードを忘れると、ファイルが開けなくなりますので、ご注意ください。パスワードは忘れないように控えておいてください。**
- 設定したパスワードを解除するときは、入力画面で「編集」メニューから「パスワード」を選び、設定されているパスワードを削除します。

ファイルを電子メールで送信する

1 ファイルの一覧画面で、送信したいファイルをタップアンドホールドする

ポップアップメニューが表示されます。



2 ポップアップメニューの「電子メールで送信」をタップする

「受信トレイ」が起動して、選択した文書ファイルを添付した新規の送信メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先、件名、メッセージを入力する。



タップすると、作成したメッセージを送信します。

タップすると、電子メールアドレスを登録してある人の一覧が表示されます。

メッセージを入力します。

添付するファイルの名前と形式が表示されます。

4 「送信」をタップする

「送信トレイ」ファルダに保存され、メールサーバーに接続したときに、送信されます。

● 詳しくは「メールを送受信する」（参照 131ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 送信する相手の環境に応じたファイル形式で送信してください。
- 電子メールを送信するには、受信トレイの設定が必要です。（参照 120ページ）
- ファイルを開いている状態で「ツール」メニューから「電子メールで送信」を選んでも、送信メッセージ作成画面が表示されます。

パソコンとの間でのファイル交換について

本体とパソコンを接続すると、ActiveSyncを使って、本体とパソコンとの間でファイルの交換ができます。
ファイルの交換によってファイル形式などが次のようになります。

- 本体からパソコンへ文書ファイルを転送すると、Pocket Excel形式（.pxl）からExcel形式（.xls）に自動的に変換されます。この場合、すべての書式情報がそのまま変換されます。
- パソコンから本体へ文書ファイルを転送すると、Excel形式（.xls）からPocket Excel形式（.pxl）に自動的に変換されます。
  - ・罫線はすべて１本線の罫線に変換されます。
  - ・グラフ、マクロシート、VBAモジュール、ダイアログシートは空白のワークシートに置き換えられます。
  - ・Pocket Excelがサポートしていない式は、値に変換されます。
  - ・次の情報は削除されます。
    アドイン、描画オブジェクト、OLEオブジェクト、グラフ、シート（ブック）の保護、オートフィルタ、ハイパーリンク

お知らせ

- 本体とパソコンとの接続のしかたは（参照 48ページ）をご覧ください。
- 本体とパソコンとの間でのファイル変換について、詳しくはActiveSyncまたは、Pocket Excelのヘルプをご覧ください。
- パスワードが設定されているファイルは、交換の途中でパスワードの確認（入力）が必要になります。

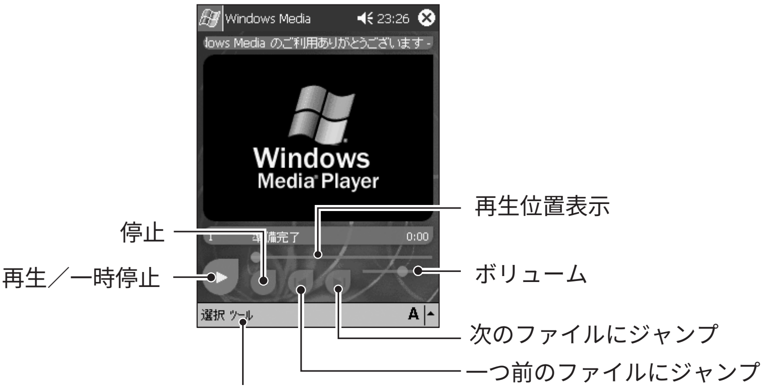
3. Windows Media Player

「Windows Media Player」では、ＭＰ3形式または「Windows Media Audio (WMA)」形式のオーディオファイル(曲)や「Windows Media Video(WMＶ)」形式のビデオファイル(動画)を再生できます。
オーディオファイルやビデオファイルは、パソコンから本体やメモリカードに「ActiveSync」を使って転送します。転送先はMy Documentsフォルダです。メモリカードには、あらかじめMy Documentsフォルダを作成しておいてください。転送時にはパソコンにWindows Media Player 7以降のソフトをインストールしておく必要があります。

プレーヤー画面について

1 「スタート」から「Windows Media」をタップする

「Windows Media Player」のプレーヤー画面が表示されます。



「ツール」メニューからは、連続再生やシャッフル、または細かい設定などが選べます。(参照 183ページ)

お知らせ

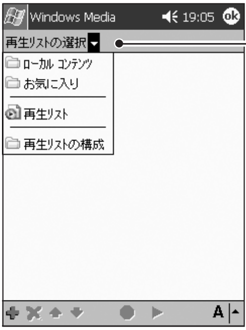
- 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化(CPRM)には対応していません。
- 再生中は、本体のオートパワーオフ機能は働きません。

再生リストを作成する

再生したいファイルを集めて再生リストを作ると、再生リスト内のファイルを続けて再生できます。

1 プレーヤー画面で「選択」メニューをタップする

再生リストの選択画面が表示されます。

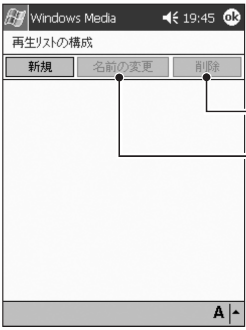


タップすると、再生リストの一覧が表示されます。

- ローカルコンテンツには、本体やメモリカードにあるすべてのオーディオファイルやビデオファイルが含まれます。

2 再生リストの一覧から「再生リストの構成」をタップする

再生リストの作成画面が表示されます。

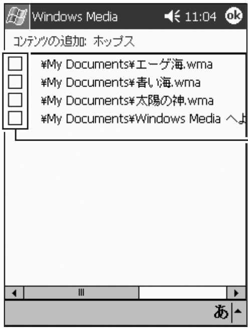


タップすると、選んだ再生リストを削除します。

タップすると、作成済みの再生リストの名前を変更します。

3 「新規」をタップし、作成する再生リストの名前を入力して、ⓞⓚをタップする

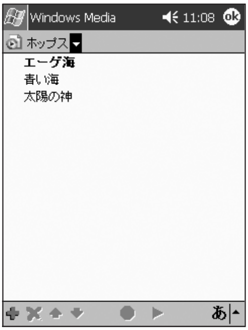
再生できるファイルの一覧画面が表示されます。



チェックしたファイルが再生リストに入ります。

4 再生リストに入れるファイルのボックスをチェックして、ⓞⓚをタップする

再生リストの画面が表示されます。



⬆ ⬇ ：選んだファイルを上または下に移動します。通常、上から順に再生します。

✕ ：選んだファイルをリストから削除します。

✚ ：ファイルを追加します。

● 再生したいファイルをタップして、▶をタップすると、そのファイルから再生が始まります。

5 ⓞⓚをタップする

プレーヤー画面に戻ります。

再生リストを使って再生する

1 プレーヤー画面で「選択」メニューをタップする

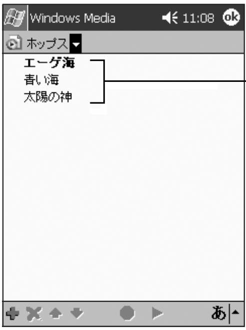
再生リストの選択画面が表示されます。



タップすると、再生リストの一覧が表示されます。

作成した再生リストが表示されます。
（作成していないときは表示されません）

2 再生したい再生リストをタップする



再生リストに含まれるファイルの一覧が表示されます。

3 ok をタップする

プレーヤー画面に戻ります。

4 プレーヤー画面で▶をタップする

選んだ再生リスト内の一番上のファイルから再生が始まります。

- このあと他のプログラムに切り替えても再生は継続されます。再生を継続したくない場合は、「ツール」メニューの「設定」から「オーディオとビデオ」をタップし、バックグラウンド再生を「一時停止」にします。

お知らせ

- パソコンで表示できる動画データでも、Windows Media Player for Pocket PCではそのまま再生できないデータがあります。この場合は、Microsoft社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/）からデータ変換を行うプログラム、Windows Mediaエンコーダをパソコンにダウンロードして、パソコン上でデータを変換してください。（2002年4月現在）
  Windows Mediaエンコーダについては、Microsoft社にお問い合わせください。

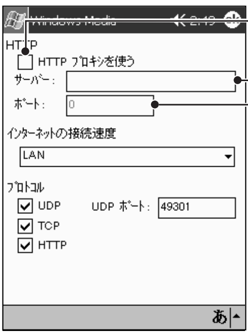
ネットワーク上の動画ファイルを再生するには

ネットワーク上の動画ファイルを再生するには、以下の設定が必要です。

1　プレーヤー画面中「ツール」メニューから「設定」の「ネットワーク」をタップする

ネットワークの設定画面が表示されます。

2　「サーバー」と「ポート」を入力し、「HTTPプロキシを使う」をチェックする



ここをチェックすると、設定した内容でHTTPプロキシを使えます。

ご利用いただけるプロキシサーバー名を入力してください。

ご利用いただけるポート番号を入力してください。

- プロキシサーバーやポート番号については、ご加入のプロバイダにお問い合わせください。

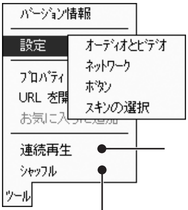
3　ok をタップする

設定が保存され、プレーヤー画面に戻ります。

「ツール」メニュー

プレーヤー画面から「ツール」メニューが選べます。

● 詳しくはヘルプをご覧ください。



タップして、チェックすると選んだ再生リストのファイルを連続で再生します。

タップして、チェックすると選んだ再生リストのファイルをシャッフルで再生します。

再生中の画面表示をＯＮ／ＯＦＦする

電池の使用時間を長くするため、再生中は画面表示をOFFにしてください。

1 **「ツール」メニューの「設定」から「ボタン」をタップする**

2 **機能の設定で「画面表示オン/オフ」を選ぶ**

3 **その機能を割り当てたいプログラムボタンを押す**

画面に割り当てたプログラムボタン名と機能名が表示されます。

●リモコン付きイヤホン（別売品）に割り当てることもできます。

4 **ⓞⓚをタップする**

以上の設定操作をした後、割り当てたプログラムボタンを押すごとに画面表示がＯＮ/ＯＦＦします。

4. MSN Messenger

「MSN Messenger」はインスタントメッセージングプログラムで、次のような使いかたができます。

- 誰がオンラインで接続されているか見る。
- 登録したメンバでインスタントメッセージを送受信する。
- メンバのグループとインスタントメッセージで会話する。

MSN Messengerを使用するには、インターネットに接続しておく必要があります。詳細については、「インターネットの接続設定」(参照 104ページ)をご覧ください。
さらに、Microsoft Passportのアカウントか、Microsoft Exchangeの電子メールアカウントが必要です。HotmailやMSNアカウントがある場合、Passportはすでに取得されています。

お知らせ

- Microsoft Passportのアカウントはhttp://www.passport.com/でサインアップします。Hotmailの無料電子メールアドレスは、http://www.hotmail.com/で取得できます。(2002年4月現在)

MSN Messengerをセットアップする

接続する前に、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力する必要があります。

1 「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする

「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。



2 **「ツール」メニューから「オプション」をタップする**

3 **「アカウント」をタップし、PassportまたはExchangeのアカウント情報を入力し、ⓞⓚをタップする**



電子メールアドレスとパスワードを入力します。

最初にサインインするアカウントを選びます。

● ⓞⓚをタップするとサインイン画面に戻ります。

MSN Messengerを使う

1 **「スタート」の「プログラム」から「MSN Messenger」をタップする**

「MSN Messenger」のサインイン画面が表示されます。

2 **サインイン画面をタップして、「サインイン」をタップする**



アカウントを設定すると自動的に表示されます。

アカウントを設定すると自動的に表示されます。

タップします。

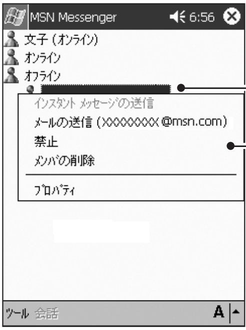
サインインが終わると、MSN Messengerのメイン画面が表示されます。

第5章

4・MSN Messenger

メンバの操作

MSN Messengerのメイン画面には、すべてのメンバが「オンライン」と「オフライン」の分類項目に分かれて、一目でわかるように表示されます。タップアンドホールドしてポップアップメニューから、チャット、電子メールメッセージの送信、メンバの禁止、メンバの削除などを行うことができます。



メンバをタップするとチャットを開始します。

タップアンドホールドするとポップアップメニューが表示されます。

お知らせ

- パソコンですでにMSN Messengerを使用している場合、メンバを追加しなくても、画面にメンバが表示されます。
- メンバを禁止した場合、禁止された側の一覧には、禁止した側の表示がオフラインとして残ります。メンバの禁止を解除するには、そのメンバをタップアンドホールドし、ポップアップメニューから「禁止の解除」をタップします。

メンバの追加

1 **「ツール」メニューから「メンバの追加」をタップする**

2 **追加メンバのサインイン名を入力し、「次へ」をタップする**



チャットや電子メールメッセージを送りたいメンバの電子メールアドレスを入力します。

タップします。

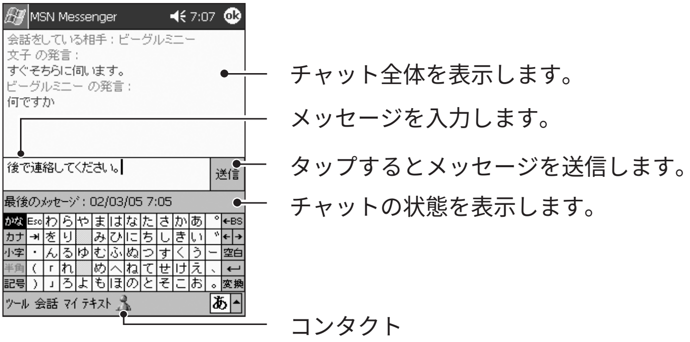
3 **画面の指示に従って設定する**

メンバとチャットする

1 MSN Messengerのメイン画面で、チャットをしたいメンバの名前をタップする

チャット画面が開きます。

2 テキストボックスにメッセージを入力し、「送信」をタップする



お知らせ

- コマンドバーの「マイテキスト」をタップすると、よく使うメッセージを選んで入力できます。
- チャットを閉じずにメイン画面に戻るには、「コンタクト」をタップします。チャット画面に戻るには、「会話」をタップし、チャットをしていた相手を選択します。
- 進行中のチャットに招待するには、「ツール」メニューで「招待」をタップし、招待したいメンバをタップします。

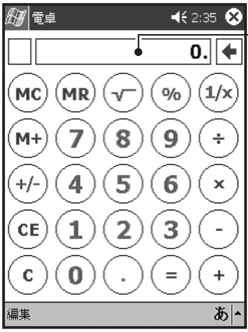
5. 電　卓

9桁の計算ができます。

計算する

1 「スタート」の「プログラム」から「電卓」をタップする

「電卓」の画面が表示されます。



2 画面をタップして、計算する

- 計算を実行するには、「=」をタップします。
- 入力パネルを使って数値を入力しても計算できます。
- 計算をクリアするには、「C」をタップします。
- 表示されている数値をクリアするには、「ＣＥ」をタップします。
- 複数桁の最後の桁をクリアするには、入力ボックスの右側矢印をタップします。

数値を保存する

数値を保存するには、入力ボックスの左側のボックスをタップして、「M」を表示させます。

- 表示されている数値をメモリ内の数値に加算するには、「Ｍ＋」をタップします。
- メモリ内の数値を表示するには、「ＭＲ」をタップします。
- メモリをクリアするには、「ＭＣ」をタップします。

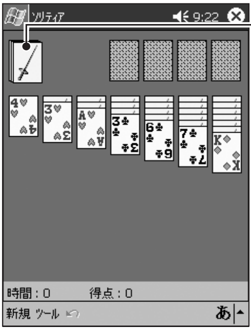
6. ソリティア

カードゲームです。すべてのカードを積み重ねたら勝ちです。

ゲームで遊ぶ

1 **「スタート」の「プログラム」から「ゲーム」の「ソリティア」をタップする**

「ソリティア」画面が表示されます。



2 **山札をタップして、山札をめくる**

- 画面をタップすると時間がスタートします。

3 **数字が小さくなる並びで赤と黒が交互になるように、カードをドラッグして移動し、重ねる（例：赤4の上に黒3を重ねられます。）**

4 **組札のところにエースを移動し、同種類のキングまでを数字が大きくなる並びで積み重ねていく**

- 組札にすべてのカードを積み重ねたら勝ちです。
- カードを移動して、場札の一番上のカードが裏になったら、場札をタップしてめくります。
- キングは、場札の空の列に移動できます。
- 重ねたカードは、まとめて移動できます。
- 移動したカードを元に戻すには、をタップします。
- 移動するカードが無くなったら、また山札をめくります。
- 「新規」をタップすると、カードを配り直します。

オプションを変更する

ゲームの遊び方の変更ができます。

「ツール」メニューから「オプション」をタップします。

- カード（山札）のめくり方を「1枚ずつ」か「3枚ずつ」に変更できます。
- 得点の付け方を「点数方式」か「金額方式」または「なし」に変更できます。得点の付け方は、オンラインヘルプをご覧ください。
- 時間制や得点表示ありのチェックをはずすと、時間や得点の表示は消えます。
- カードの模様を選べます。

7. 付属のコンパニオンＣＤについて

付属のコンパニオンＣＤには、以下のようなアプリケーションプログラムが、モバイル性/エンターテイメント/ツール/ビューアの4つのタブに分類されて収められています。本体にインストールしてお使いください。

モバイル性タブ

■ ＪＲトラベルナビゲータ

鉄道や空港の乗り継ぎ経路を検索します。出発地と目的地を入力するだけで路線検索が可能です。出発時刻を指定すると、おおまかな到着予定時刻も調べられます。

■ モバイルアトラス

地図を表示します。目的の場所を住所で検索、駅名で検索できます。目的地周辺の飲食店やレジャー施設などを調べることができます。よく利用する場所をブックマークで登録しておくと、ワンタッチ操作で表示できます。行き先までの直線距離が表示できます。CF型GPS受信機を本体にセットすれば、自分の位置を確認することができます。

エンターテイメントタブ

■ Flash™ Player

Macromedia Flashで作成されたコンテンツを再生します。

■ ｉ-enabler™ ＆ ｉ-navigator™

非公式サイトのｉアプリをダウンロードして、本体で楽しむことができます。
動作させるためには、本コンパニオンCDのJeode™も同時にインストールが必要です。

ツールタブ

■FOMAユーティリティ

FOMA携帯電話を本体に接続して（参照 20ページ）、FOMA携帯電話のメモリダイヤルデータと、本体の連絡先のデータのやりとりができます。

■GENIO-SPEECH

受信したメールやテキストファイルなどを、音声で読み上げることができます。T-Timeの書籍ファイルも読み上げられます。読み上げるときのトーンやスピードを変えることができます。

■Jeode™

Java™アプリケーションを動作させることができます。
（Personal Java™1.2互換、JDK1.1.8準拠）

■辞スパ

英和、和英、国語の3つの辞書から成っています。英和 65,000語、和英 36,000語、国語 41,000語を収録しています。

■東芝オリジナル壁紙

「ホーム」画面の背景に使用します。

ビューアタブ

■ClearVue

PowerPoint®、Excel、Word形式のファイルを変換することなく表示することができます。Eメール添付のファイルや、インターネットからダウンロードした文章を見ることができます。

■EasyViewer

JPEG形式、ビットマップ形式、Flash Pix形式の画像の表示や、Windows Media Player対応ファイルの再生をすることができます。本体メモリ、およびメモリカードのファイルに対応しています。

■T-Time

電子ブックリーダです。ドットブック(.book)形式、テキスト形式、HTML形式の文章を、書籍のように読むことができます。JPEGとPNG形式の画像ファイルも表示できます。ページ縮尺、行間調整、書体変更、縦書/横書表示、付箋などの機能があります。

付属アプリのインストール方法

コンパニオンCDに収められているアプリケーションプログラムを使うためには、次の操作手順でインストールをしてください。

1 本体とパソコンを接続する

（参照 17、46ページ）

2 コンパニオンCDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

メインメニュー画面が表示されます。

3 「Pocket PCをさらに使いやすく」を選んで、画面左側に表示されたアプリの分類タブの中の1つを選んで、インストールしたいアプリをクリックする

画面の指示に従ってインストールをしてください。

お知らせ

- コンパニオンCDの自動起動画面には、Flash形式の画像が使われています。
  このためお使いのInternet Explorerに、Macromedia Flashがプラグインされていないと、Macromedia Flashをインストールするための接続確認画面が表示されます。
  Flash形式の画像を表示したい場合は、インターネットに接続できる環境にして、再接続を選択し、Macromedia Flashをインストールしてください。
  Flash形式の画像が非表示で構わない場合は、オフラインを選択してください。なおオフラインを選択後、メインメニュー表示まで数秒かかります。この間は、パソコンの操作を行わないでください。

- 付属品のコンパニオンCDに入っているMicrosoft® Windows Media™ Player 8 for Pocket PCは、本体にインストールしないでください。本体には、既にMicrosoft Media™ Playerがインストールされています。
  誤ってコンパニオンCDに入っているMicrosoft® Windows Media™ Player 8 for Pocket PCをインストールすると、リモコン付きイヤホン（別売品）が正常に動作しなくなります。
  その場合は本体を初期化して、インストールしたMicrosoft® Windows Media™ Player 8 for Pocket PCを消去してください。
  初期化すると本体内メモリに保存したデータ等が消去されますので、必要なデータ等は事前に控えをとっておいてください。

第6章
困ったときは

1. Q&A

電源

1.電源ボタンを押しても電源が入らない？

- 内蔵電池が消耗しきっています。充電を行ってください。
- バッテリスイッチが「停止」になっています。「供給」側に移動してください。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。
  リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。(参照 215ページ)

2.急に電源が切れた？

- 内蔵電池が消耗しきりました。充電を行ってください。
- オートパワーオフ(自動サスペンド)が働きました。電源が切れるまでの時間を変えるときは、「スタート」→「設定」→「システム」タブから、「パワーマネージメント」→「コントロール」タブをタップし、設定してください。内蔵電池使用時とACアダプタ使用時で、それぞれ設定できます。

3.充電しても使用時間が著しく短いのですが？

- 持ち運び時にプログラムボタンなどが押されて、電源が入ってしまった可能性があります。持ち運び時には、プログラムボタンなどが押されないように気をつけてください。
  プログラムボタンを押しても、電源が入らないように設定することもできます。(参照 67ページ)
- 内蔵電池の寿命などが考えられます。新しい内蔵電池への交換を、お買い上げの販売店または東芝GENIO eカスタマセンタにご依頼ください。

4.使用しながら充電できますか？

ACアダプタを接続していれば、使用しながら充電できます。

5.本体内にバックアップ用の予備電池などが入っていますか？

入っておりません。ただし、内蔵電池の充電残量がわずかになり電源がONできなくなった時点から、約75時間はメモリを保持します。メモリ保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。

6.予備用に内蔵電池(バッテリ)を購入できますか？

内蔵電池(バッテリ)は、お客様自身で交換できないようになっていますので、 販売しておりません。

画面、フロントライト

1. 画面(ディスプレイ)の一部に、非点灯・常時点灯などの点があるのですが？

ディスプレイの一部に非点灯・常時点灯などの点が存在することがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。
ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていて、非点灯・常時点灯などの点を少量に抑えるように管理していますが、現在の技術水準でも完全になくすことは困難ですので、ご了承ください。

2. 画面が暗い？

- フロントライトがOFFになっています。電源ボタンを長く押してONにしてください。
- 内蔵電池の充電残量が少なくなっています。70%以下のときは、フロントライトを電池残量に応じて暗くし、電池の消耗を抑えます。充電を行ってください。

3. 画面が暗くなった？

- 設定した未使用時間を超えたため、フロントライトが消灯しました。再び使用すると、フロントライトはONになります。
- 内蔵電池の充電残量が少なくなりました。10%以下になるとフロントライトを消灯し、電池の消耗を抑えます。充電を行ってください。

4. フロントライトのON/OFFを任意に切り替えることはできますか？

フロントライトは、電源ボタンを長押しすることでON/OFF を手軽に切り替えることができます。また「スタート」→「設定」→「システム」をタップし、「フロントライト」で明るさのレベルを「省電力」側(左端)に設定すればOFFすることができます。内蔵電池使用時とACアダプタ使用時でそれぞれ設定してください。

5. 画面を見やすい明るさにしたい？

「スタート」→「設定」→「システム」タブから「フロントライト」をタップし、明るさのレベル「9段階＋省電力(消灯)」の中から、見やすい明るさを選択してください。

6. 画面をタップしても正しく応答しない？

- タッチスクリーンの設定が正しく調整されていません。「スタート」→「設定」→「システム」タブから「画面」をタップし、タッチスクリーンの補正を行ってください。
- 静電気などの影響で、タッチスクリーンの誤作動が起きている可能性があります。本体をリセットしてください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。(参照 215ページ)

7. 画面をタップした時の反応が極端に遅い。動作がおかしい？

- メモリ容量が不足していると思われます。使用していないプログラムの終了処理を行って、メモリ容量を確保してください。
  プログラムの終了方法は、「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」の「実行中プログラム」で、プログラムを終了してください。または「ホーム」の実行中タブで、プログラムの終了処理を行ってください。
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 215ページ）

8. 画面がロックして動かないのですが？

何らかの異常が発生した可能性があります。本体をリセットしてください。リセットしても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 215ページ）

9. 画面（液晶パネル）のサイズはどのくらいですか？

液晶パネルのサイズは、4.0型です。

メモリカード

1. 本体メモリを拡張することはできますか？

本体メモリを拡張することはできませんが、SDメモリカードやコンパクトフラッシュメモリカードなどを、データ保存用のメモリとしてご利用できます。

2. メモリカードを増設したのですが、本体メモリ容量が変わらないのですが？

メモリカードを増設しても、本体メモリ容量は変化しません。メモリカードは、プログラムのインストール先、データ保存先としてご利用ください。

3. SDメモリカードまたはコンパクトフラッシュメモリカードに、アプリケーションをインストールすることはできますか？

アプリケーションによっては、メモリカードに保存して、そこから起動することもできます。
これはアプリケーションに依存しますので、ソフトメーカにご確認ください。

4. SD/CFカードスロット両方にメモリカードをセットして、同時に使えますか？

使えます。コンパクトフラッシュメモリカードは「CF Card」と、SDメモリカードは「SD Card」と表示されます。

5. メモリカードの残り容量はどのように調べたらよいですか？

メモリカードの使用状況は、「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」をタップし、「メモリカード」で調べることができます。

6. SDカードスロットはMMCカードに対応していますか?

当社で動作確認をしているMMCカードがありますので、カタログ等でご確認ください。ただし、当社にて動作保証をするものではありませんので、ご了承ください。

7. メモリカードを使用中に本体の電源を切っても大丈夫ですか？

メモリカードに本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。カードが破損する場合があります。

8. メモリカードを使用してファイルのコピーをしているとき、間違って本体の電源を切ってしまったのですが？

コピーをやり直してください。電源を入れた後、メモリカードのフォルダが表示されなくなったときは、カードをいったん本体から取り出し、再度取り付けてみてください。

操作全般

1. プログラムが起動しない？

内蔵電池の充電量が不足しています。不足しているとプログラムによっては起動しません。充電を行ってください。

2. 操作の反応が遅い？

- メモリ容量が不足しています。使っていないアプリケーションを終了させて、メモリ容量を確保してください。
- 「プロセッサ設定」で動作速度が遅い速度に設定されています。速い動作速度に設定してください。（参照 69ページ）
- 何らかの異常です。リセットを行ってください。リセットを行っても状態が変化しないときは、初期化を行ってください。（参照 215ページ）

3. 起動時にパスワードを設定することはできますか？

パスワードは、「スタート」→「設定」→「個人用」をタップし、「パスワード」で設定することができます。4桁の数字、または7桁以上の英数字のパスワードで設定することができます。

4. スタートメニューに表示される項目を編集することはできますか？

スタートメニューに表示される項目は、「スタート」→「設定」→「個人用」をタップし、メニューで編集することができます。

5. 従来機種のGENIO eや他社のPocket PC（以下他のPocket PCと呼ぶ）でバックアップを取ったデータを、この本体にリストアすることはできますか？

できません。リストア操作を実行しても、正常にデータが戻りません。(当社では、このような操作を行った場合に発生するいかなる問題にも責任は負いませんので、あらかじめご了承ください。)

他のPocket　PCのデータを、この本体に取り込む場合には、まずActiveSyncを使用して他のPocket PCとパソコンで同期を取ってください。（同期を取る項目は、事前にパソコンのActiveSync側で設定しておいてください。）次に、この本体とパソコンで同期を取り、必要なデータをこの本体に取り込んでください。

6. 本体の時間を設定しても、すぐにずれてしまうのですが？

標準設定では、パソコンのActiveSyncにおいて「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」項目にチェックが付いています。このため本体とパソコンの同期を取ると、パソコンの日時に自動的に変更されます。この機能を無効にするか、パソコンの時間を正しく設定してください。

【無効にする操作方法】

パソコンのActiveSyncの「ツール」→「オプション」をクリックし、「接続時にモバイルデバイスの時刻をPCの時刻と同期する」のチェックをはずします。

7. マイクロドライブやメモリカードなどを使用しているときに、本体の電源を切っても大丈夫ですか？

マイクロドライブやメモリカードなどを使用中で、本体からアクセスしているときは、絶対に本体の電源を切らないでください。ドライブやカードが破損する場合があります。

文字入力

1. 半角英文字を入力すると、先頭の文字が大文字になってしまうのですが？

標準設定では、文字入力の設定が「英文の最初の文字を大文字にする」となっています。

以下の操作でこの設定を無効にすることができます。

1. 「スタート」→「設定」を選択する
2. 「入力」アイコンをタップする
3. 「オプション」タブをタップする
4. 「英文の最初の文字を大文字にする」のチェックボックスのチェックをはずす
5. 「OK」をタップする
6. 文字入力を行うアプリケーションを一度終了し、再起動する

2. 手書き文字入力をする際の変換を速くできませんか？

以下の操作で速くすることができます。

1「スタート」→「設定」を選択する
2「入力」アイコンをタップする
3「入力方法」の「▼」をタップし、「手書き入力」を選択する
4「オプション」ボタンをタップする
5「タイムアウト値」を“ 1 ”に設定する
● 標準設定では“ 2 ”に設定されています。
6「OK」をタップする
7 再度「OK」をタップする
8 本体をリセットする

Today

1. 作成した覚えのない未送信メッセージが数通登録されているのですが？

予定表で新規に予定を作成する時に会議出席者を選択しておくと、会議出席者のメールアドレスにメールが送信されます。 また、会議の予定を変更/削除した場合に「この会議の変更内容を出席者に連絡しますか？」というメッセージが表示されますが、この問いに対して「はい」と回答すると、「更新」/「キャンセル」のメールが会議出席者に送信されます。 このメールが受信トレイの「送信トレイ」に保存されています。
本体の標準設定では、受信トレイの「表示」メニューから「ActiveSync」を選択して「送信トレイ」を開くと、このとき作成され、未送信のメールを確認することができます。

同期(ActiveSync)

1. USBドライバは働いていますが、パソコンとUSB接続できないのですが？

本体の「スタート」→「ActiveSync」→「ツール」→「オプション」をタップし、「クレイドルにドッキングしたときに次の接続速度で同期する」がチェックされていて、「USB」が選択されていることを確認してください。

2. ActiveSyncのセットアップはできましたが、同期が取れないのですが？

以下の操作、確認をしてください。

- 「パソコンとの接続のしかた」(参照 17ページ)をご覧いただき、パソコンに本体が正しく接続されているかどうかを確認してください。
- パソコンのActiveSyncを起動し、「ファイル」→「接続の設定」をクリックしてください。
「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」、あるいは「USB接続をこのPCで有効にする」にチェックが付いていることを確認してください。
- 複数のアプリケーション(プログラム)を起動している場合は、起動しているアプリケーションを全て終了してから操作してください。(参照 210ページ)また、一度本体をリセットしてから操作してください。
- パソコンを再起動してください。

第6章
1・Q&A

【USB接続の場合】

- USBハブを経由して本体のクレードルを接続する場合は、電源の付いたUSBハブを利用してください。電源なしのUSBハブをご使用の場合は、パソコンに直接USBクレードルを接続してください。
- USBポートが複数存在するパソコンをご使用の場合は、別のUSBポートに接続してみてください。

3. ActiveSyncで接続すると「同期完了」と表示されずに「要確認」と表示されてしまうのですが？

以下の操作をしてください。

- パソコンのActiveSyncを起動して、「ツール」→「オプション」をクリックし、「規則」タブをクリックしてください。「競合の解決」の選択項目を変更してください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接USBクレードルを接続してください。
- LANで同期を取っている場合には、USBクレードルを使用して同期を取ってみてください。
- パソコンのActiveSyncを起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。 削除が完了したら、再度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

4. 同期がうまく取れなくなってしまったのですが？

以下の操作をしてください。

- 複数のアプリケーション（プログラム）を起動している場合は、起動しているアプリケーションをすべて終了してから操作してください。（参照 210ページ）
- 同期中にケーブルを抜いたり、本体をクレードルから外したり、また、接続／切断を何度も繰り返すと、パソコンと接続できなくなる場合があります。このような現象が発生したときは、本体をリセットし、パソコンを再起動して、再度接続をしてください。
- USBハブを経由して本体のクレードルを接続している場合は、パソコンに直接USBクレードルを接続してください。
- パソコンのActiveSyncを起動して、同期を取っていない状態でパートナーシップを削除してください。削除が完了したら、再度パソコンと本体でパートナーシップを構築してください。

5. Outlook97/98のデータは同期できますか？

ActiveSync3.5では、Outlook98と同期できます。Outlook97はサポート対象外です。

6. ActiveSync3.5でサポートしているOutlookは何ですか？

ActiveSync3.5では、Outlook98/2000/2002をサポートしています。Outlook2002を推奨します。

7. Outlook Expressと同期を取ることはできますか？

Outlook Expressとは、同期を取ることができません。

8. ネットワークカードを使用して同期が取れないのですが？

以下の操作で設定すれば、同期が取れるようになります。ネットワークを利用して同期を取る場合でも、一度同期設定をしておく必要があります。

1 「スタート」→「設定」→「接続」をタップし、「接続」アイコンをタップする
2 一番下の「ネットワークカードの接続先」を「社内ネットワーク」にする
3 ネットワークカードを挿入する
4 「スタート」→「ActiveSync」で画面中央の「同期」をタップする
●初期設定ですと、同期完了後切断されます。継続する場合は、ActiveSyncの「ツール」→「オプション」→「スケジュール」タブをタップし、「手動で同期する…切断する」のチェックをはずしておきます。

9. 赤外線を利用して同期が取れないのですが？

パソコンの出荷時状態では、赤外線の設定が有効になっていないものがあります。まず、パソコンの赤外線が利用できるように、以下の操作で設定してください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

1 本体を接続しない状態で、パソコンのActiveSyncを起動する
2 「ファイル」→「接続の設定」をクリックする
3 「シリアルケーブルまたは赤外線接続をこのCOMポートに有効にする」にチェックを付ける
4 「COMx」となっている場合には「▼」をクリックして「赤外線ポート(IR)」を選択する
●「赤外線ポート(IR)」が表示されない場合、ご利用のパソコンで赤外線が有効になっていない可能性があります。再度パソコンの赤外線設定をご確認ください。
5 「OK」ボタンをクリックする
6 本体とパソコンの赤外線ポートを向き合わせたら、本体より「スタート」→「ActiveSync」をタップする
7 「ツール」→「赤外線から接続」をタップする

10. Macintoshと同期を取ることはできますか？

本体は、Macintoshと同期を取ることはできません。

11. 同期する情報の種類を変更するには、どうすればよいのですか？

以下の操作をしてください。

1 パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「同期の設定」タブに切り替え、同期する情報の種類を変更し、「OK」ボタンをクリックする
3 ActiveSyncの同期ボタンをクリックする

12. 仕事の同期時、終了設定がパソコンに設定されると同時に、その仕事の項目が削除されてしまうのですが？

ActiveSyncの仕事の設定で、「完了していない仕事だけを同期する」が選択されていたら、「すべての仕事を同期する」に変更してください。

13.本体にPHSカードをセットした状態で同期を取っていたら、インターネットへの接続（ダイヤルアップ接続）が開始されてしまった？

同期の接続に失敗したか、途中でクレードルから本体を外したのが原因です。インターネットへの接続を切断してください。ナビゲーションバーの「通信接続」アイコンをタップし、「終了」をタップします。

インターネット接続、メール

1. インターネットに接続できない(ダイヤルできない)？

- 通信機器が正しくセットされているか、ご確認ください。
- 指定の携帯電話接続ケーブルを使って正しく接続されているか、確認してください。
- 通信機器の電波状態が良好かどうか、ご確認ください。
- ダイヤルアップ接続先のユーザーID/パスワードが半角の英数字で正しく入力されているか、ご確認ください。
- ActiveSyncなどで、本体とパソコンを接続した状態になっている場合は、パソコンとの接続を終了してください。
- 本体とパソコンなどが赤外線通信中になっている場合は、赤外線通信を終了してください。

2. ダイヤルはできるのですが接続できない？

以下の項目をご確認ください。

- 正しいモデムおよび電話番号が選択されていますか。以下の操作で“モデム接続”の確認、設定をしてください。
  1. 「スタート」→「設定」をタップする
  2. 「接続」タブをタップする
  3. 「接続」をタップする
  4. ご利用になるダイヤルアップ設定を選択する
  5. “インターネット設定”、または任意の設定名にて「変更」をタップする
  6. ご利用になる接続名をタップする
  7. 「次へ」をタップして、アクセスポイントの市外局番と電話番号を入力し、「次へ」をタップする
  8. 「完了」をタップする
- 0 発信もしくは市外局番を省略してダイヤルしていませんか。以下の操作で“ダイヤルパターン”の確認、設定をしてください。
  1. 「スタート」→「設定」をタップする
  2. 「接続」タブをタップする
  3. 「接続」をタップする

4「ダイヤルのプロパティ」タブを選択する
5「ダイヤルパターン」をタップする
6"市内通話"、"市外通話"がそれぞれ"FG"になっていることを確認し、「OK」をタップする
- "0,FG"もしくは"0,G"となっている場合は、"0,"を削除することで、0発信しなくなります。

7「OK」をタップする

- ダイヤル時に使用する設定が違っていませんか。以下の操作で確認、設定をしてください。

1「スタート」→「設定」をタップする
2「接続」タブをタップする
3「接続」をタップする
4 ご利用になるダイヤルアップ設定を選択する
5"インターネット設定"、または任意の設定名にて「変更」をタップする
6 ご利用になる接続名をタップアンドホールドする
7「接続」をタップする

3. ホームページは見ることができるのですが、メールの送受信ができません？

Pocket Internet Explorerでホームページが閲覧できているということは、インターネット接続は正しく設定されています。
この場合には、メール接続設定が正しくない可能性があります。プロバイダから提供されている、下記のメール接続設定のデータを再度ご確認ください。（参照 120ページ）

- ユーザー名/ユーザーID
- パスワード
- POP3/IMAP4サーバー名
- SMTPサーバー名

4. メールを受信しても、メールが途中で切れているのですが？

標準設定では、2KBを取得する設定になっています。受信トレイを起動したら、以下の操作でメールの取得設定を変更してください。

1「ツール」→「オプション」をタップする
2 表示されているサービス一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする
「電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。
3 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
4 詳細設定画面が表示されたら、(2/3)画面になるまで「次へ」をタップする
- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択している場合には、何KBまでメールを取得するか数字を指定してください。標準設定では、2Kに設定されています。
- メールの全文を取得する場合には、「▼」をタップして、「メッセージの全文を取得する」を選択してください。

5 設定が完了したら、「完了」ボタンをタップする

5. 受信したメールをメモリカードに保存することはできますか？

メールをメモリカードに保存することはできません。しかし、添付ファイルをメモリカードに保存することは可能です。「ツール」→「オプション」→「保存場所」をタップしたら、“ メモリカードに添付ファイルを保存する ”にチェックを付けてください。なお、このチェックボックスは、メモリカードが挿入されていないとチェックすることはできません。

6. 添付ファイルは取得できますか？

受信トレイを起動したら、以下の操作でメールの取得設定を変更してください。

1 「ツール」→「オプション」をタップする
2 表示されているサービス一覧から、メールの取得設定を変更する項目をタップする
「電子メールのセットアップ(1/4)」画面が表示されます。
3 (4/4)画面になるまで、「次へ」をタップし、(4/4)画面になったら「オプション」をタップする
4 詳細設定画面が表示されたら、(2/3)画面になるまで「次へ」をタップし、「メッセージヘッダーのみ取得する」または「メッセージの全文を取得する」のいずれかを選択する
- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合には、何KBまで受け取るか容量を設定します。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合には、すべての添付ファイルを受信します。

5 設定が完了したら、「完了」ボタンをタップする

7.「メモリカードに添付ファイルを保存する」のチェックが外れないのですが？

以下の項目をご確認ください。

- このチェックを入れたときに挿入されていたメモリカードが、挿入されていますか。
- メモリカード上のフォルダ“ Inbox.mst … ”を削除した覚えはありませんか。
- メモリカードを挿入し直してみてください。

8.送信したメールが相手側機器で正しく表示されないのですが？

本体の受信トレイから送信するメールは、「Quoted Printable」形式のコードで送ります。したがって相手側機器のメールソフトが、「Quoted Printable」形式に対応していないと正しく表示できません。

Pocket Internet Explorer

1. インターネットに接続できるのですが、ホームページの表示ができません？

DNSの設定が間違っている可能性があります。以下の操作でDNSの設定を確認、修正してください。

1「スタート」→「設定」をタップする
2「接続」タブをタップして、「接続」アイコンをタップする
3 インターネット接続で使用する設定を選択し、「変更」をタップする
4 インターネット設定の画面が表示されたら、ダイヤルアップ接続で使用する接続名をタップする
5「詳細設定」ボタンをタップする
- 「TCP/IP」および「ネームサーバー」の設定を再度ご確認し、必要があれば修正してください。

6「OK」ボタンをタップする
7「次へ」→「次へ」→「完了」ボタンをタップする
8 インターネット設定の画面に戻ったら、「OK」ボタンをタップする

2. ネットワークカードを使用して社内(イントラネット)のホームページは見ることができるのですが、社外(インターネット)のホームページを見ることができません？

プロキシの設定をご確認ください。

1「スタート」→「設定」をタップする
2「接続」タブをタップし、「接続」アイコンをタップする
3 中段の「社内ネットワーク」の下の「変更」をタップする
4「プロキシの設定」をタップし、「このネットワークをインターネットへ接続する」と「プロキシサーバーを使用してインターネットへ接続する」にチェックが付いていることを確認する
5「詳細設定」をタップする
- サーバーのアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。
- アドレスやポート番号が分からない場合は、ご利用になっているネットワークの管理者にご相談ください。

3. パソコン上で見たホームページを、本体でオフラインで閲覧するにはどうすればよいですか？

以下の方法で閲覧することができます。

1 パソコンでInternet Explorerを起動して、「ツール」→「モバイルのお気に入りの作成」、「OK」で、モバイルのお気に入りを作成する
- この操作は最初の１回だけ必要です

2 Internet Explorerで本体に転送したいページを表示させる
3「お気に入り」→「お気に入りに追加」で、「モバイルのお気に入り」のフォルダを選択する
4“ オフラインで使用する ”をチェックして、「OK」を選択する
5「お気に入り」→「モバイルのお気に入り」に、本体に転送したいページが追加されているのを確認する
6 本体とパソコンをActiveSyncで接続する
Pocket Internet ExplorerとInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」が同期されます。
7 本体でPocket Internet Explorerを起動して、「お気に入り」のアイコンをタップする。同期したページが追加されているので、そのページ名をタップする
パソコンで取り込んだページが本体に表示されます。

4. Pocket Internet Explorerで表示している画像データを保存することはできますか？

Pocket Internet Explorerで表示している画像を、ファイルとして保存することはできません。

5. Flashムービーなどのマルチメディアコンテンツが含まれるWebページを見ることはできますか？

付属のコンパニオンCDに入っているFlash™ Playerをインストールすれば見ることができます。

6. Java™は使えますか？

付属のコンパニオンCDに入っているJeode™をインストールすれば使うことができます。Jeode™は、Personal Java™1.2互換、JDK1.1.8準拠のJava™実行環境です。PCで動作するJava™アプリケーションは、動かない場合があります。

7. フレームのあるWebページに対応していますか？

対応しています。

8. SSLに対応していますか。対応しているとすれば、また何ビットまで対応していますか？

SSL（128 ビット）に対応しています。

予定表

1. 予定の通知にアラームを鳴らすことはできますか？

予定の通知にアラームを鳴らすには、以下の操作でアラームを有効に設定してください。

1. 「スタート」→「設定」をタップする
2. 「音と通知」アイコンをタップする
3. “ プログラム ”チェックボックスと、“ 通知 ”チェックボックスにチェックを付ける
4. 「通知」タブをタップする
5. “ 音を鳴らす場面 ”で「アラーム」を選択する
6. “ 音を鳴らす ”チェックボックスにチェックを付ける
7. 「OK」をタップする

2. 予定表の表示で、希望する日へジャンプするにはどうすればよいですか？

左端の日付をタップすると、小さな月のカレンダーが表示され、希望する日へジャンプすることができます。

3. 祝日を登録するにはどうすればよいですか？

本体にはあらかじめ祝日が登録されていませんが、パソコンのOutlookと同期を取ることにより、祝日データを取り込むことができます。以下の操作をしてください。

1 パソコン側でOutlookを起動する
2 「ツール」→「オプション」をクリックし、「予定表オプション」ボタンをクリックする
3 「祝日の追加」ボタンをクリックする
4 「予定表に祝日を追加」画面が表示されたら、“ 日本 ”にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックする
5 「OK」ボタンをクリックして「予定表のオプション」画面、「オプション」画面を閉じる
6 パソコンのActiveSyncより「ツール」→「オプション」をクリックし、“ 予定表 ”にチェックを付ける
7 「予定表」を選択した状態で、「設定」ボタンをクリックする
8 “ すべての予定を同期する ”、あるいは“ 次の中から選択した分類項目に含まれる予定だけを同期する ”を選択し、“ 祝日 ”にチェックを付ける
9 「OK」ボタンをクリックし、「予定表の同期設定」画面、「オプション」画面を閉じる
10 同期を取る
祝日データが本体に登録されます。

4. 予定を作成した際に送信されるメールを、ActiveSync以外から送信するにはどうするのですか？

予定表から送信するメールは、ActiveSync以外の通常のメールボックスからも送信を行うことができます。
予定表を起動したら、「ツール」→「オプション」をタップしてください。「会議出席依頼の送信方法」に表示されている“ ActiveSync ”の右側「▼」をタップして、会議通知を送付するためのメールボックスを選択してください。

- このとき表示されるメールボックス一覧は、「受信トレイ」で既に作成してあるメールボックスです。

5. 本体に登録しておいた古い予定が消えてしまったのですが？

ActiveSyncで同期を取ると、本体に登録されている予定表のデータは、2週間以前のものが削除されてしまいます。 これはメモリを有効に使用するために、古いデータを本体に残さないようにするためです。（パソコン側の予定表はデータが残ります）
以前の予定表データを本体に残しておきたい場合には、パソコンのActiveSyncを起動し、「ツール」「オプション」より「予定表」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。
標準では“ 2週間前 ”の予定から同期を取るようになっていますので、この数値を変更するか、“ すべての予定を同期する ”にチェックを付けてください。ただし、たくさんのデータを本体に残すとその分メモリを使用します。必要な期間のデータを同期するようにしてください。

Windows Media Player

1. Windows Media Player 8で再生できるファイルにはどのようなものがありますか？

インターネットなどで配信されているMP3形式、またはWindowsMedia形式(音声はWMA、動画はWMV)に対応しています。QuickTime形式には対応していません。

なお、標準でサポートしている、オーディオファイルは192Kbpsまでです。ビデオファイルは表示サイズが横240X縦320以下で400Kbpsまでです。

Windows Media Playerの「ツール」の「設定」でサポートされてないファイルの再生をするかどうか選択できます。

2. 音楽配信サービスなどで利用されるSDメモリカードの暗号化(CPRM)に対応していますか？

対応しておりません。

3. Windows Media Player 8で動画ファイルを見るにはどうすればよいですか？

パソコンで表示可能な動画データでもWindows Media Playerではそのまま再生できないため、データ変換を行う必要があります。データ変換を行うためのプログラム“ Windows Mediaエンコーダ ”をMicrosoft社のホームページからダウンロードしてください。

http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/　(2002年4月現在)

Windows Mediaエンコーダについては、Microsoft社に問い合わせください。

4. ネットワーク上の動画ファイルやインターネットラジオを再生しようとすると、「ファイルが見つかりません」とメッセージが表示され、再生できないのですが？

Windows Media Player 8 のプロキシ設定をご確認ください。

1 「ツール」→「設定」→「ネットワーク」をタップする

- 「HTTP プロキシを使う」にチェックを付けてください。
- 「サーバー」にご利用いただけるプロキシサーバー名を入力してください。
- 「ポート」にご利用いただけるポート番号を入力してください。
- これらの設定条件が分からない場合には、プロバイダあるいはご利用になっているネットワークの管理者にご相談ください。

5. 音楽CDからWMA形式のファイルを作成しましたが、本体で再生をすると止まってしまうのですが？

以下の操作をしてください。

【データを本体にコピーする】

1 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2 パソコンのWindows Media Playerから「ポータブルデバイス」を選択する
3 「コピーする音楽」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4 「デバイス上の音楽」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5 「音楽のコピー」ボタンをクリックする
- ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
- また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
- うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1 パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする
2 「CDオーディオ」タブをクリックしたら、「コピーの設定」項目に“個人用の著作権管理を有効にする”というチェックボックスがありますので、ここのチェックをはずす
3 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する
4 作成したWMAファイルを本体にコピーする
- 通常のコピー操作です。

6. 本体でWMA形式のファイルを再生しようとしたら、「著作権…」のメッセージが表示され、再生できないのですが？

以下の操作をしてください。

【データを本体にコピーする】

1 本体をパソコンに接続し、同期を取る
2 パソコンのWindows Media Playerから「ポータブルデバイス」を選択する
3 「コピーする音楽」として、本体にコピーする音楽ファイルを選択する
4 「デバイス上の音楽」として、本体（あるいは本体に挿入されているメモリカード）を選択する
5 「音楽のコピー」ボタンをクリックする
- ただし、WMAファイルを作成したパソコンからでないとコピーをすることはできません。
- また、Windows Media Playerを再インストールした場合にもコピーすることはできません。
- うまくコピーできない場合には、次の「WMAファイルを再作成する」の操作に従って、WMAファイルを作成しなおしてください。

【WMAファイルを再作成する】

1 パソコンで音楽CDからWMAを作成する前に「ツール」→「オプション」をクリックする

2 「CDオーディオ」タブをクリックしたら、「コピーの設定」項目に“ 個人用の著作権管理を有効にする ”というチェックボックスがありますので、ここのチェックをはずす

3 「OK」ボタンをクリックして、設定を反映させたら、再度音楽CDからWMAファイルを作成する

4 作成したWMAファイルを本体にコピーする

● 通常のコピー操作です。

アプリケーション

1. アプリケーションを終了させるには、どうすればよいですか？

以下のどちらかの方法で、終了操作をしてください。

【メモリ設定より終了】

1 「スタート」→「設定」→「システム」を開いて、「メモリ」アイコンをタップする

2 「実行中のプログラム」タブをタップする

● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。

3 終了したいアプリケーションを選択し、「終了」ボタンをタップする。 または「すべて終了」ボタンをタップする

【ホームより終了】

1 ホーム画面を表示する

2 タブ選択ボックスをタップして、「実行中」を選ぶ。タブ表示形式の場合は「実行中」タブをタップする

● 現在起動しているアプリケーション一覧が表示されます。

3 終了したいアプリケーションをタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「終了」をタップする。 または、画面上の何もない場所でタップアンドホールドすると、ポップアップメニューが表示されるので、「すべて終了」をタップする

2. 購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできますか？

購入時からインストールされているアプリケーションを削除することはできません。

3. アプリケーションなどのショートカットを作成することはできますか？

ファイルエクスプローラで作成することができます。ファイルエクスプローラで該当ファイルをコピーし、コピー先のフォルダで、ショートカットの貼り付けを行います。

4. メモリカード中の任意のソフトを「ホーム」に登録するにはどうすればよいですか？

以下の操作で登録することができます。メモリカードを本体にセットしてください。

1. メインメモリの“ \Windows ”中にそのソフトの実行ファイルのショートカットを作成する
2. ホーム画面を表示する
3. 登録したいタブの画面上でタップアンドホールドして表示されるポップアップメニューから「追加」を選択する
4. 「アプリケーションファイル」の下の「参照」ボタンをタップする
5. 「参照ダイアログ」で「フォルダ」が「Windows」になっていることを確認し、「種類」を“ すべてのファイル ”に切り替える
6. 表示されたファイル名リストの中で、1.で作成したショートカットをタップする

   自動的に「アプリケーション追加」画面 に戻ります。
7. 「アプリケーション名」にわかりやすい名前を入力し、「OK」ボタンをタップする

- メモリカードから追加したアイコンは、同じメモリカードが差し込まれていないと起動することができません。

5. EXEファイルをプログラムに登録するにはどうすればよいですか？

ファイルエクスプローラでそのEXEファイルをコピーし、メインメモリの“ \Windows \スタートメニュー\プログラム ”フォルダで、ショートカットの貼り付けをすると、「スタート」の「プログラム」に登録することができます。

海外での使用

1. 海外で利用できますか？

本商品の仕様は、日本国内向けとなっています。海外での使用は考慮しておりません。

2. 海外で修理できますか？

本商品は、日本国内向け商品となっています。海外での修理はできません。

その他

1. スタイラスペンをなくしてしまったのですが、どこで買えますか？

本商品をお買い上げの販売店で、別売りのスタイラスペンをご購入ください。

2. 本体は、防水・防滴機能はついていますか？

本体には防水、防滴機能はありません。

2. 警告メッセージ

メッセージ	原因/対処
メインバッテリ残量警告 データの損失を防ぐために、製造元のマニュアルを参照して、速やかにバッテリを交換または充電してください。	電池が消耗しています。すみやかに電池を充電してください。 (参照 8ページ) フル充電をしてもこのメッセージがすぐに出るようでしたら内蔵電池の寿命が考えられます。内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または東芝GENIO eカスタマセンタへご依頼ください。お客様が交換することはできません。
電力不足 このUSB機器を使用するための電力が不足しています。	USB機器に必要な電力を供給できない場合に、このメッセージを表示します。 本体にACアダプタを接続するか、USB機器にACアダプタなどの外部電源が接続できる場合は外部電源を接続し、USB機器を接続しなおしてください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器は使用できません。
USB過電流検出 USB機器および拡張ユニットは使用できません。すべてのUSB機器をはずしてリセットしてください。	USBポートに供給できる電流を超過したため、電源供給を停止しました。このメッセージが表示された場合は、リセットを行うまで、USBポート及び拡張ユニットの使用ができなくなります。USB機器を取り外してリセットを行ってください。 この後、本体にACアダプタを接続するか、USB機器にACアダプタなどの外部電源が接続できる場合は外部電源を接続し、再度USB機器を接続してください。 上記を行っても、このメッセージが表示される場合は、このUSB機器は使用できません。

3. リセットと初期化の方法

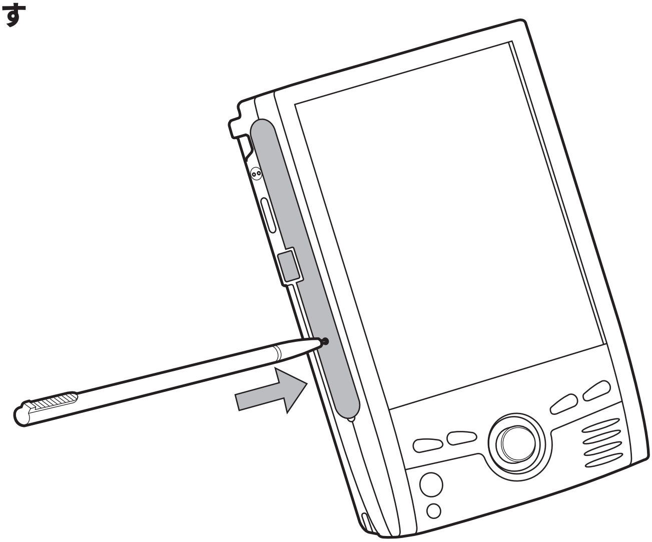
リセットする

リセットはパソコンの「再起動」に相当します。ボタンやタップが働かなくなったなどの異常が発生した場合にリセットを行ってください。

ご注意

- リセットした場合、保存されていない作業中のデータは消去されます。すでに保存したデータは、消去されません。

1 電源を入れた状態で、リセットスイッチをスタイラスで押して離す



「Today」画面が表示されます。

お知らせ

- リセットを行っても、正常な状態に戻らない場合は、初期化を行ってください。

初期化する

初期化すると、ご購入時の状態に戻ります。リセットを行っても正常に戻らない場合に行ってください。

ご注意

- 初期化した場合、本体内メモリに保存したすべてのデータが消去されます。最初から内蔵されているプログラムなどは消去されません。
- 初期化する前に、本体内メモリに保存したデータは、控えをとっておいてください。
- 初期化する前にメモリカードは抜いてください。メモリカード内の記憶データが消去される可能性があります。

1 **本体の電源をOFFにする**

2 **リセットスイッチをスタイラスで押したまま、電源ボタンを指で押して離す**

3 **画面が表示されたら、リセットスイッチからスタイラスを離す**

- 初期化が終了すると、「ようこそ」の画面が表示されます。「初期セットアップ」(参照 13ページ)したときと同じように画面に従ってセットアップを行ってください。

4. アフターサービスについて

ご使用中に異常が発生したときは、「Q&A」や「警告メッセージ」をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも異常が解決できないときは、お買い上げの販売店または「東芝GENIO eカスタマセンタ」に修理をご依頼ください。

- 保証書に記載されている保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理については、修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 修理は機器の機能・性能の修復・維持を目的とし、保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品、あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。

東芝GENIO eカスタマセンタ

電話番号　**043-279-2631**
営業日　**月曜日～日曜日（年末年始、弊社特別休日を除く）**
受付時間　**午前9時～午後5時**

付録

ローマ字入力一覧表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ	いぇ	よ
YA		YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ		うぇ	を
WA	WI		WE	WO
ん				
NN N の次に子音、続けて母音 （例）SANKOU→さんこう				

が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

小文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA XA	LI XI LYI	LU XU	LE XE LYE	LO XO
っ				
LTU XTU 子音を重ねて母音 （例）KAKKO→かっこ				
ゃ		ゅ		ょ
LYA XYA		LYU XYU		LYO XYO
ゎ				
LWA XWA				

きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
SHA		SHU	SHE	SHO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
CHA		CHU	CHE	CHO
CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JA		JU	JE	JO
JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

くぁ				くぉ
KWA				QWO
				QO
くゃ	くぃ	くゅ	くぇ	くょ
QYA	QYI	QYU	QYE	QYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
FA	FI		FE	FO
	FYI		FYE	
ふゃ		ふゅ		ふょ
FYA		FYU		FYO
ぐゎ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
VA	VI	VU	VE	VO

パームサイズＰＣのデータを本体に転送する

パームサイズPCをお使いの場合、そのデータを本体に転送することができます。
操作は次のように行います。

1 **お使いのパソコンにMicrosoft ActiveSync 3.5をインストールする**

2 **パームサイズＰＣとパソコンの同期をとり、パソコンの情報を最新のものにする**

3 **ActiveSync エクスプローラを使用してファイルをパソコンにコピーする**

- パームサイズＰＣ上の「手書きメモ」や「録音」のファイルを転送するときは、ファイルがデバイスフォーマットを維持するように、ActiveSyncのオプションのファイル変換をオフにしてください。
- 操作方法の詳細は、ActiveSyncのオンラインヘルプを参照してください。

4 **本体とパソコンの同期をとる**

本体がパソコンの最新データ（操作2）で更新されます。

5 **パームサイズＰＣにインストールしていたプログラムを、本体にインストールする**

インストール前に、そのプログラムがPocketＰＣ用に最適化された新バージョンであるか、確認してください。

6 **ActiveSync エクスプローラを使用して、操作3でパソコンにコピーしたファイルを本体にコピーする**

- コピーが終わったらActiveSyncのオプションのファイル変換をオンに戻してください。

7 **本体に設定および接続情報を入力する**

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

付録

主な仕様

本商品の仕様は、日本国内向けになっています。
海外でのご使用は考慮しておりません。

項目	仕様
外形寸法	縦125×横76.5×厚さ15.9mm(突起部を除く)
周囲環境条件	動作時　温度 0～40℃、湿度30～80%RH ・充電可能温度　約5～35℃(動作状態によっては、35℃以下でも充電を停止することがあります。)
内蔵電池	
種類	アドバンストリチウムイオン充電池
メモリ保持時間	約75時間 電源がONできなくなってから、周囲温度25℃で放置した場合 注：使用時間、メモリ保持時間は、電池の充電状態、周囲温度、使用条件などによって変わります。
プロセッサ	インテル®XScaleテクノロジ PXA250アプリケーションプロセッサ 動作クロック　最大400MHz
メモリ容量	64MB
ディスプレイ	低温ポリシリコン反射型カラーTFT 240×320ピクセル、65,536色
インタフェース	
CFカードスロット	コンパクトフラッシュメモリカードまたはCF+カードが挿入可 Type I／Type IIの3.3Vのみ対応
SDカードスロット	SDメモリカードまたはSDI/Oカードが挿入可 注：SDメモリカードのセキュリティ機能は利用できません。SDメモリカードのセキュリティ機能に対応した機器で暗号化されたデータは使用できません。
赤外線ポート	IrDA Ver. 1.2準拠、データ転送速度　最大115kbps
ステレオヘッドホンジャック	φ3.5mm ステレオミニプラグに対応 オプションのリモコン付きイヤホン使用可
USBポート	USB機器に供給できる電流　内蔵電池のみの時 …最大200mA ACアダプタ接続時 …最大500mA
クレードル接続ポート	
ACアダプタジャック	
ACアダプタ	入力電源条件　AC100V、50／60Hz、33VA 定格出力　DC5V、3A

■電波障害自主規制

この機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この機器は家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

■輸出規制

本商品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社「東芝家電ご相談センター」にお問い合わせください。

なお、この機器に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

お願い

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一不可解な点や記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、ご連絡ください。
- 本書に乱丁、落丁があればお取り替えいたします。

2002年08月　第2版発行

発行　株式会社東芝 モバイルコミュニケーション社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1